

第3章 就学児童用調査の結果

I. 回答家庭のプロフィール

1 居住区 [問1]

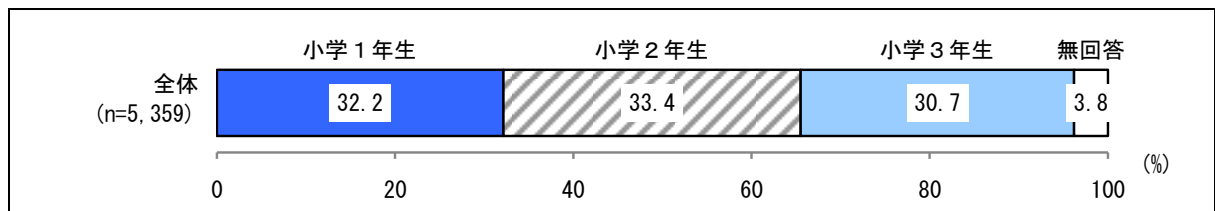
・居住区

		全体	
		実数	%
1	北区	240	4.5
2	都島区	254	4.7
3	福島区	202	3.8
4	此花区	115	2.1
5	中央区	169	3.2
6	西区	199	3.7
7	港区	147	2.7
8	大正区	87	1.6
9	天王寺区	199	3.7
10	浪速区	57	1.1
11	西淀川区	203	3.8
12	淀川区	314	5.9
13	東淀川区	274	5.1
14	東成区	159	3.0
15	生野区	189	3.5
16	旭区	166	3.1
17	城東区	430	8.0
18	鶴見区	321	6.0
19	阿倍野区	310	5.8
20	住之江区	235	4.4
21	住吉区	305	5.7
22	東住吉区	269	5.0
23	平野区	350	6.5
24	西成区	99	1.8
	無回答	66	1.2
n(回答者数)/構成比(%)の合計		5,359	100.0

2 こどもの学年 [問3]

■あて名のこどもの学年は、「小学1年生」が32.2%、「小学2年生」が33.4%、「小学3年生」が30.7%となっている。

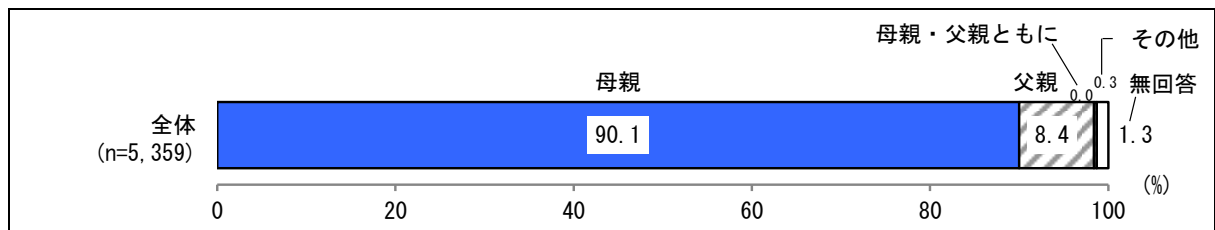
・こどもの年齢



3 回答者 [問2]

■回答者のあて名のこどもからみた関係は、「母親」が90.1%、「父親」が8.4%となっている。

・回答者

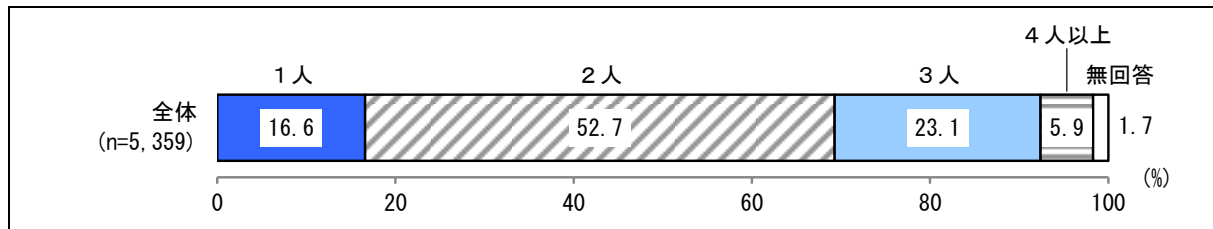


4 世帯のこどもの人数・末子の年齢 [問4]

(1) こどもの人数

■こどもの人数は、「2人」が52.7%で最も多く、次いで「3人」が23.1%、「1人」が16.6%となっている。

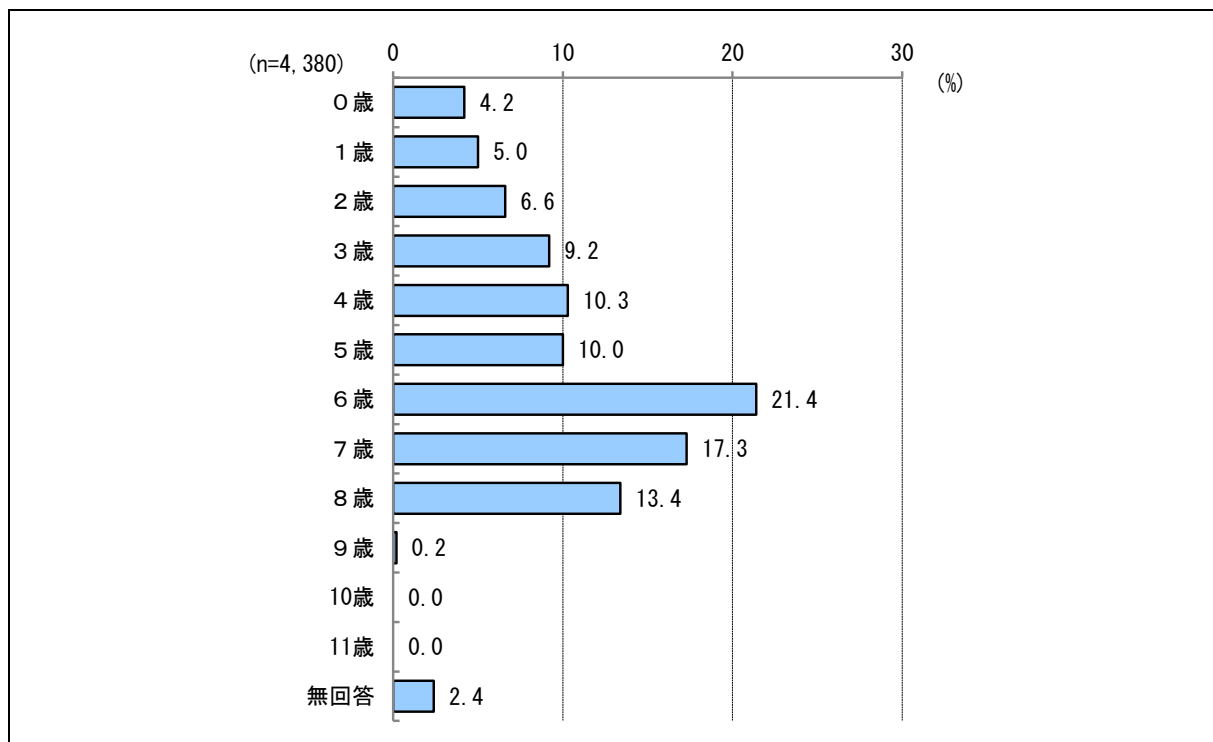
・こどもの人数



(2) 末子の年齢

■末子の年齢は、「6歳」が21.4%で最も多く、次いで「7歳」が17.3%、「8歳」が13.4%となっている。

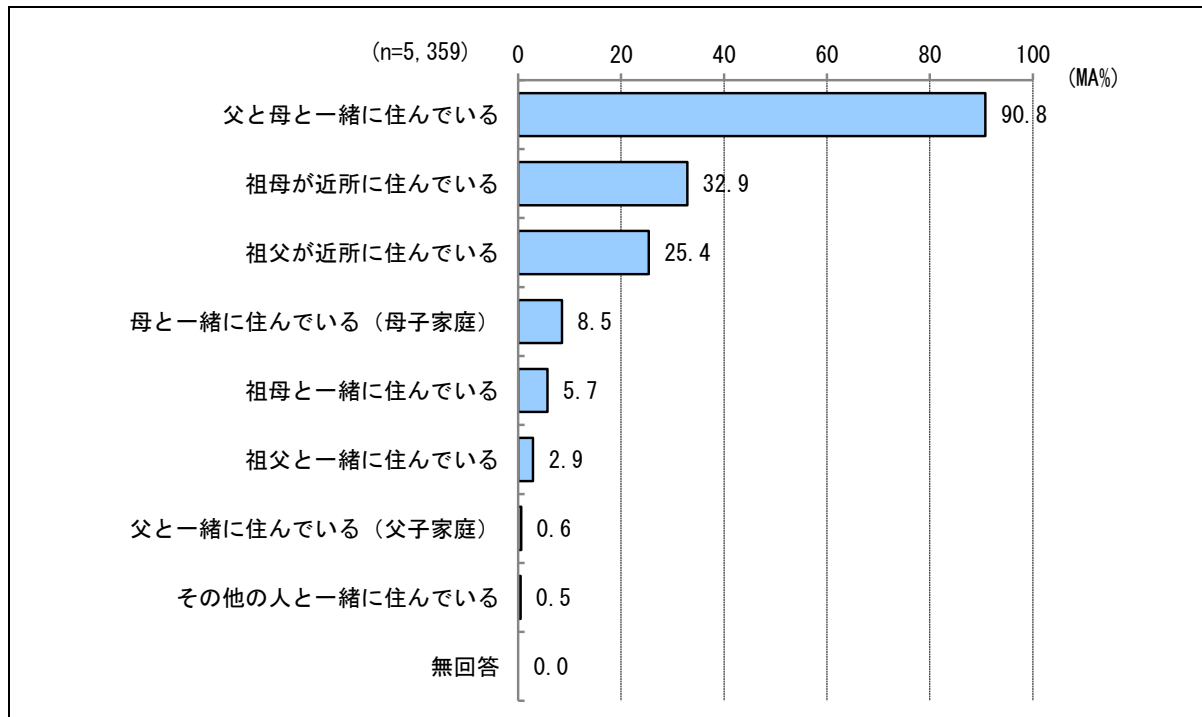
・末子の年齢



5 家族との同居・近居の状況 [問5]

■家族との同居・近居の状況は、「父と母と一緒に住んでいる」が90.8%で最も多く、次いで「祖母が近所に住んでいる」が32.9%、「祖父が近所に住んでいる」が25.4%となっている。

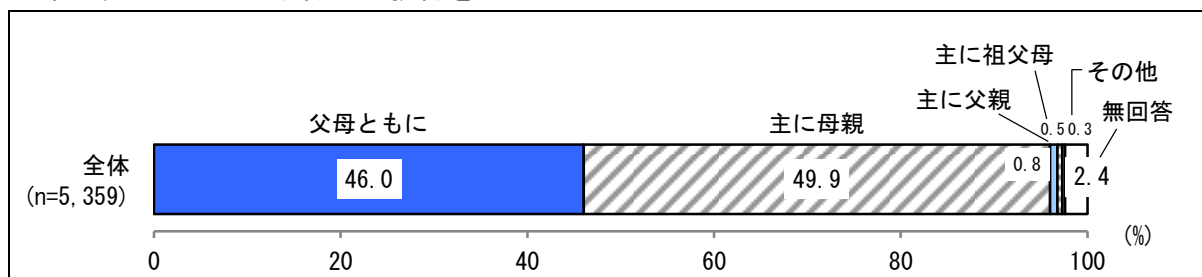
・家族との同居・近居の状況



6 あて名のこどもの子育てや教育を主にしている人 [問7]

■あて名のこどもの子育てや教育を主にしている人は、「主に母親」が49.9%で最も多く、次いで「父母ともに」が46.0%となっている。

・あて名のこどもの子育てや教育を主にしている人



Ⅱ. こどもの育ちをめぐる環境について

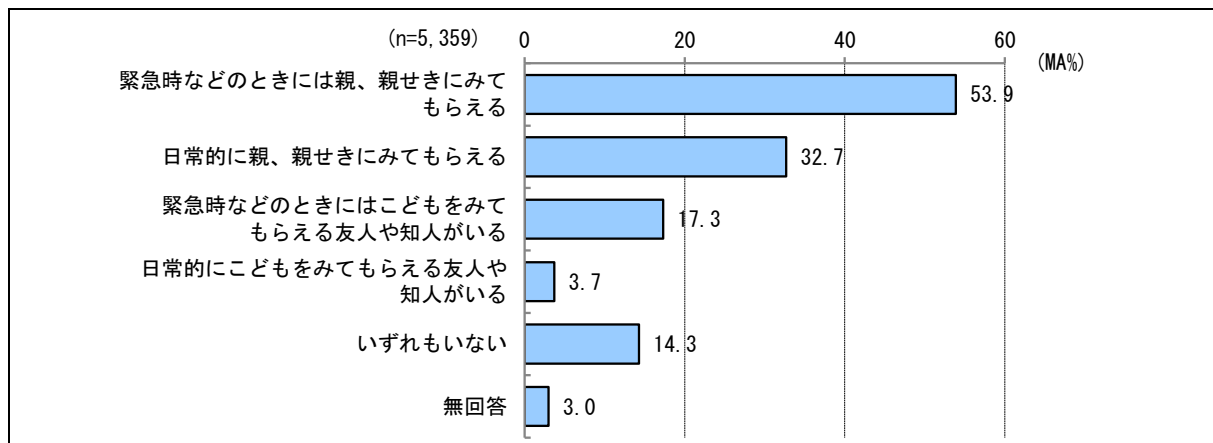
1 日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人の状況

(1) こどもの預け先の状況

問6 日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。(〇はいくつでも)

■日頃のこどもの預け先の状況は、「緊急時などのときには親、親せきにみてもらえる」が53.9%で最も多く、次いで「日常的に親、親せきにみてもらえる」が32.7%、「緊急時などのときにはこどもをみてもらえる友人や知人がいる」が17.3%となっている。

・ こどもの預け先の状況



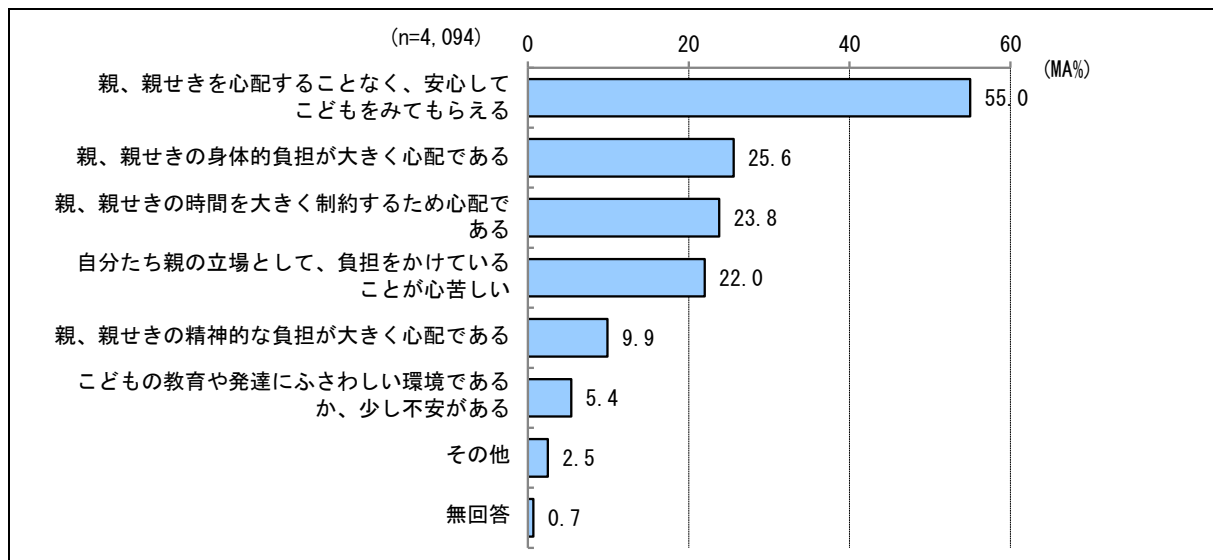
(2) 親や親せきにこどもの面倒をみてもらっていることに対する気持ち

問6で「1」または「2」を選んだ方におうかがいします。

問6-1 こどもをみてもらっていることに対する気持ちをお答えください。(〇はいくつでも)

■日常的または緊急時にこどもを親や親せきにみてもらえると回答した人に、親や親せきにこどもの面倒をみてもらっていることに対する気持ちについてたずねると、「親、親せきを心配することなく、安心してこどもをみてもらえる」が55.0%で最も多く、次いで「親、親せきの身体的負担が大きく心配である」が25.6%となっている。

・ 親や親せきにこどもの面倒をみてもらっていることに対する気持ち



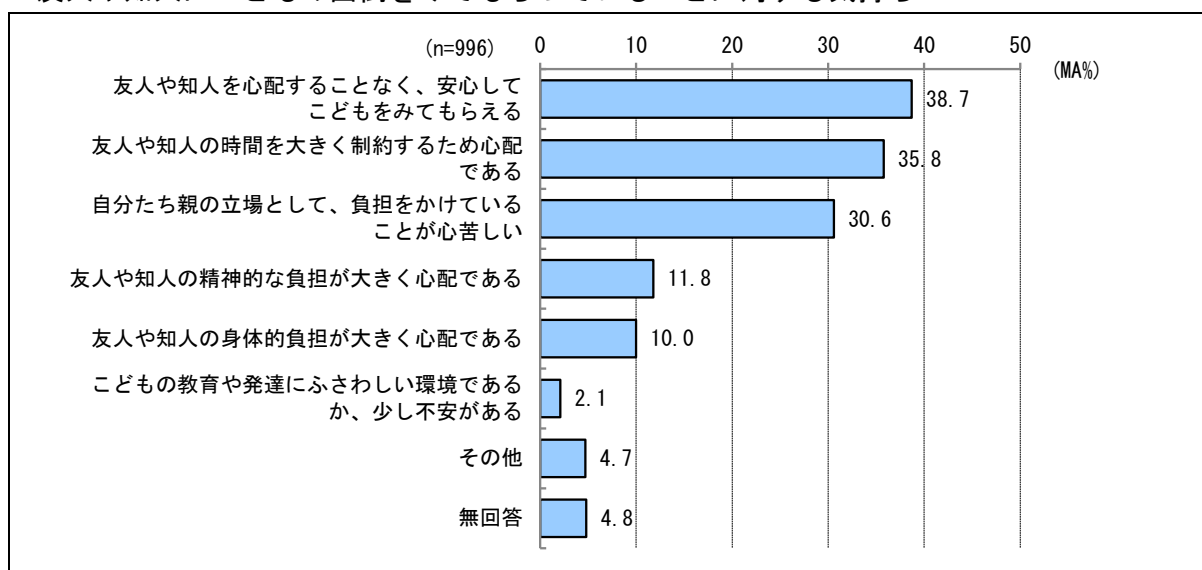
(3) 友人や知人にこどもの面倒をみてもらっていることに対する気持ち

問6で「3」または「4」を選んだ方におうかがいします。

問6-2 こどもをみてもらっていることに対する気持ちをお答えください。(〇はいくつでも)

■ 日常的または緊急時にこどもを友人や知人にみてもらえると回答した人に、友人や知人にこどもの面倒をみてもらっていることに対する気持ちについてたずねると、「友人や知人を心配することなく、安心してこどもをみてもらえる」が38.7%で最も多く、次いで「友人や知人の時間を大きく制約するため心配である」が35.8%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が30.6%となっている。

・友人や知人にこどもの面倒をみてもらっていることに対する気持ち



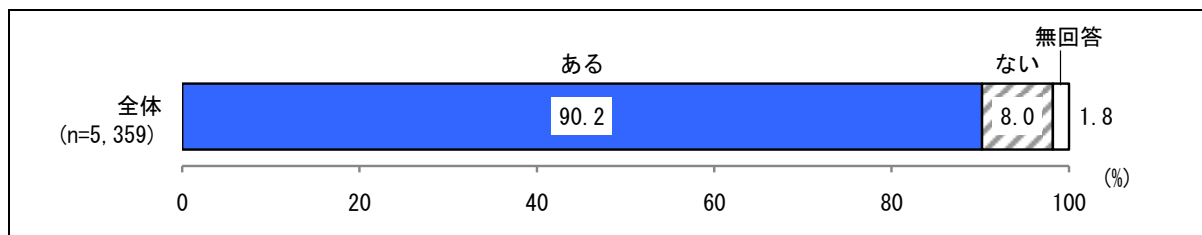
2 子育てや教育についての相談先

(1) 子育てや教育について気軽に相談できるところの有無

問8 あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できるところはありますか。(〇は1つ)

■ 子育てや教育について気軽に相談できるところの有無については、「ある」が90.2%、「ない」が8.0%となっている。

・子育てや教育について気軽に相談できるところの有無



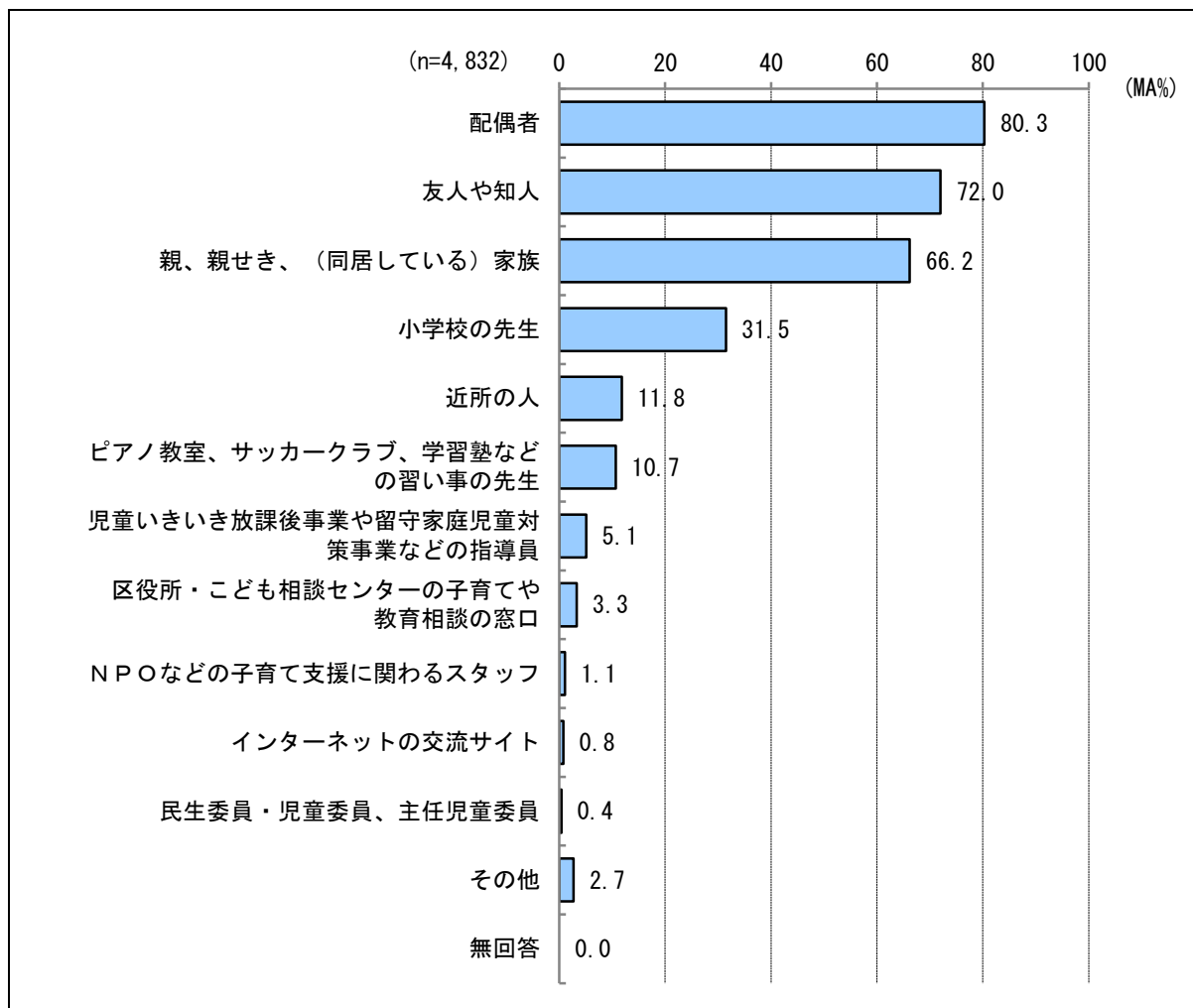
(2) 子育てや教育についての相談先

問8で「1 ある」を選んだ方におうかがいします。

問8-1 気軽に相談できる人や場所などをお答えください。(〇はいくつでも)

■子育てや教育について気軽に相談できるところがあると回答した人に、その相談先をたずねると、「配偶者」が80.3%で最も多く、次いで「友人や知人」が72.0%、「親、親せき、(同居している)家族」が66.2%となっている。

・子育てや教育についての相談先



Ⅲ. 保護者の就労状況について

1 就労状況

問9 母親、父親それぞれの現在の就労状況についてお答えください。

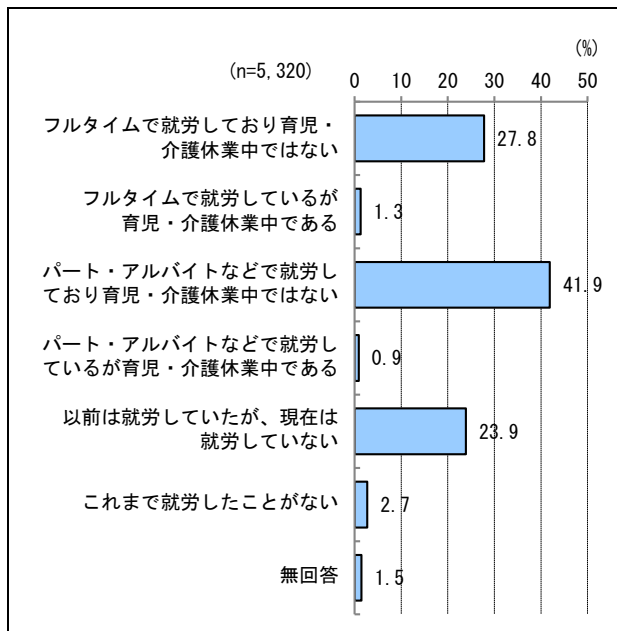
(母親・父親いずれも○は1つ)

※就労には、自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。

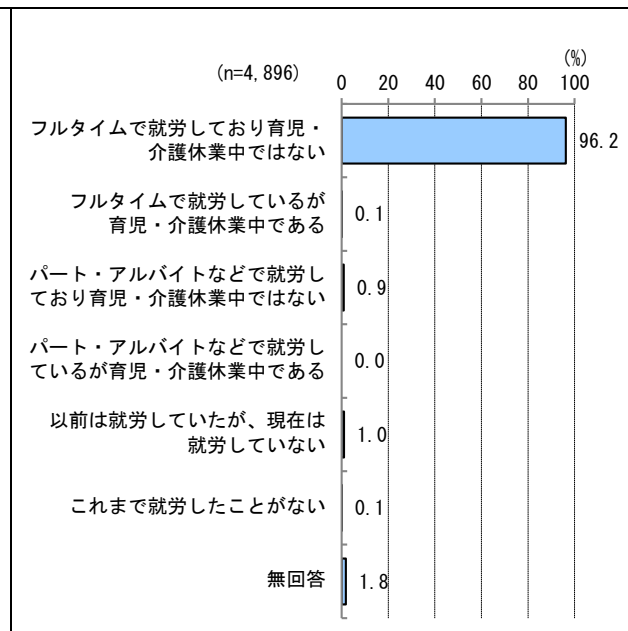
■母親の現在の就労状況については、「パート・アルバイトなどで就労しており育児・介護休業中ではない」が41.9%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しており育児・介護休業中ではない」が27.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が23.9%となっている。

■父親の現在の就労状況については、「フルタイムで就労しており育児・介護休業中ではない」が全体の96.2%を占めている。

・母親の就労状況



・父親の就労状況



2 週当たりの就労日数・1日当たりの就労時間

問9で「フルタイムで就労」または「パート・アルバイトなどで就労」を選んだ方（休業中の方も含む）におうかがいします。（「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」のいずれかに○をつけた方は、問11へお進みください。）

問9-1 1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日当たりどのくらいの時間働きますか。

※不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

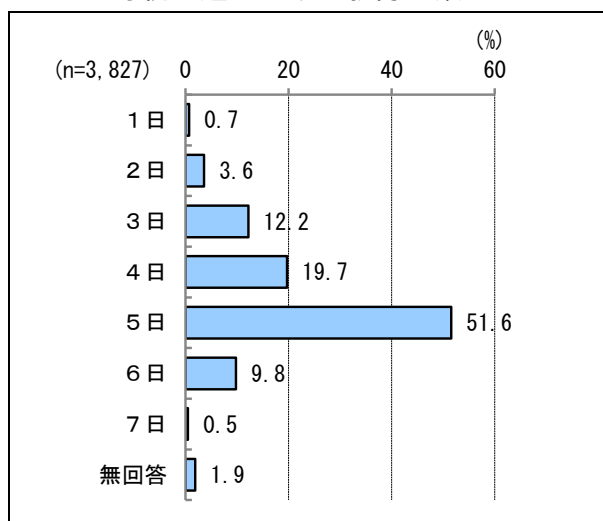
※今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

（1）母親

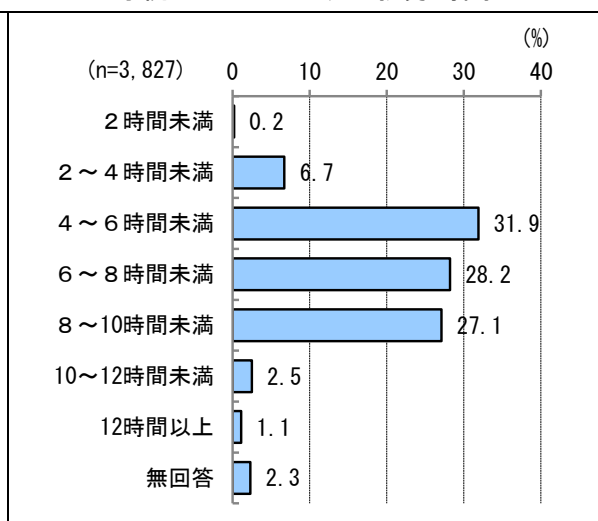
■母親がフルタイムまたはパート・アルバイトなどで就労していると回答した人に、1週間当たりの就労日数についてたずねると、「5日」が51.6%で最も多く、次いで「4日」が19.7%、「3日」が12.2%となっている。

■1日当たりの就労時間は、「4～6時間未満」が31.9%で最も多く、次いで「6～8時間未満」が28.2%、「8～10時間未満」が27.1%となっている。

・母親の週当たりの就労日数



・母親の1日当たりの就労時間

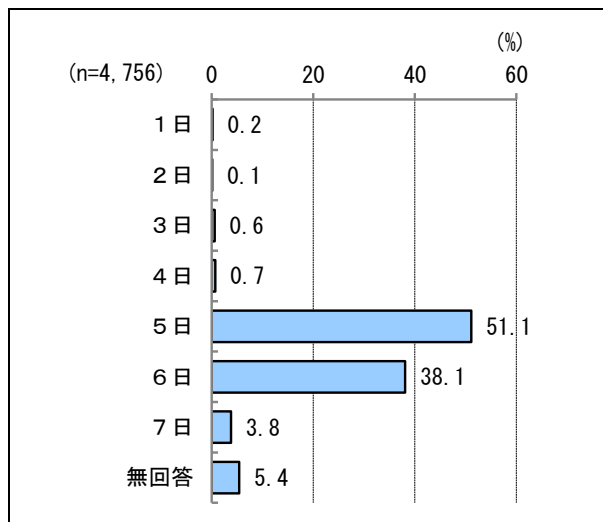


(2) 父親

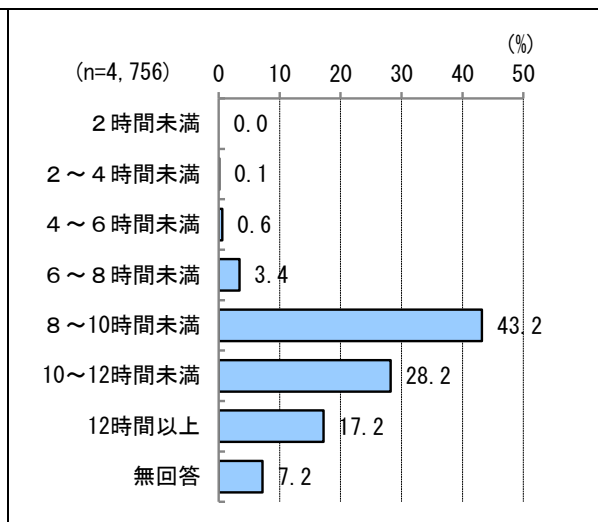
■ 父親がフルタイムまたはパート・アルバイトなどで就労していると回答した人に、1週間当たりの就労日数についてたずねると、「5日」が51.1%で最も多く、次いで「6日」が38.1%となっている。

■ 1日当たりの就労時間は、「8～10時間未満」が43.2%で最も多く、次いで「10～12時間未満」が28.2%、「12時間以上」が17.2%となっている。

・ 父親の週当たりの就労日数



・ 父親の1日当たりの就労時間



3 就労する保護者が家を出る時間及び帰宅時間

問9-2 家を出る時間と帰宅時間をご記入ください。

※時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

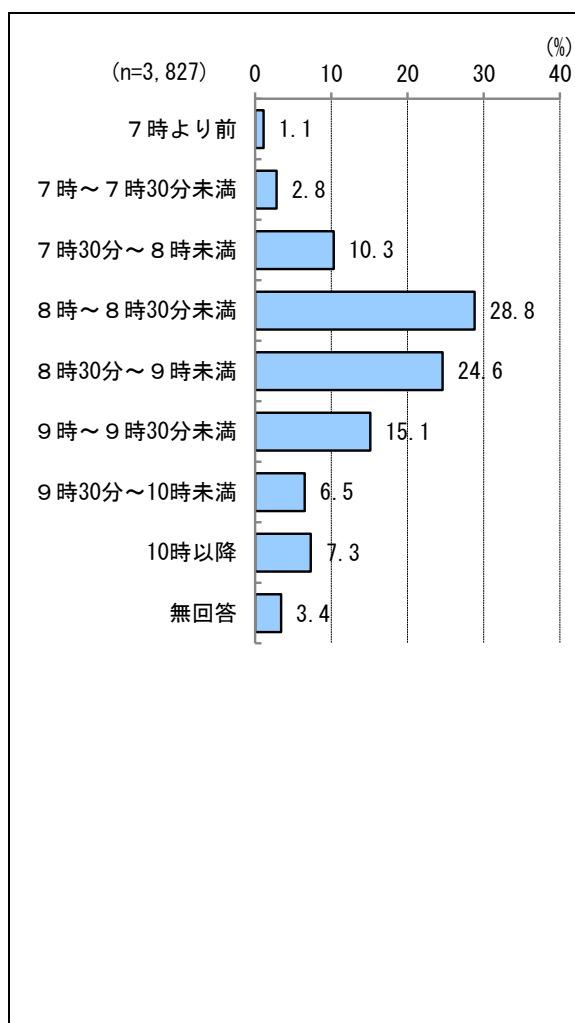
※時間は「18:00」のように、24時間制でお答えください。

(1) 母親

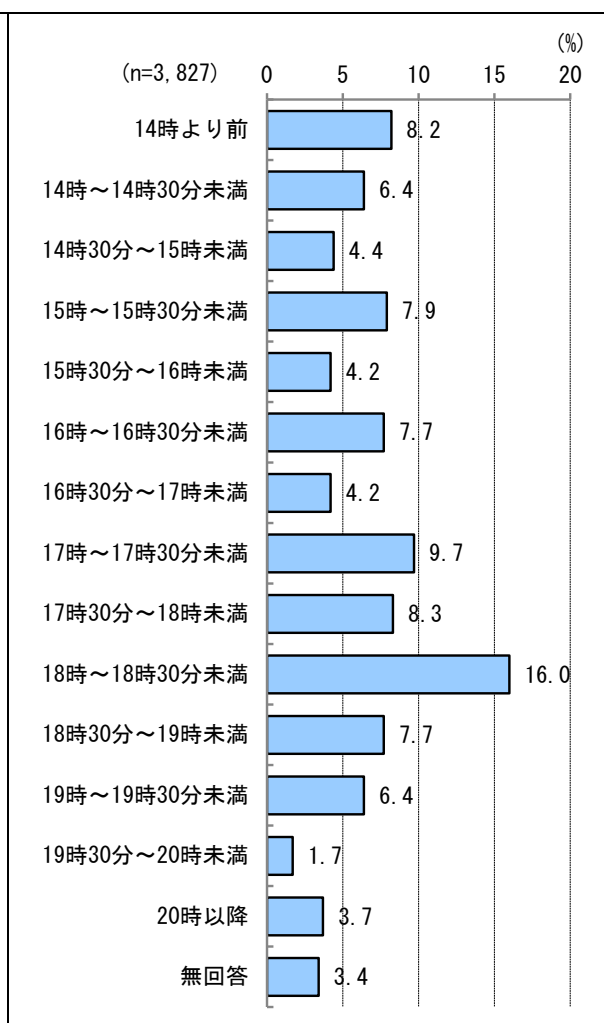
■母親の家を出る時間については、「8時～8時30分未満」が28.8%で最も多く、次いで「8時30分～9時未満」が24.6%、「9時～9時30分未満」が15.1%となっている。

■母親の帰宅時間については、「18時～18時30分未満」が16.0%で最も多く、次いで「17時～17時30分未満」が9.7%、「17時30分～18時未満」が8.3%となっている。

・母親の家を出る時間



・母親の帰宅時間

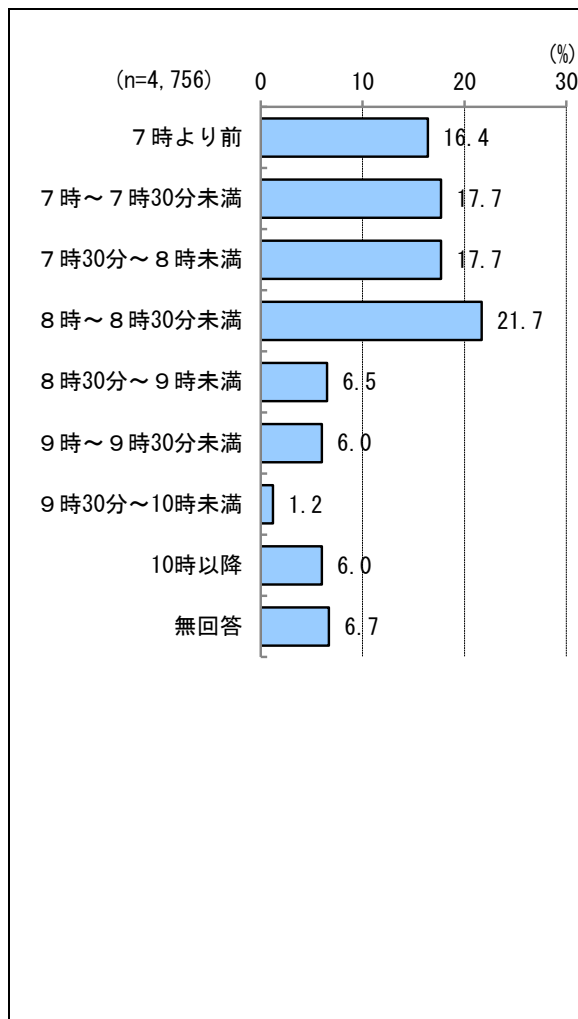


(2) 父親

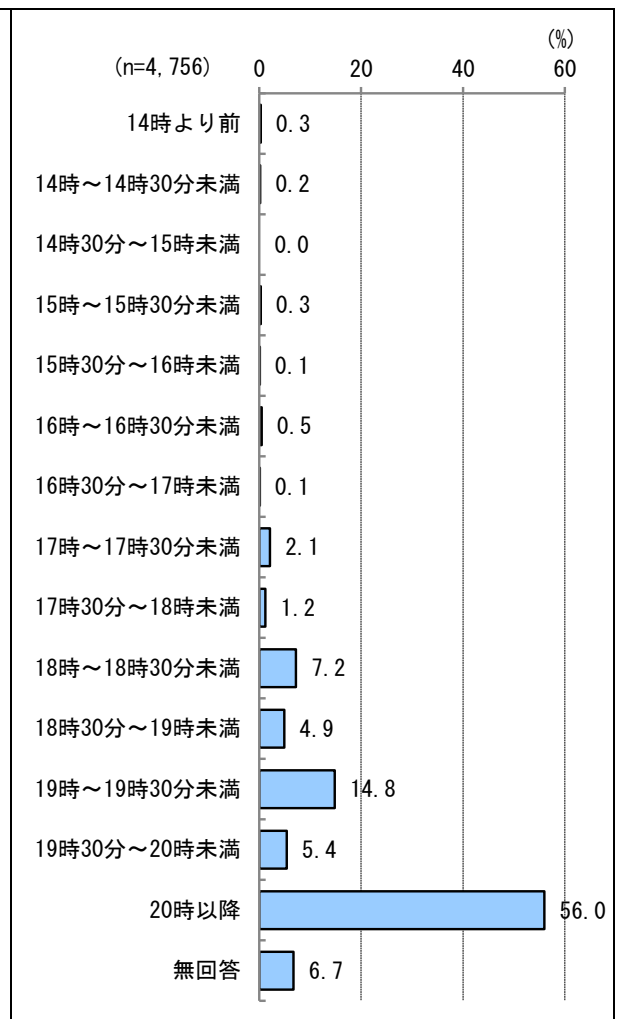
■父親の家を出る時間については、「8時～8時30分未満」が21.7%で最も多く、次いで「7時30分～8時未満」が17.7%（842人）、「7時～7時30分未満」が17.7%（841人）となっている。

■父親の帰宅時間については、「20時以降」が56.0%で最も多く、次いで「19時～19時30分未満」が14.8%となっている。

・ 父親の家を出る時間



・ 父親の帰宅時間



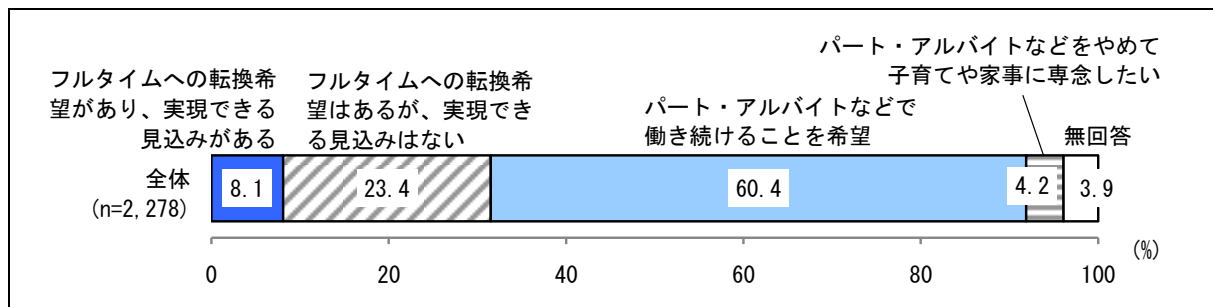
4 パート・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望

問9で「3」または「4」を選んだ方（パート・アルバイトの方）におうかがいします。
問10 フルタイムへの転換希望はありますか。（母親・父親いずれも○は1つ）

（1）母親

■パート・アルバイト就労者にフルタイムへの転換希望をたずねると、母親では「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が60.4%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が23.4%となっている。

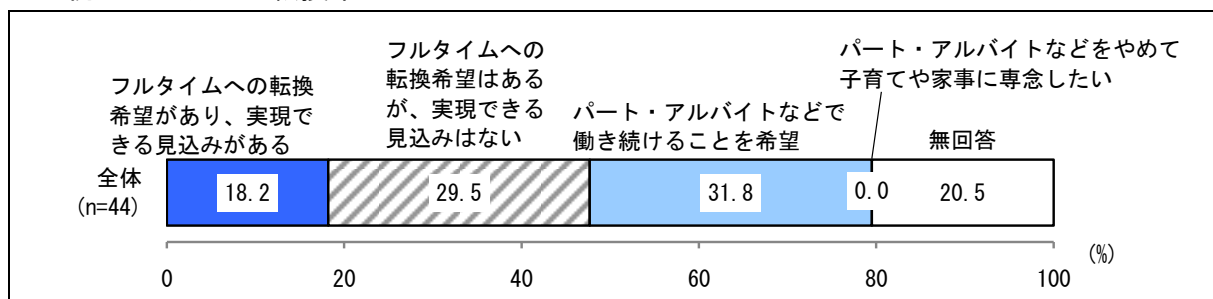
・母親のフルタイム転換希望



（2）父親

■父親では「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が31.8%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が29.5%となっている。

・父親のフルタイム転換希望



5 仕事をお持ちでない保護者の就労希望

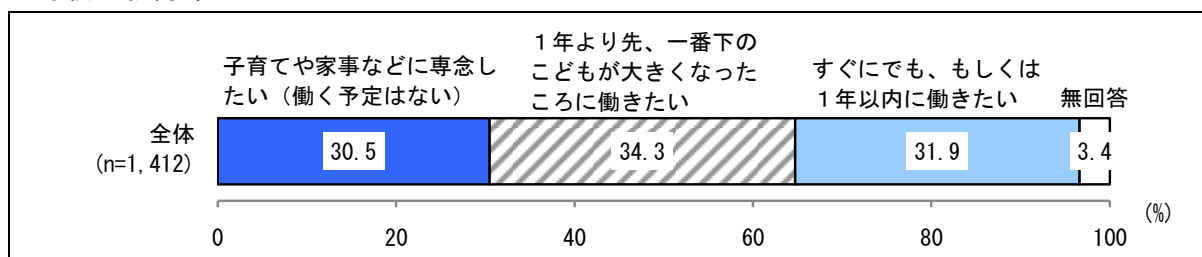
問9で「5」または「6」を選んだ方（仕事をお持ちでない方）におうかがいします。

問11 働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に○をつけ、（ ）内に具体的な数字を記入してください。

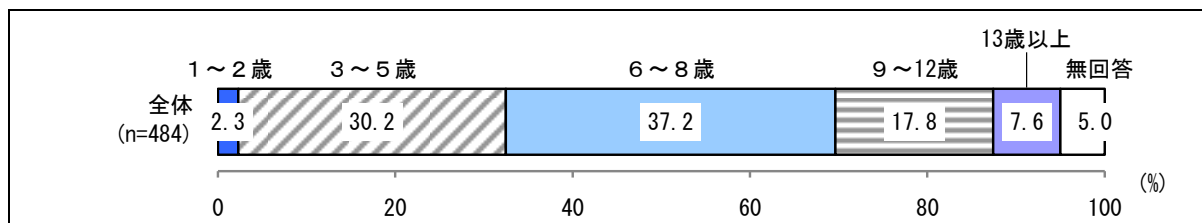
（1）母親

- 母親で、就労していないまたは就労したことがないと回答した人に、就労希望をたずねると、「1年より先、一番下のこどもが大きくなったところに働きたい」が34.3%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が31.9%、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が30.5%となっている。
- 1年より先で働きたいと回答した人に、末子のこどもが何歳になったところに働きたいかをたずねると、「6～8歳」が37.2%で最も多く、次いで「3～5歳」が30.2%となっている。
- すぐにでも、もしくは1年以内に働きたいと回答した人に、希望する就労形態についてたずねると、「フルタイム」が9.3%、「パートタイム、アルバイトなど」が89.6%となっている。

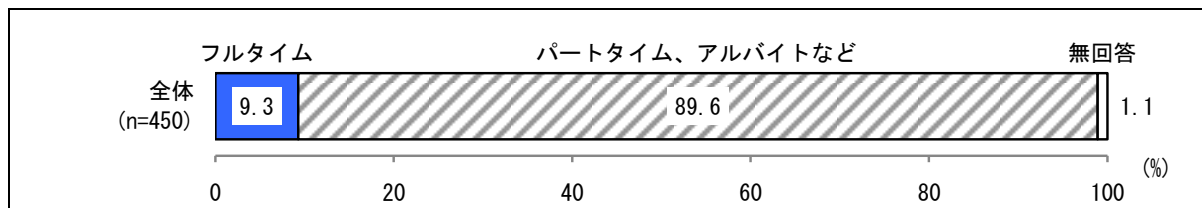
・母親の就労希望



・母親が1年より先で働きたいときの末子の年齢



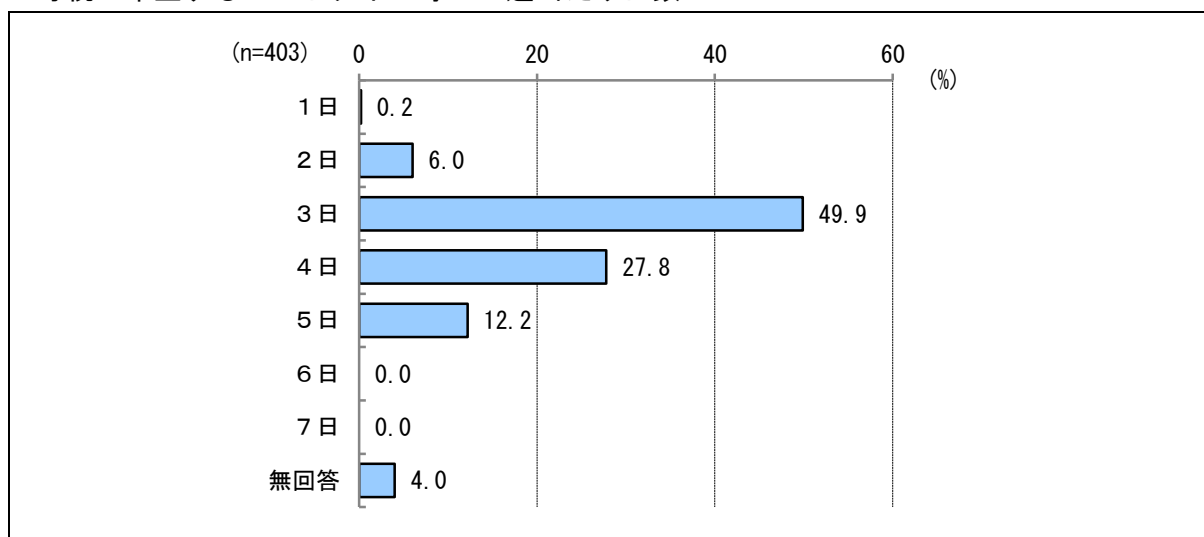
・母親の希望する就労形態



◆母親の希望するパートタイム等の1週当たり日数と1日当たりの就労時間

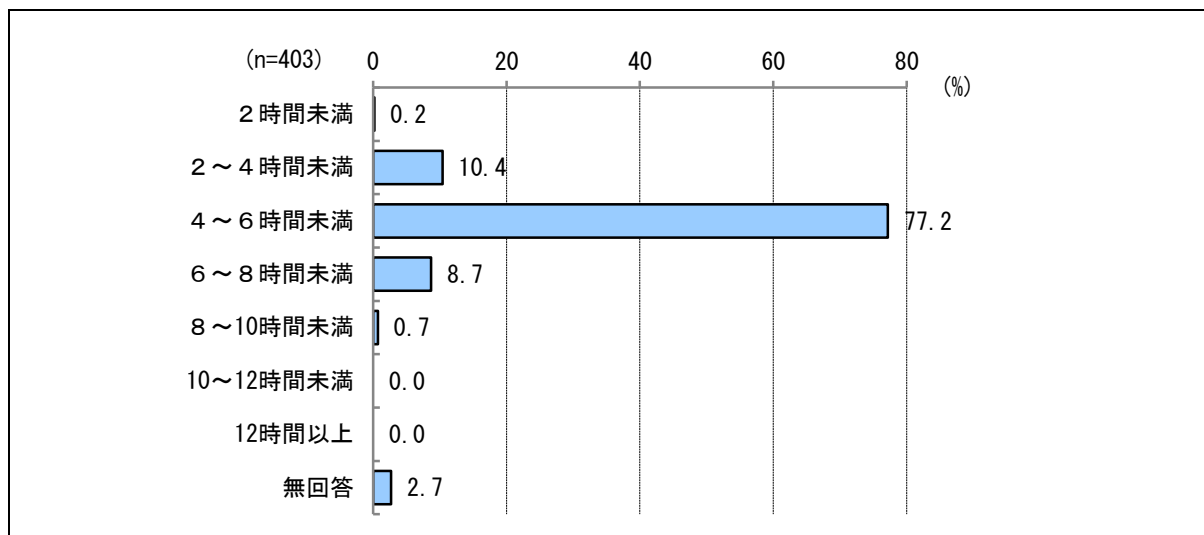
■パートタイム、アルバイトなどを希望すると回答した人に、1週当たり日数をたずねると、「3日」が49.9%で最も多く、次いで「4日」が27.8%となっている。

・母親の希望するパートタイム等の1週当たり日数



■希望する1日当たりの就労時間は、「4～6時間未満」が77.2%で最も多く、次いで「2～4時間未満」が10.4%となっている。

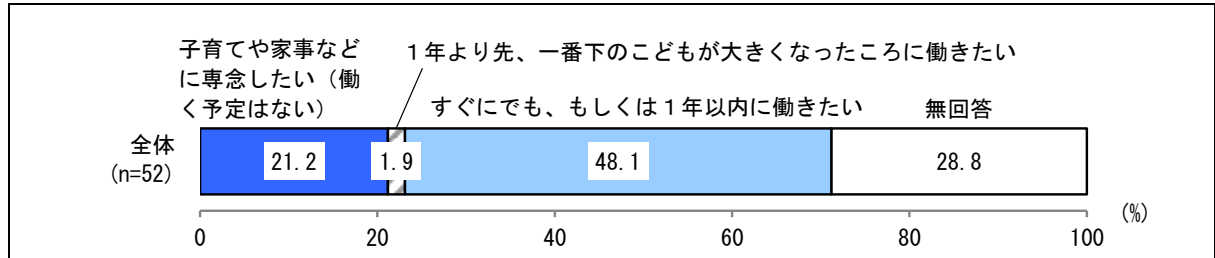
・母親の希望するパートタイム等の1日当たりの就労時間



(2) 父親

■父親で、就労していないまたは就労したことがないと回答した人に、就労希望をたずねると、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が48.1%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が21.2%となっている。

・父親の就労希望



◆父親が1年より先で働きたいときの末子の年齢

■1年より先で働きたいと回答した人は1人であり、末子のこどもが何歳になったところに働きたいかをたずねると、「6～8歳」（1人）と回答している。

◆父親の希望する就労形態

■すぐにでも、もしくは1年以内に働きたいと回答した人（25人）に、希望する就労形態についてたずねると、「フルタイム」が76.0%（19人）、「パートタイム、アルバイトなど」が20.0%（5人）となっている。

◆父親の希望するパートタイム等の1週当たり日数と1日当たりの就労時間

■パートタイム、アルバイトなどを希望すると回答した人（5人）に、1週当たり日数をたずねると、「5日」が60.0%（3人）で最も多く、次いで「3日」と「6日」がそれぞれ20.0%（1人）となっている。

■希望する1日当たりの就労時間は、「4～6時間未満」と「6～8時間未満」がともに40.0%（2人）で最も多く、次いで「8～10時間未満」が20.0%（1人）となっている。

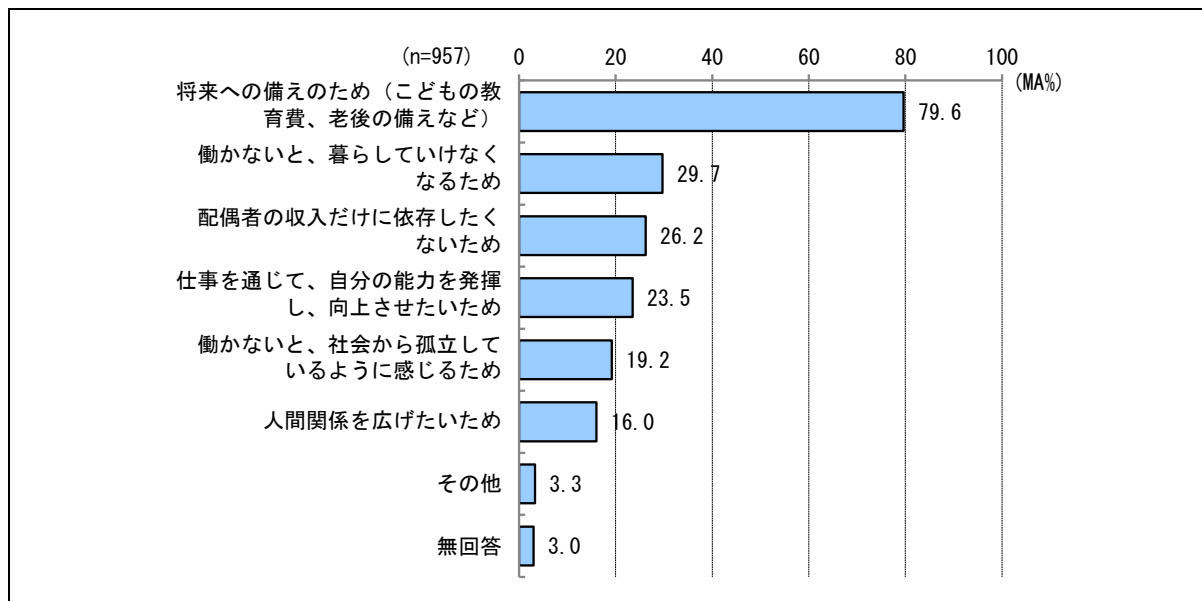
6 働きたい理由

問11の（１）または（２）で、「２」または「３」を選んだ方におうかがいします。

問12 働きたい理由は何ですか。（○はいくつでも）

■就労していない人で今後働きたいと回答した人に、働きたい理由をたずねると、「将来への備えのため（こどもの教育費、老後の備えなど）」が79.6%で最も多く、次いで「働かないと、暮らしていけなくなるため」が29.7%、「配偶者の収入だけに依存したくないため」が26.2%となっている。

・働きたい理由

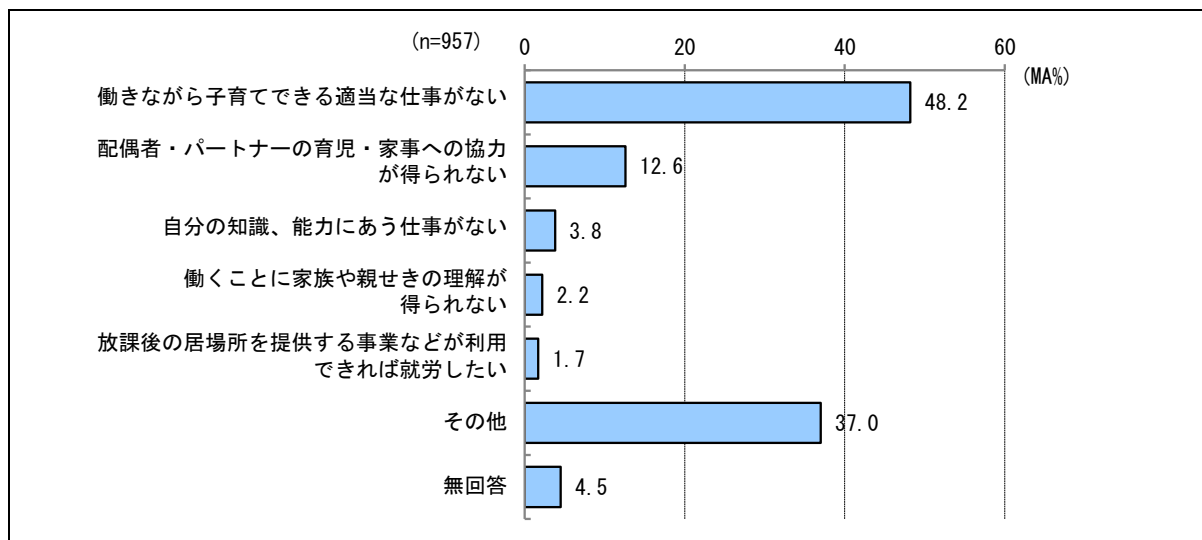


7 現在働いていない理由

問12-1 就労希望がありながら、現在働いていない最大の理由は何ですか。（○は1つ）

■就労希望がありながら、現在働いていない理由は、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が48.2%で最も多く、次いで「配偶者・パートナーの育児・家事への協力が得られない」が12.6%となっている。

・現在働いていない理由



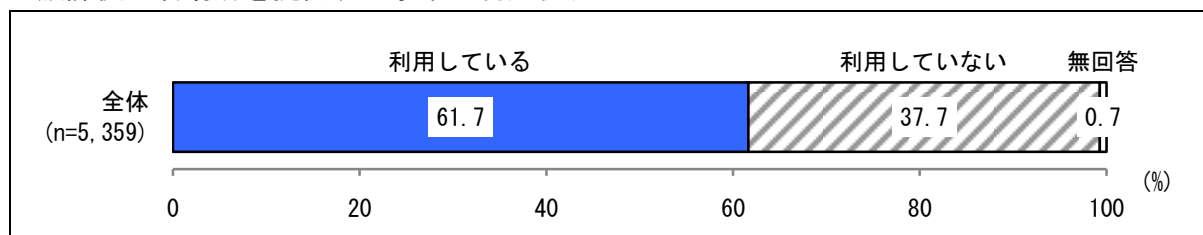
IV. 放課後の居場所を提供する事業の利用状況と今後の希望について

1 放課後の居場所を提供する事業の利用状況

問13 あて名のお子さんについて、現在、「放課後の居場所を提供する事業」を利用していますか。(〇は1つ)

■放課後の居場所を提供する事業の利用状況は、「利用している」が61.7%、「利用していない」が37.7%となっている。

・放課後の居場所を提供する事業の利用状況



2 放課後の居場所を提供する事業の平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休業日の利用頻度と利用時間

問13で「1 利用している」を選ばれた方におうかがいします。

問13-1 利用している事業について、平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休業日それぞれの「利用状況」と「利用時間帯」をご記入ください。

※時間は「16:00」のように24時間制でご記入ください。

(1) 児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）

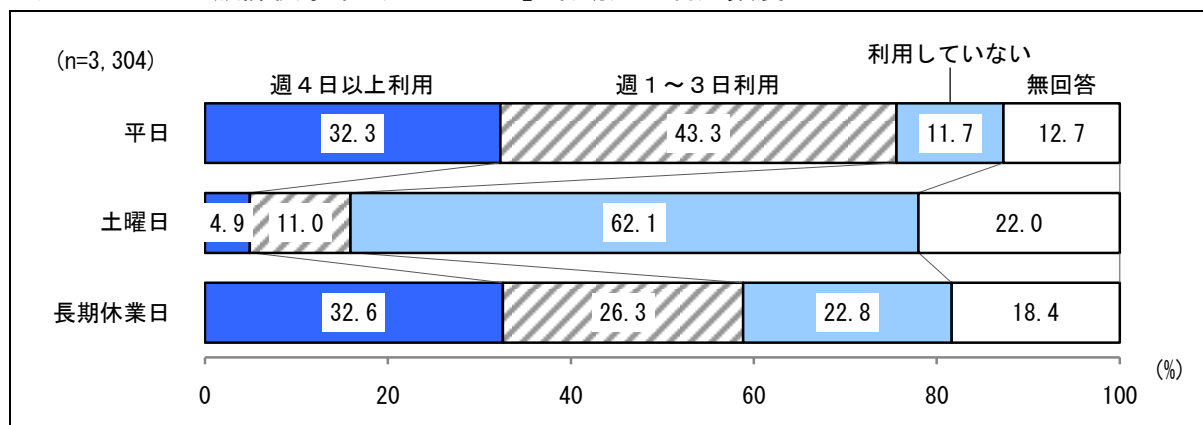
①利用頻度

■児童いきいき放課後事業の利用頻度は、平日は「週1～3日利用」が43.3%で最も多く、次いで「週4日以上利用」が32.3%となっている。「週4日以上利用」と「週1～3日利用」をあわせた『利用している』は75.6%となっている。

土曜日は、「利用していない」が62.1%で最も多く、次いで「週1～3日利用」が11.0%で、『利用している』は15.9%となっている。

長期休業中は「週4日以上利用」が32.6%で最も多く次いで「週1～3日利用」が26.3%で、『利用している』は58.9%となっている。

・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用頻度

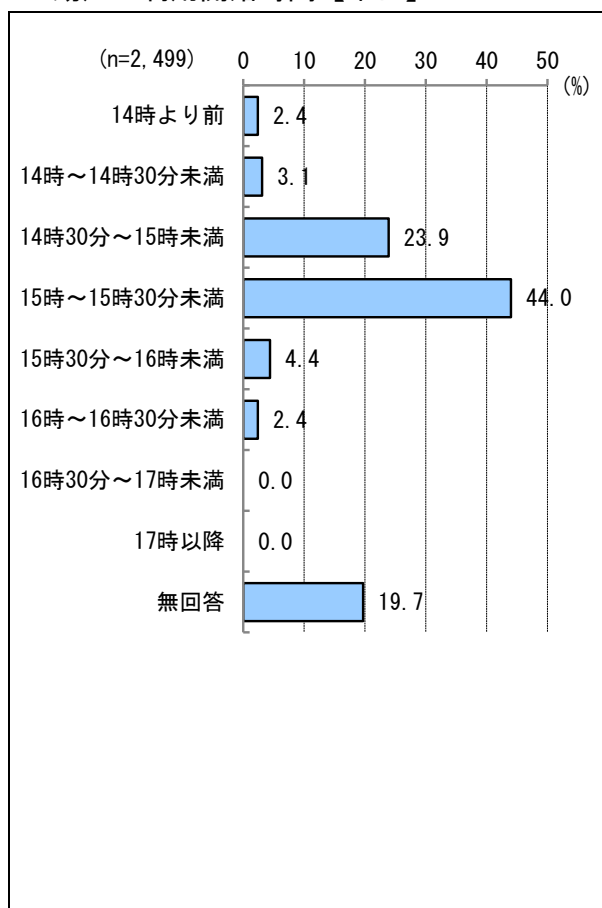


②利用時間

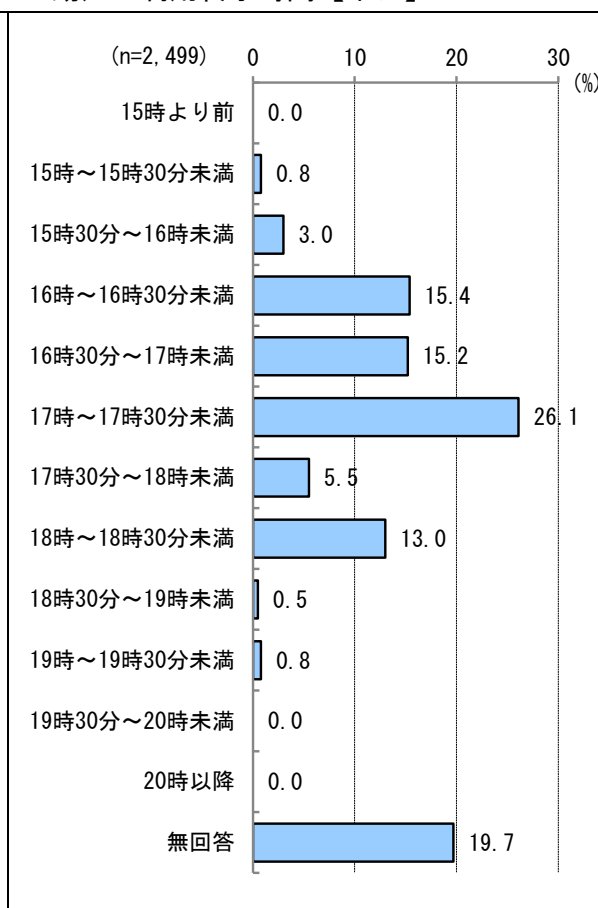
■平日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用時間については、利用開始は「15時～15時30分未満」が44.0%で最も多く、次いで「14時30分～15時未満」が23.9%となっている。

■利用終了は「17時～17時30分未満」が26.1%で最も多く、次いで「16時～16時30分未満」が15.4%、「16時30分～17時未満」が15.2%となっている。

・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間【平日】



・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間【平日】

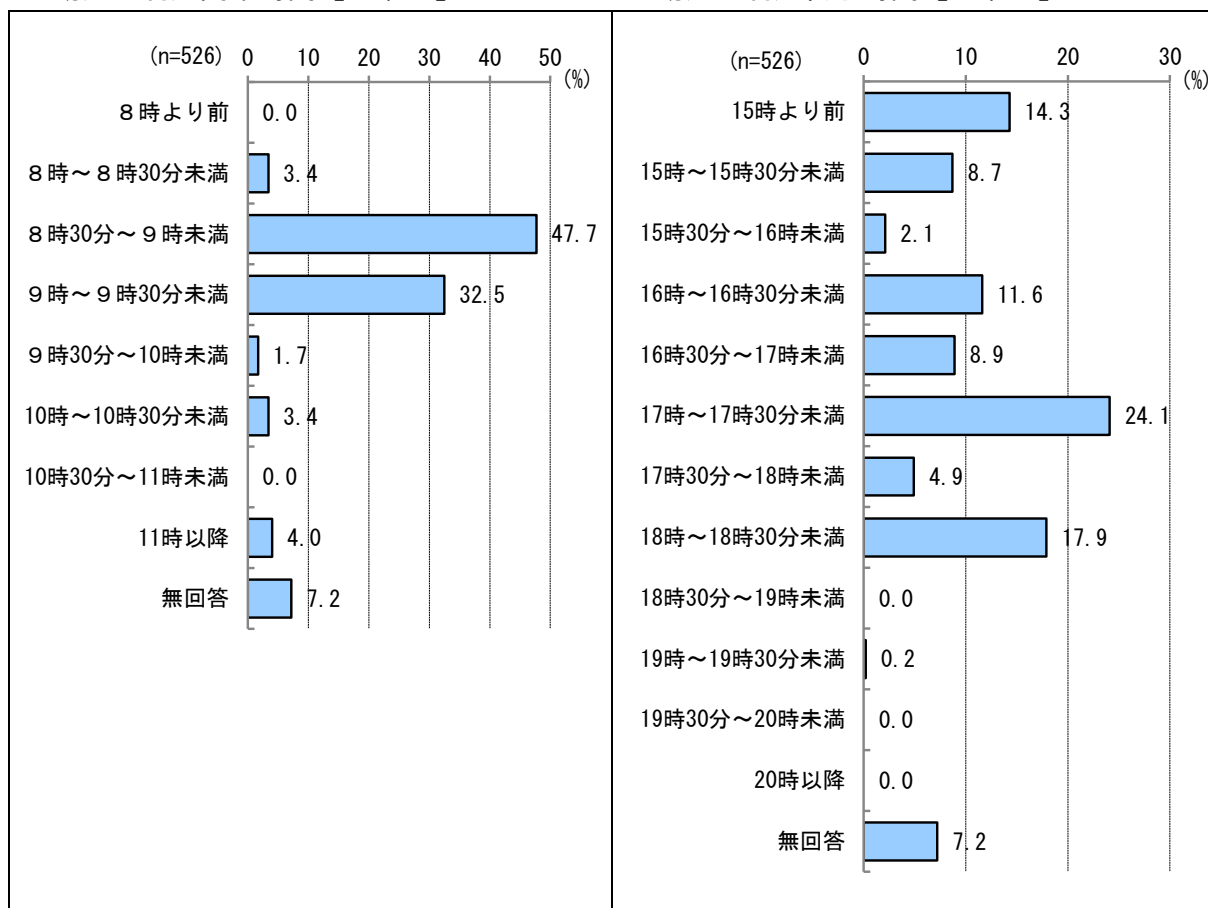


■土曜日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用時間については、利用開始は「8時30分～9時未満」が47.7%で最も多く、次いで「9時～9時30分未満」が32.5%となっている。

■利用終了は「17時～17時30分未満」が24.1%で最も多く、次いで「18時～18時30分未満」が17.9%、「15時より前」が14.3%となっている。

・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間【土曜日】

・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間【土曜日】

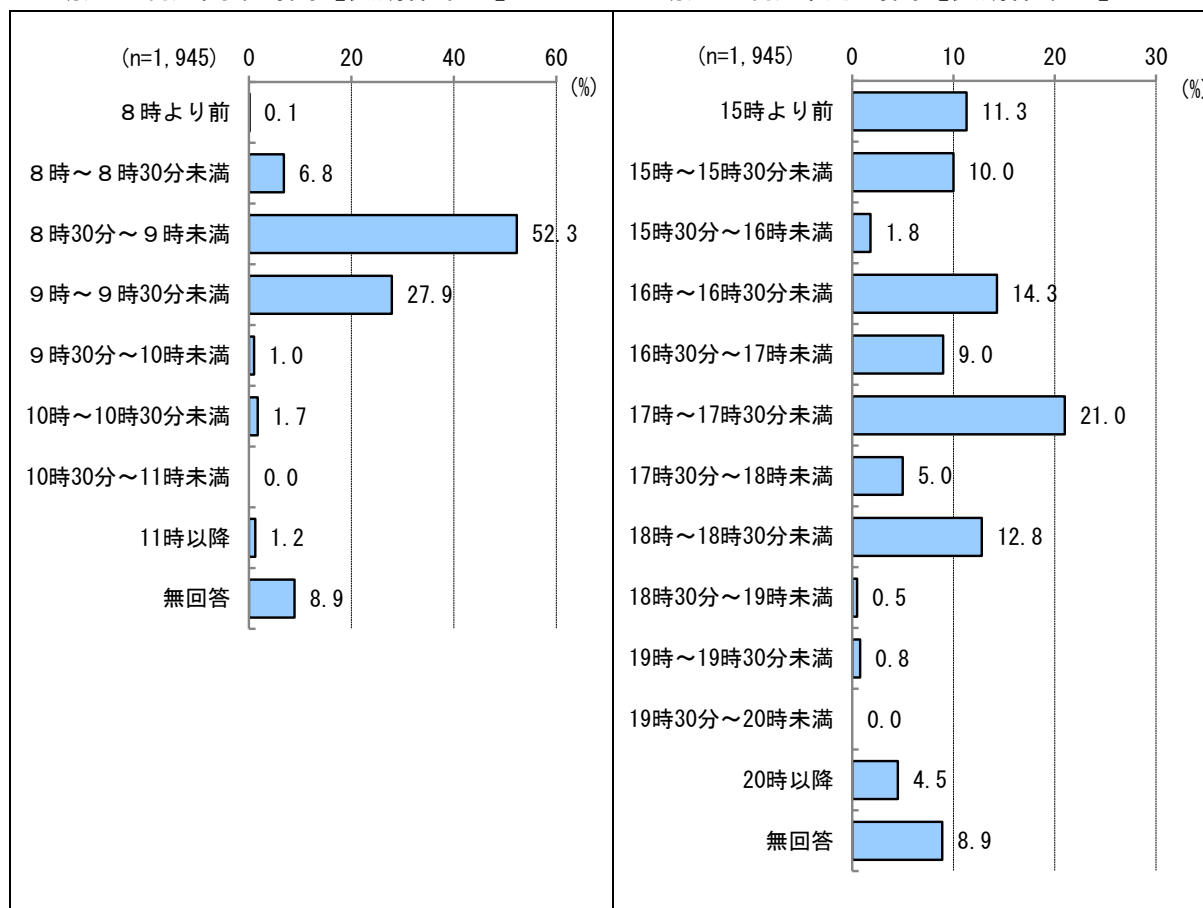


■長期休業日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用時間については、利用開始は「8時30分～9時未満」が52.3%で最も多く、次いで「9時～9時30分未満」が27.9%となっている。

■利用終了は「17時～17時30分未満」が21.0%で最も多く、次いで「16時～16時30分未満」が14.3%、「18時～18時30分未満」が12.8%となっている。

・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間【長期休業日】

・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間【長期休業日】

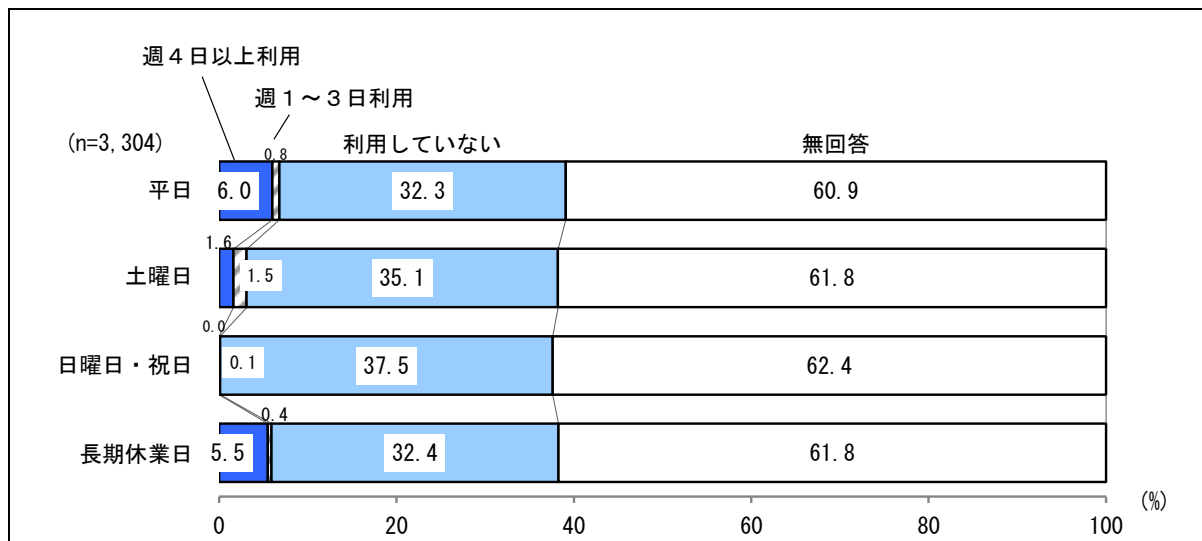


(2) 留守家庭児童対策事業（学童保育）

①利用頻度

■留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用頻度は、平日・休日問わず「利用していない」が最も多く、30％台となっている。「週4日以上利用している」は平日が6.0％、長期休業日が5.5％、土曜日が1.6％となっている。「週4日以上利用」と「週1～3日利用」をあわせた『利用している』は平日が6.8％、長期休業日が5.9％となっている。

・留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用頻度

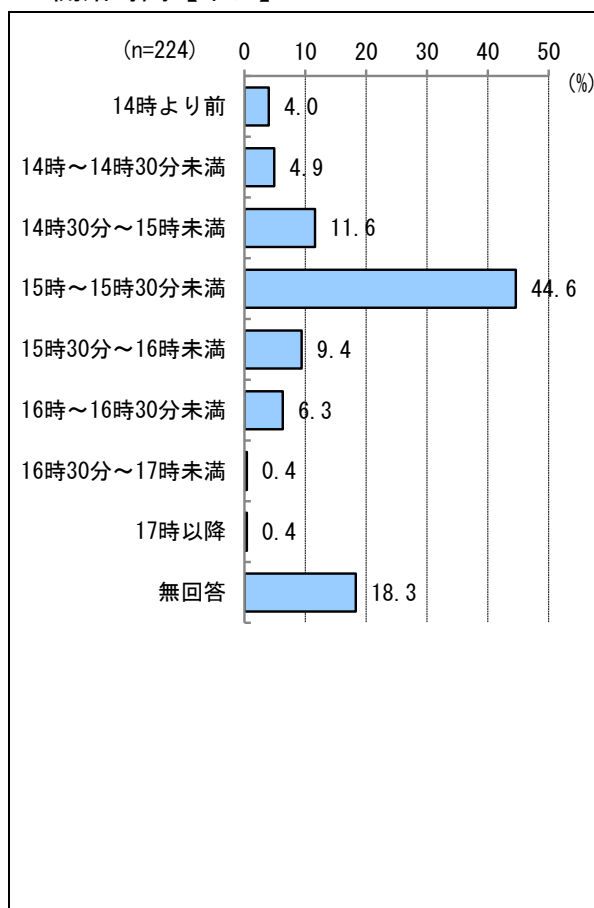


②利用時間

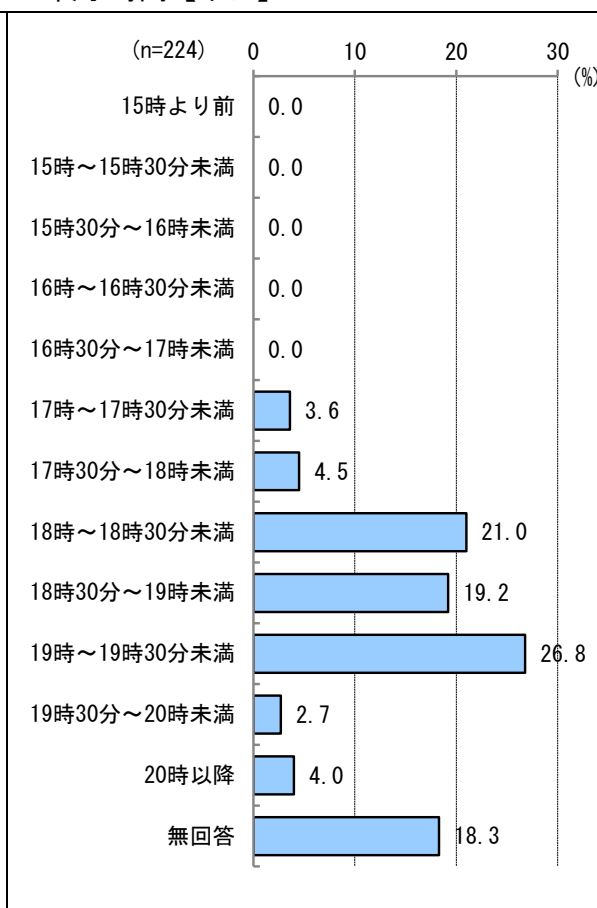
■平日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用時間については、利用開始は「15時～15時30分未満」が44.6%で最も多く、次いで「14時30分～15時未満」が11.6%、「15時30分～16時未満」が9.4%となっている。

■利用終了は「19時～19時30分未満」が26.8%で最も多く、次いで「18時～18時30分未満」が21.0%、「18時30分～19時未満」が19.2%となっている。

・留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用
開始時間【平日】



・留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用
終了時間【平日】

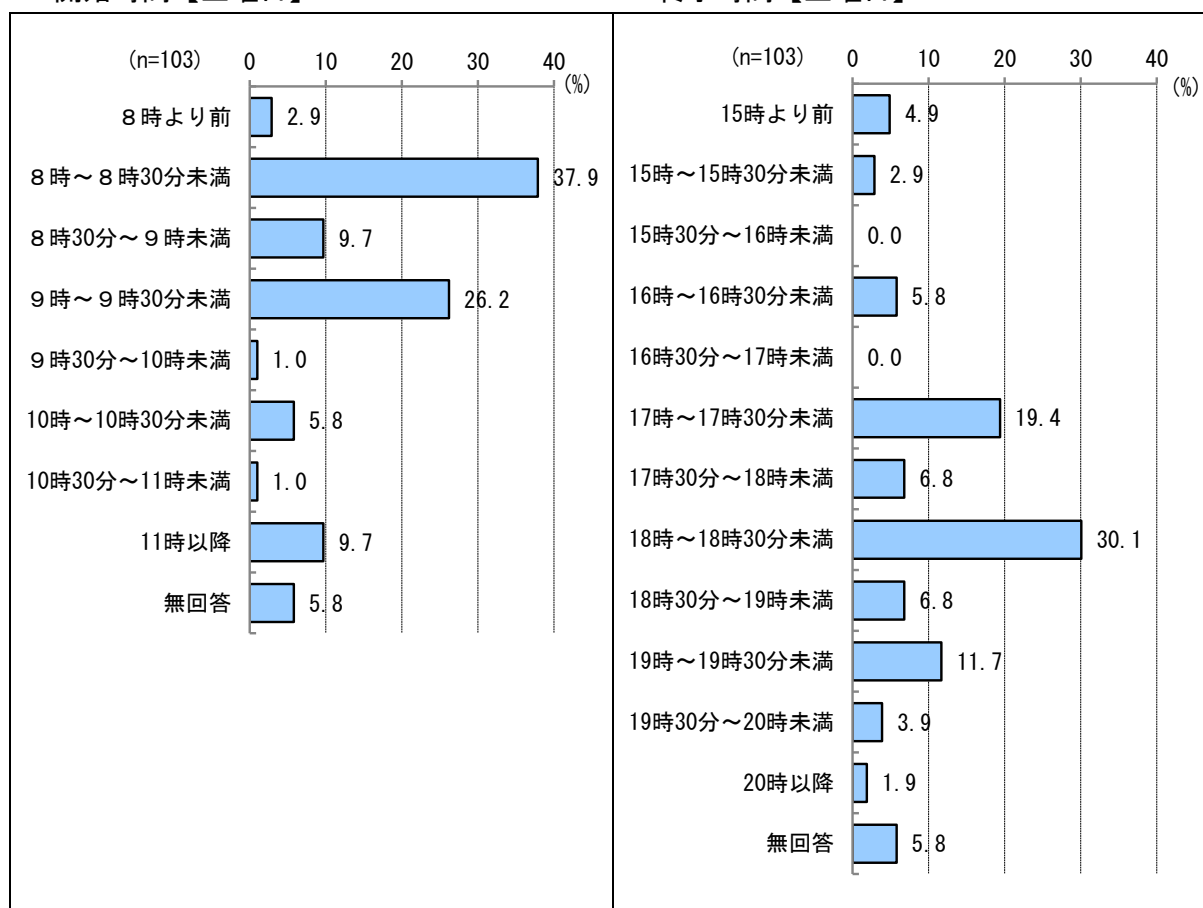


■土曜日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用時間については、利用開始は「8時～8時30分未満」が37.9%で最も多く、次いで「9時～9時30分未満」が26.2%となっている。

■利用終了は「18時～18時30分未満」が30.1%で最も多く、次いで「17時～17時30分未満」が19.4%となっている。

・留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用
開始時間【土曜日】

・留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用
終了時間【土曜日】



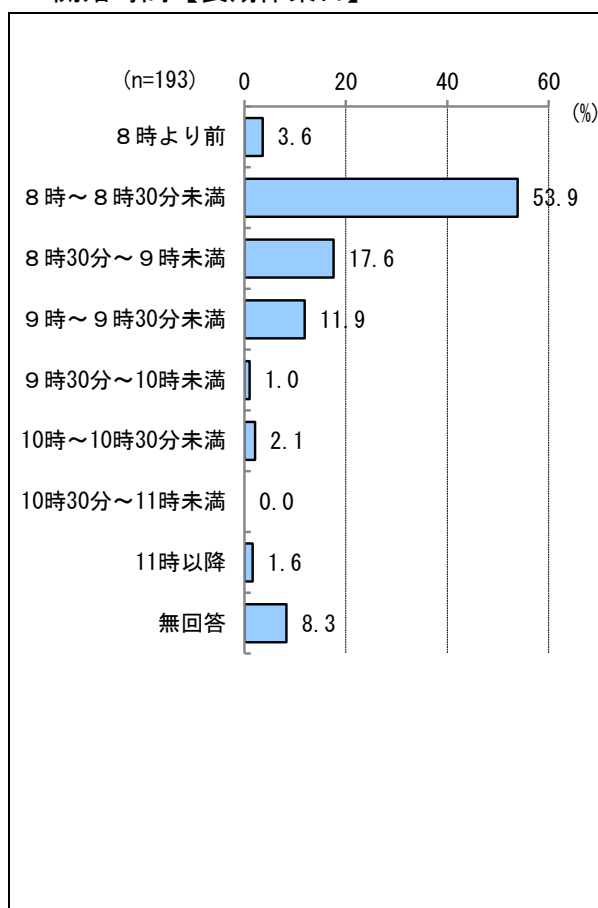
■日曜日・祝日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用時間（4人）については、利用開始は「8時30分～9時未満」が25.0%（1人）となっている。

■利用終了は「18時～18時30分未満」が25.0%（1人）となっている。

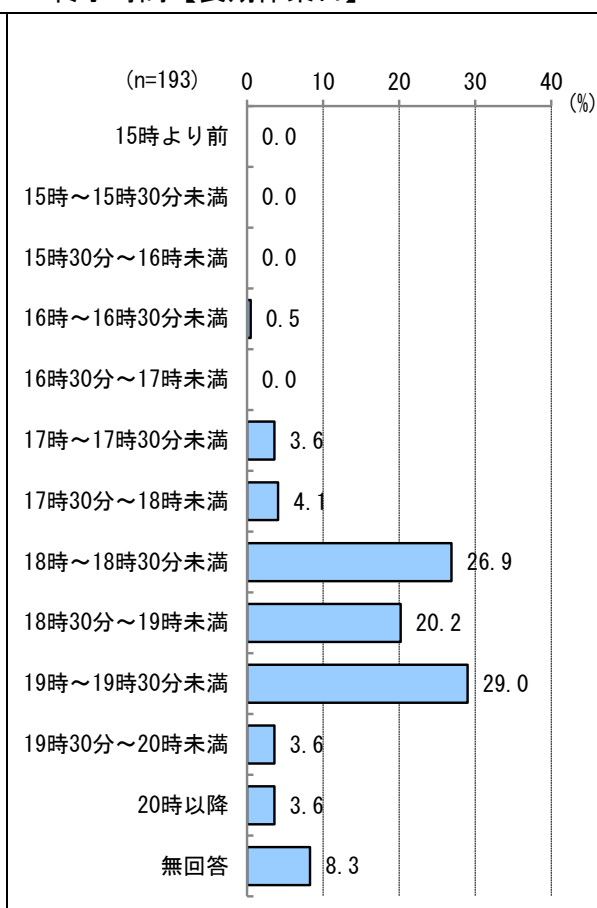
■長期休業日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用時間については、利用開始は「8時～8時30分未満」が53.9%で最も多く、次いで「8時30分～9時未満」が17.6%となっている。

■利用終了は「19時～19時30分未満」が29.0%で最も多く、次いで「18時～18時30分未満」が26.9%となっている。

・留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用
開始時間【長期休業日】



・留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用
終了時間【長期休業日】

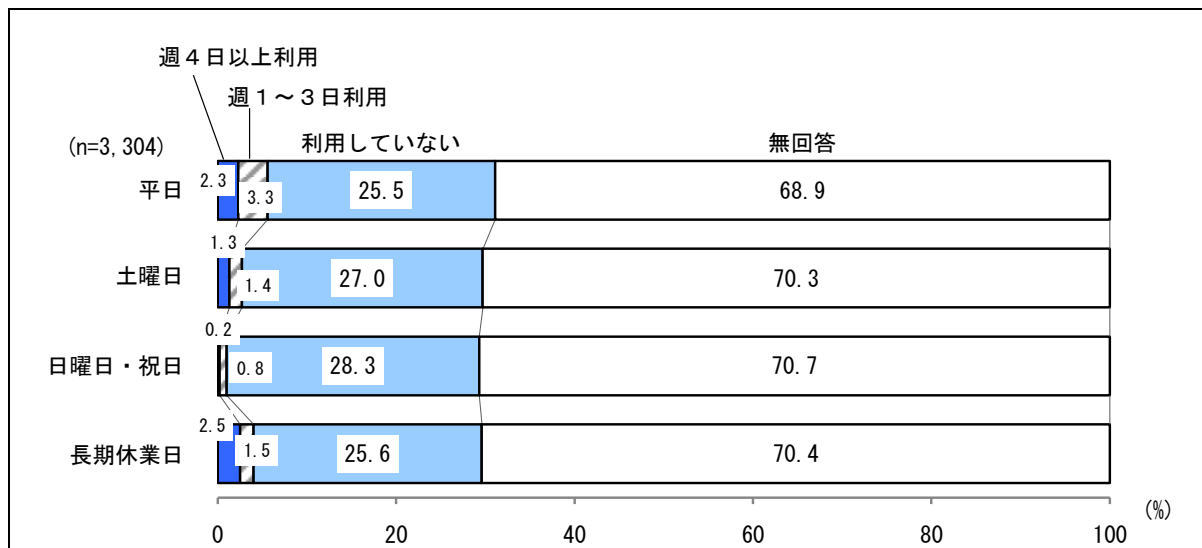


(3) その他の事業・サービス

①利用頻度

■その他の事業・サービスの利用頻度は、平日・休日問わず「利用していない」が最も多く、20%台となっている。「週4日以上利用している」は平日が2.3%、長期休業日が2.5%、土曜日が1.3%となっている。「週4日以上利用」と「週1～3日利用」をあわせた『利用している』は、平日が5.6%、長期休業日が4.0%となっている。

・その他の事業・サービスの利用頻度

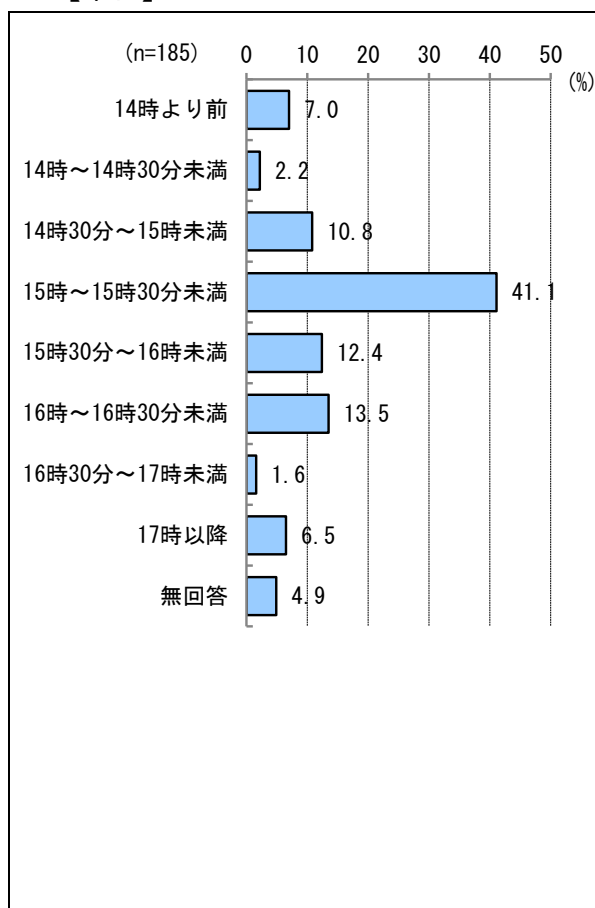


②利用時間

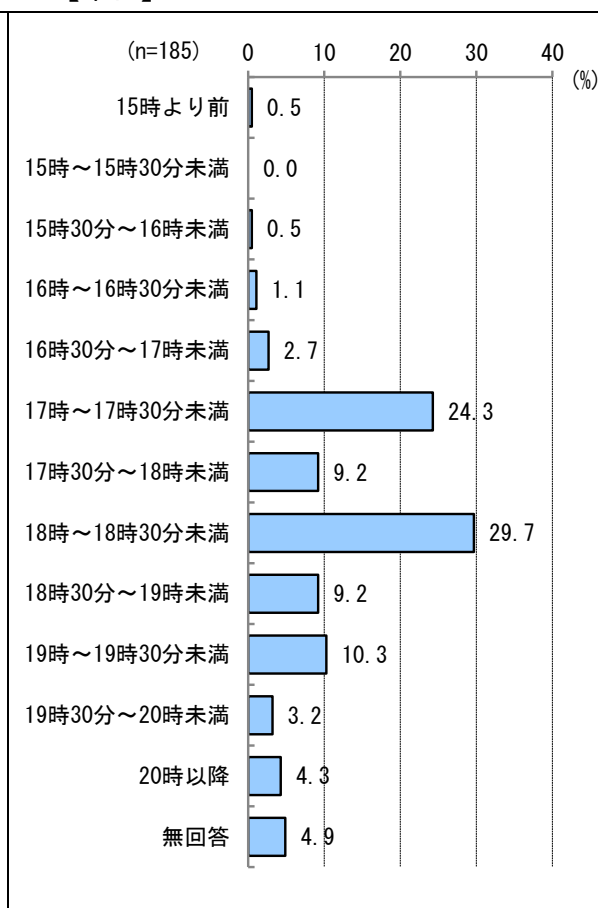
■平日のその他の事業・サービスの利用時間については、利用開始は「15時～15時30分未満」が41.1%で最も多く、次いで「16時～16時30分未満」が13.5%、「15時30分～16時未満」が12.4%となっている。

■利用終了は「18時～18時30分未満」が29.7%で最も多く、次いで「17時～17時30分未満」が24.3%となっている。

・その他の事業・サービスの利用開始時間
【平日】

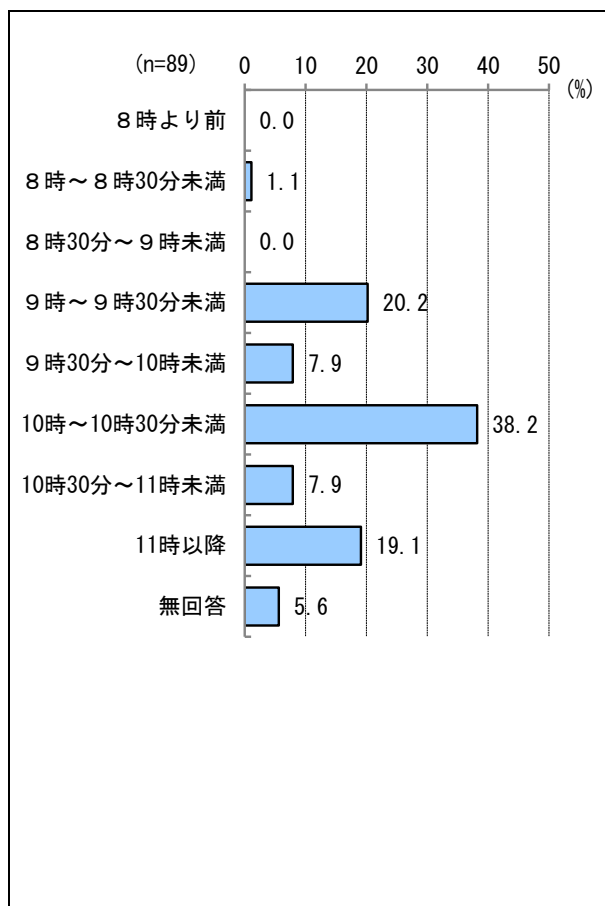


・その他の事業・サービスの利用終了時間
【平日】

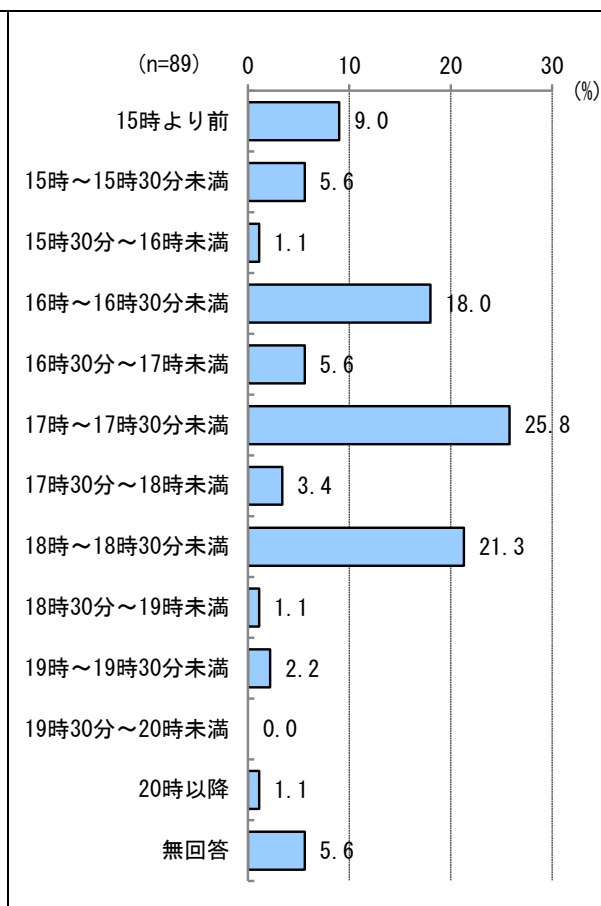


- 土曜日のその他の事業・サービスの利用時間については、利用開始は「10時～10時30分未満」が38.2%で最も多く、次いで「9時～9時30分未満」が20.2%となっている。
- 利用終了は「17時～17時30分未満」が25.8%で最も多く、次いで「18時～18時30分未満」が21.3%、「16時～16時30分未満」が18.0%となっている。

・その他の事業・サービスの利用開始時間
【土曜日】

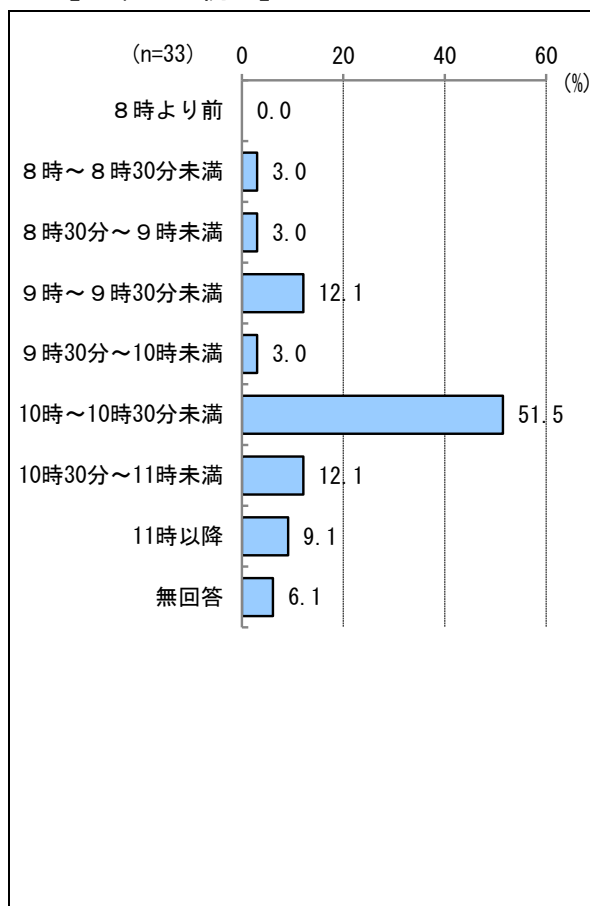


・その他の事業・サービスの利用終了時間
【土曜日】

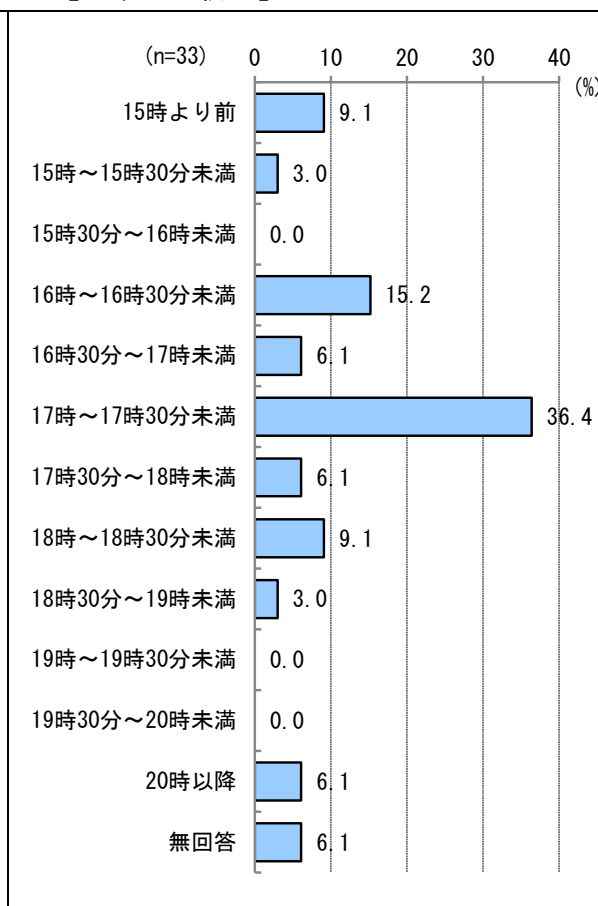


- 日曜日・祝日のその他の事業・サービスの利用時間（33人）については、利用開始は「10時～10時30分未満」が51.5%（17人）で最も多く、次いで「9時～9時30分未満」と「10時30分～11時未満」がともに12.1%（4人）となっている。
- 利用終了は「17時～17時30分未満」が36.4%（12人）でも多く、次いで「16時～16時30分未満」が15.2%（5人）となっている。

・その他の事業・サービスの利用開始時間
【日曜日・祝日】



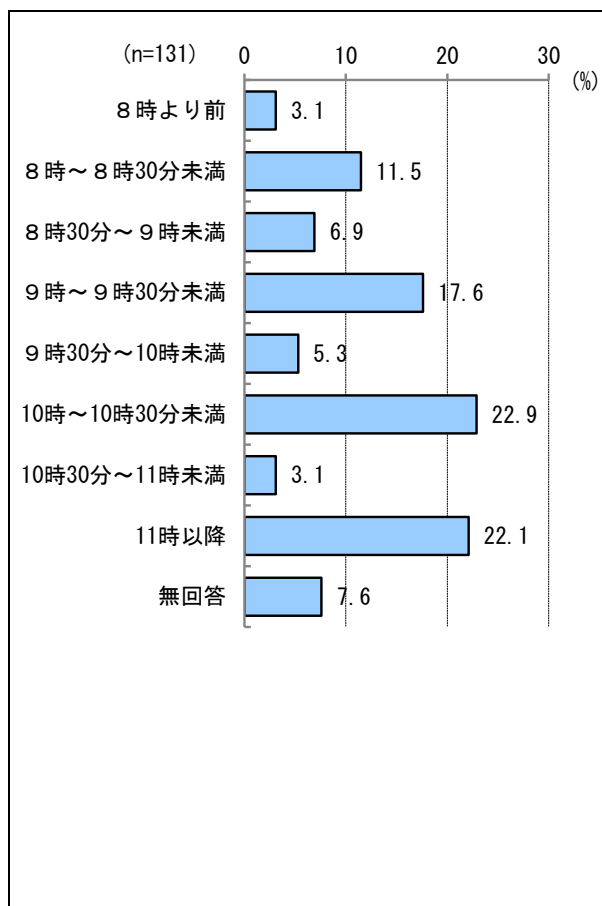
・その他の事業・サービスの利用終了時間
【日曜日・祝日】



- 長期休業日のその他の事業・サービスの利用時間については、利用開始は「10時～10時30分未満」が22.9%で最も多く、次いで「11時以降」が22.1%となっている。
- 利用終了は「18時～18時30分未満」が24.4%で最も多く、次いで「17時～17時30分未満」が19.8%となっている。

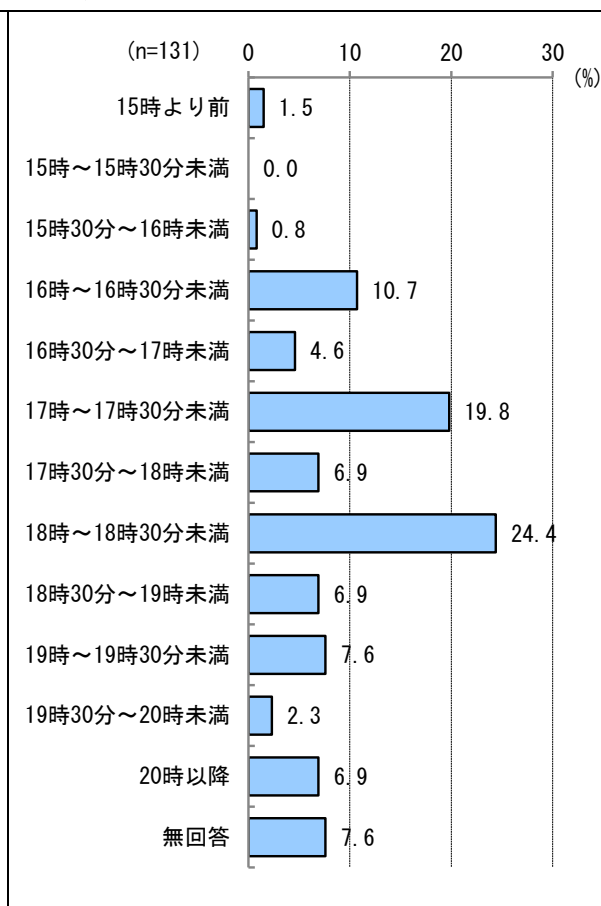
・その他の事業・サービスの利用開始時間

【長期休業日】



・その他の事業・サービスの利用終了時間

【長期休業日】

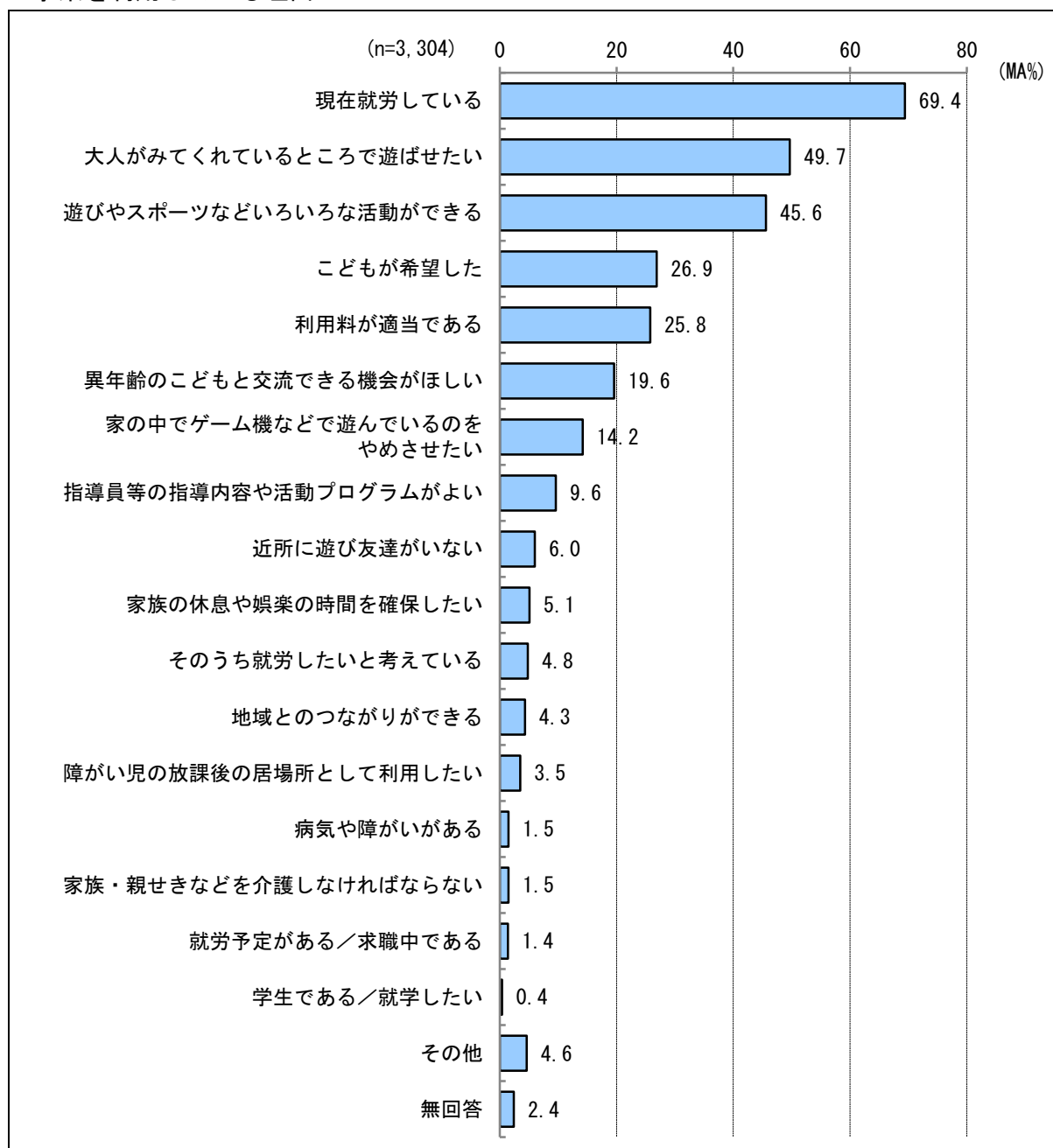


(4) 事業を利用している理由

問13-2 利用している理由は何ですか。(〇はいくつでも)

■放課後の居場所を提供する事業を利用している理由は、「現在就労している」が69.4%で最も多く、次いで「大人がみてくれているところで遊ばせたい」が49.7%、「遊びやスポーツなどいろいろな活動ができる」が45.6%となっている。

・事業を利用している理由

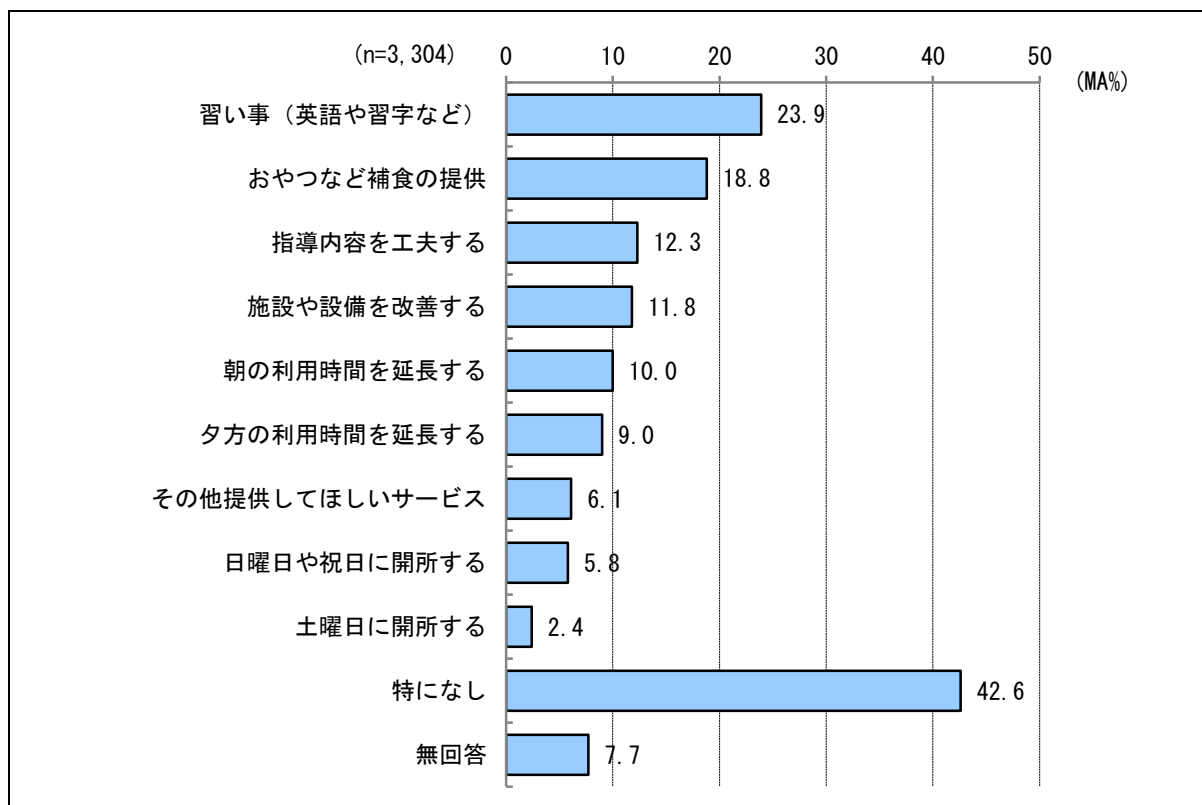


(5) 事業者に希望すること

問13-3 現在利用している事業者にどのようなことを希望しますか。(〇はいくつでも)
希望するサービス内容及び負担するに当たり妥当と思う金額についてご記入ください。

■事業者に希望することは、「特になし」が42.6%で最も多いが、希望することがある人では「習い事（英語や習字など）」が23.9%で最も多く、次いで「おやつなど補食の提供」が18.8%、「指導内容を工夫する」が12.3%となっている。

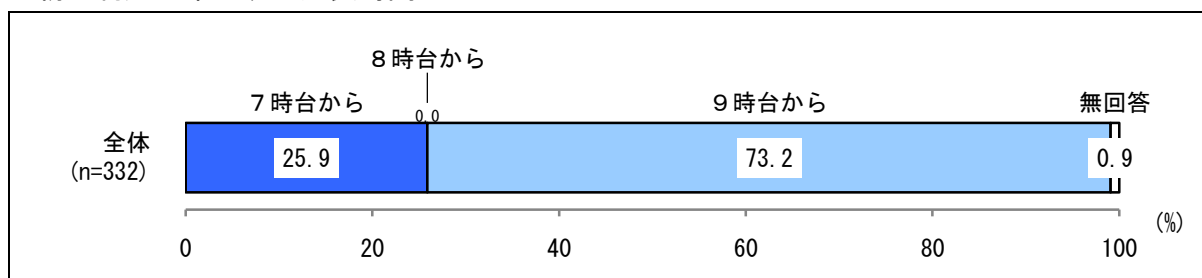
・事業者に希望すること



◆朝の利用に希望する延長時間帯と妥当と思う金額

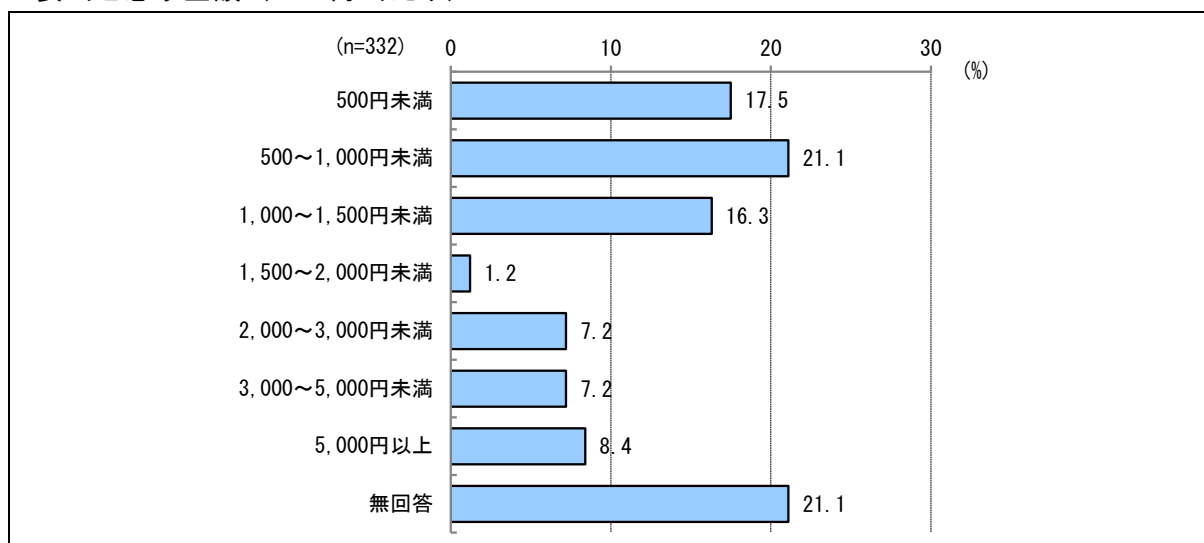
■朝の利用時間を延長すると回答した人の希望する延長時間は「9時台から」が73.2%で最も多く、次いで「7時台から」が25.9%となっている。

・朝の利用に希望する延長時間



■妥当と思う金額（1か月当たり）は、「500～1,000円未満」が21.1%で最も多く、次いで「500円未満」が17.5%となっている。

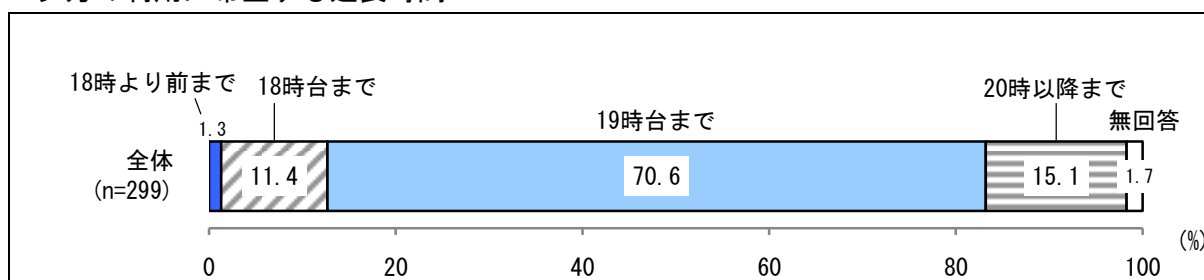
・妥当と思う金額（1か月当たり）



◆夕方の利用に希望する延長時間帯と妥当と思う金額

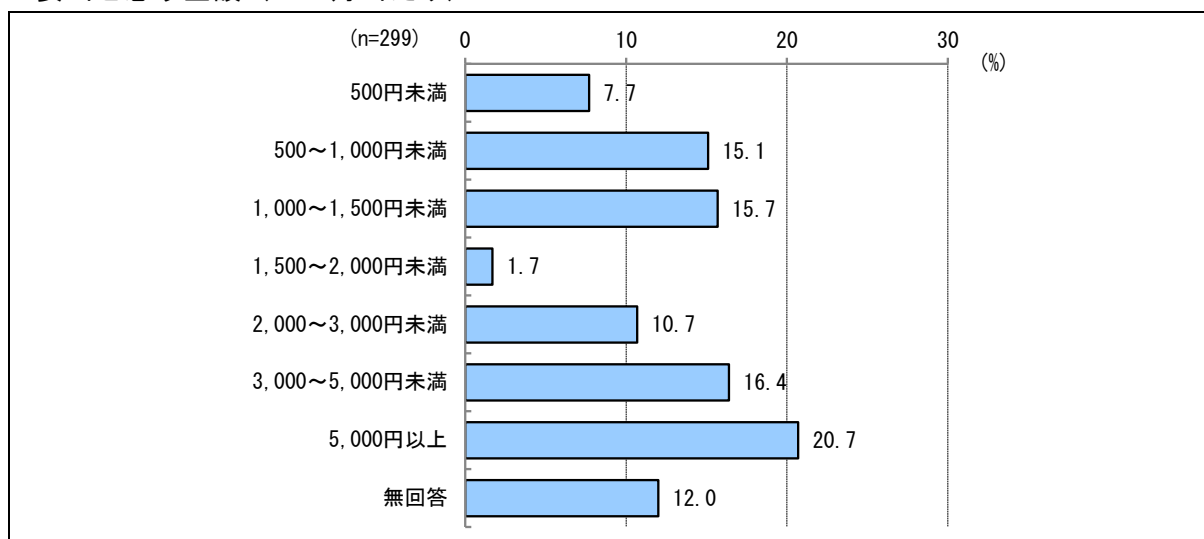
■夕方の利用時間を延長すると回答した人の希望する延長時間は「19時台まで」が70.6%で最も多く、次いで「20時以降まで」が15.1%となっている。

・夕方の利用に希望する延長時間



■妥当と思う金額（1か月当たり）は、「5,000円以上」が20.7%で最も多く、次いで「3,000～5,000円未満」が16.4%となっている。

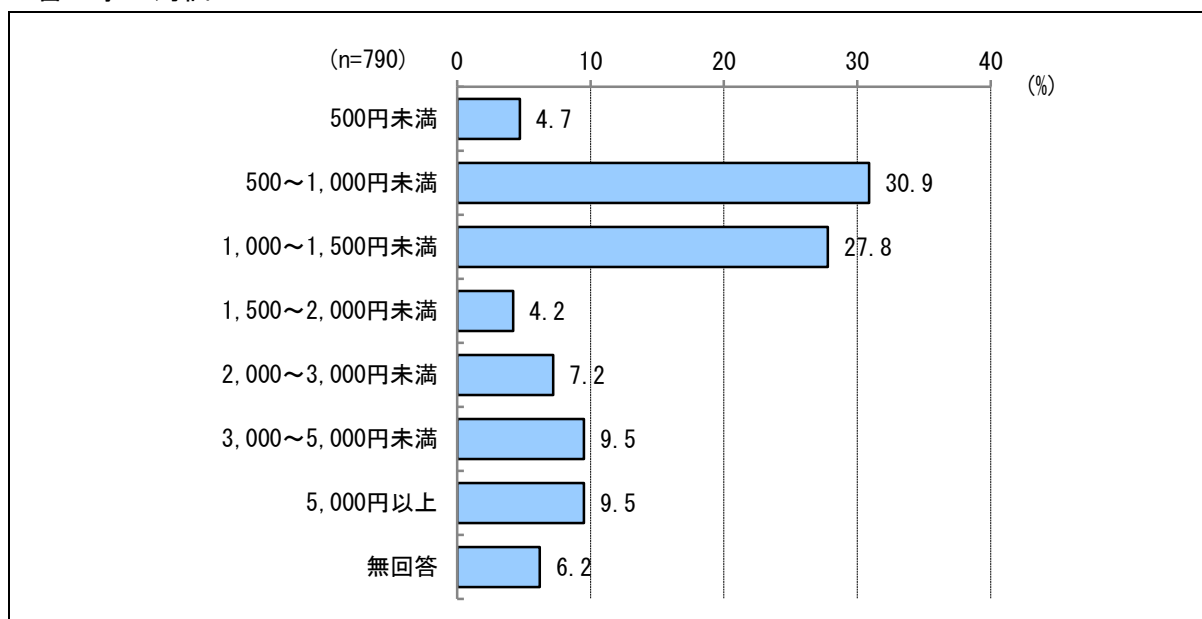
・妥当と思う金額（1か月当たり）



◆習い事の対価

■習い事と回答した人のその対価（1か月当たり）は「500～1,000円未満」が30.9%で最も多く、次いで「1,000～1,500円未満」が27.8%となっている。

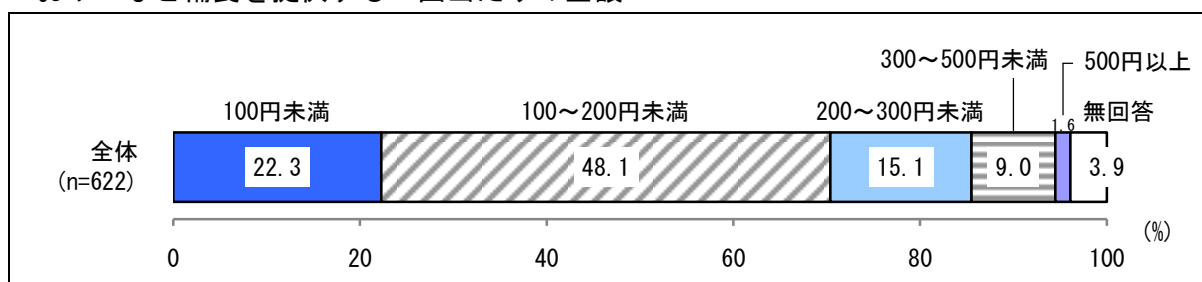
・習い事の対価



◆おやつなど補食を提供する1回当たりの金額

■おやつなど補食の提供と回答した人の1回当たりの金額は「100～200円未満」が48.1%で最も多く、次いで「100円未満」が22.3%となっている。

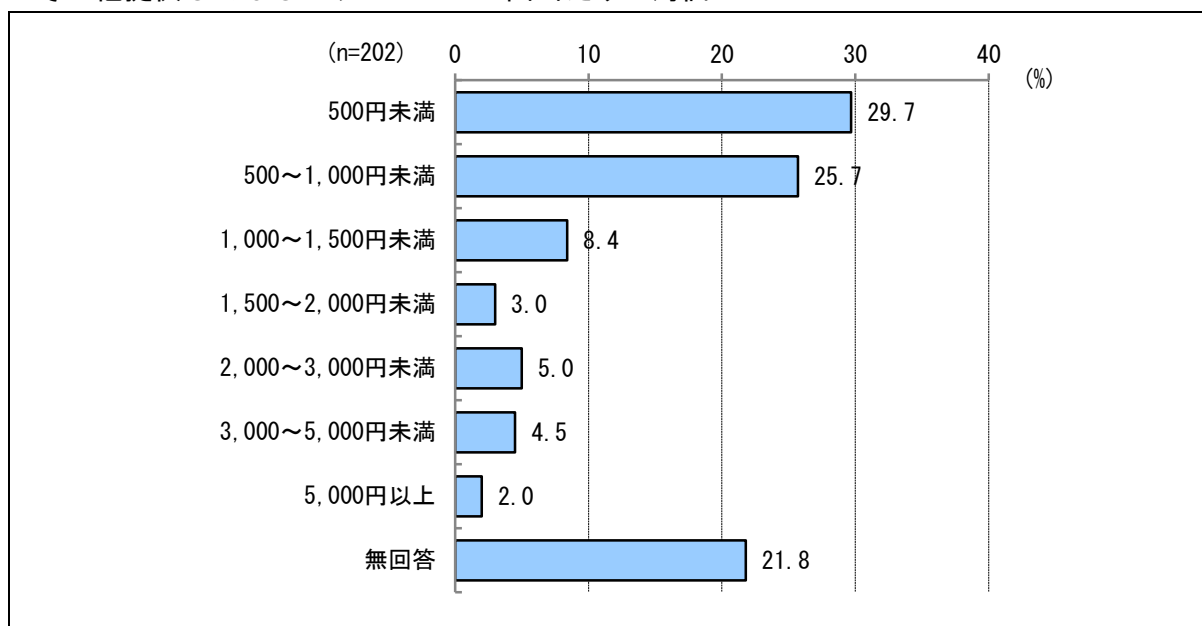
・おやつなど補食を提供する1回当たりの金額



◆その他提供してほしいサービスの1回当たりの対価

■その他提供してほしいサービスと回答した人の1回当たりの対価は「500円未満」が29.7%で最も多く、次いで「500～1,000円未満」が25.7%となっている。

・その他提供してほしいサービスの1回当たりの対価



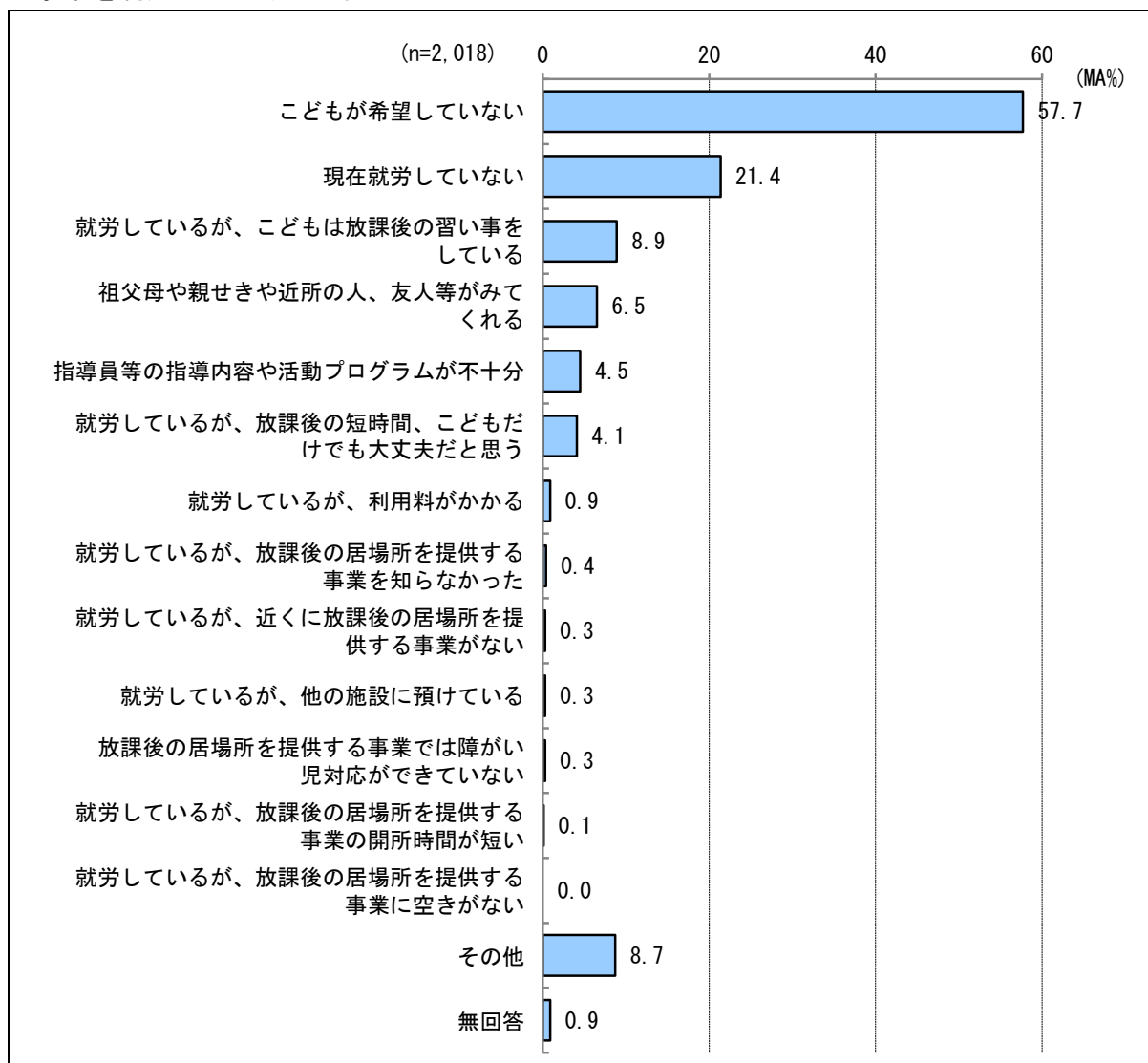
(6) 事業を利用していない理由

問13で「2 利用していない」を選んだ方におうかがいします。

問13-4 利用していない最大の理由は何ですか。(〇は1つ)

■事業を利用していない理由は、「こどもが希望していない」が57.7%で最も多く、次いで「現在就労していない」が21.4%、「就労しているが、こどもは放課後の習い事をしている」が8.9%となっている。

・事業を利用していない理由



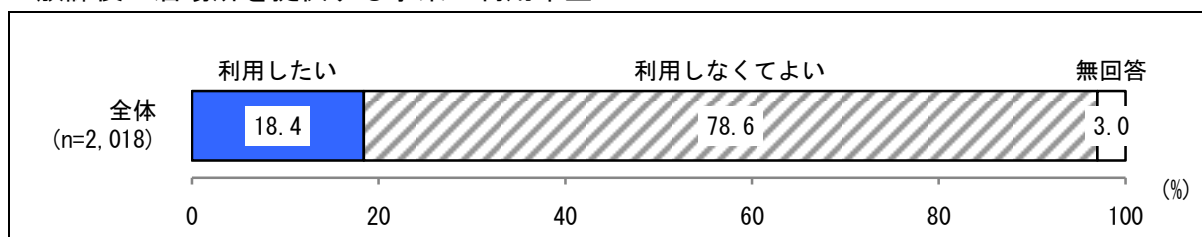
(7) 今後の利用希望

問13で「2 利用していない」を選んだ方におうかがいします

問13-5 あて名のお子さんに、今後「放課後の居場所を提供する事業」を利用したいとお考えですか。(〇は1つ)

■放課後の居場所を提供する事業の今後の利用希望については、「利用したい」が18.4%、「利用しなくてよい」が78.6%となっている。

・放課後の居場所を提供する事業の利用希望



(8) 利用を希望する頻度と時間帯

問13-5で「1 利用したい」を選んだ方におうかがいします。

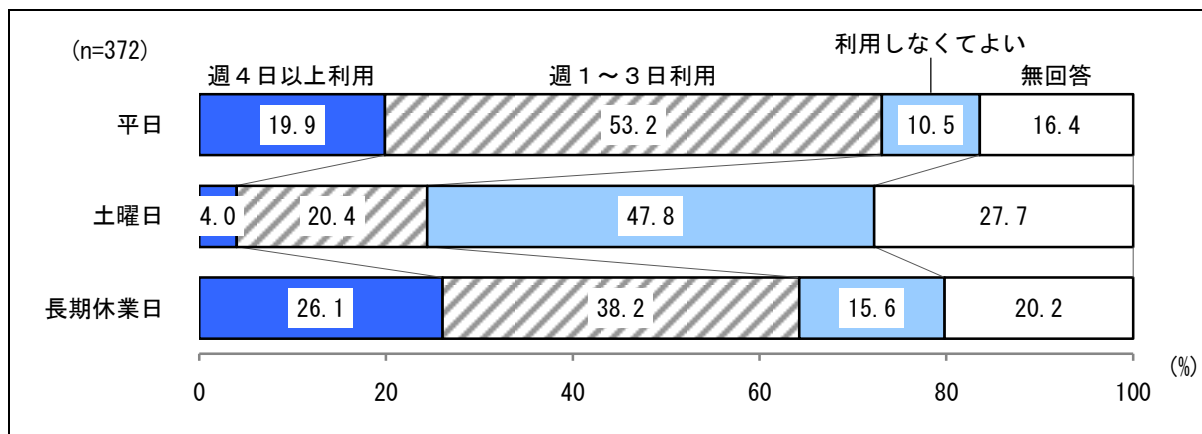
問13-6 (1)～(3)の各事業について、平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休業日のそれぞれで、利用を希望する頻度と時間帯をご記入ください。※時間は「16:00」のように24時間制でご記入ください。

① 児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）

a. 利用希望頻度

■児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用を希望する頻度をたずねると、平日は「週1～3日利用」が53.2%で最も多く、「週4日以上利用」をあわせた『利用したい』は73.1%となっている。土曜日は、「利用しなくてよい」が47.8%で最も多く、『利用したい』は24.4%となっている。長期休業日は「週1～3日利用」が38.2%で最も多く、次いで「週4日以上利用」が26.1%で『利用したい』は64.3%となっている。

・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用希望頻度



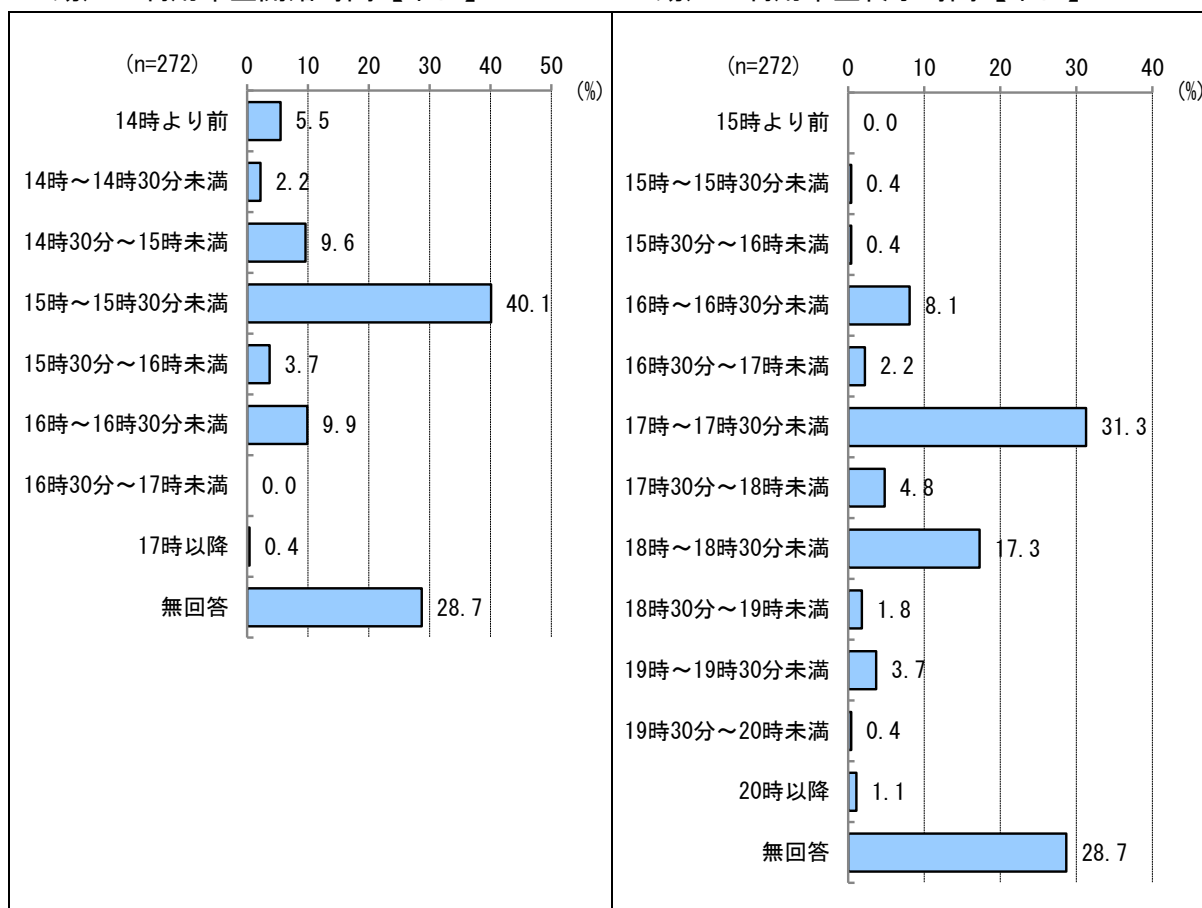
b. 利用希望時間帯

■平日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用希望時間については、利用開始は「15時～15時30分未満」が40.1%で最も多く、次いで「16時～16時30分未満」が9.9%、「14時30分～15時未満」が9.6%となっている。

■利用終了は「17時～17時30分未満」が31.3%で最も多く、次いで「18時～18時30分未満」が17.3%となっている。

・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用希望開始時間【平日】

・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用希望終了時間【平日】

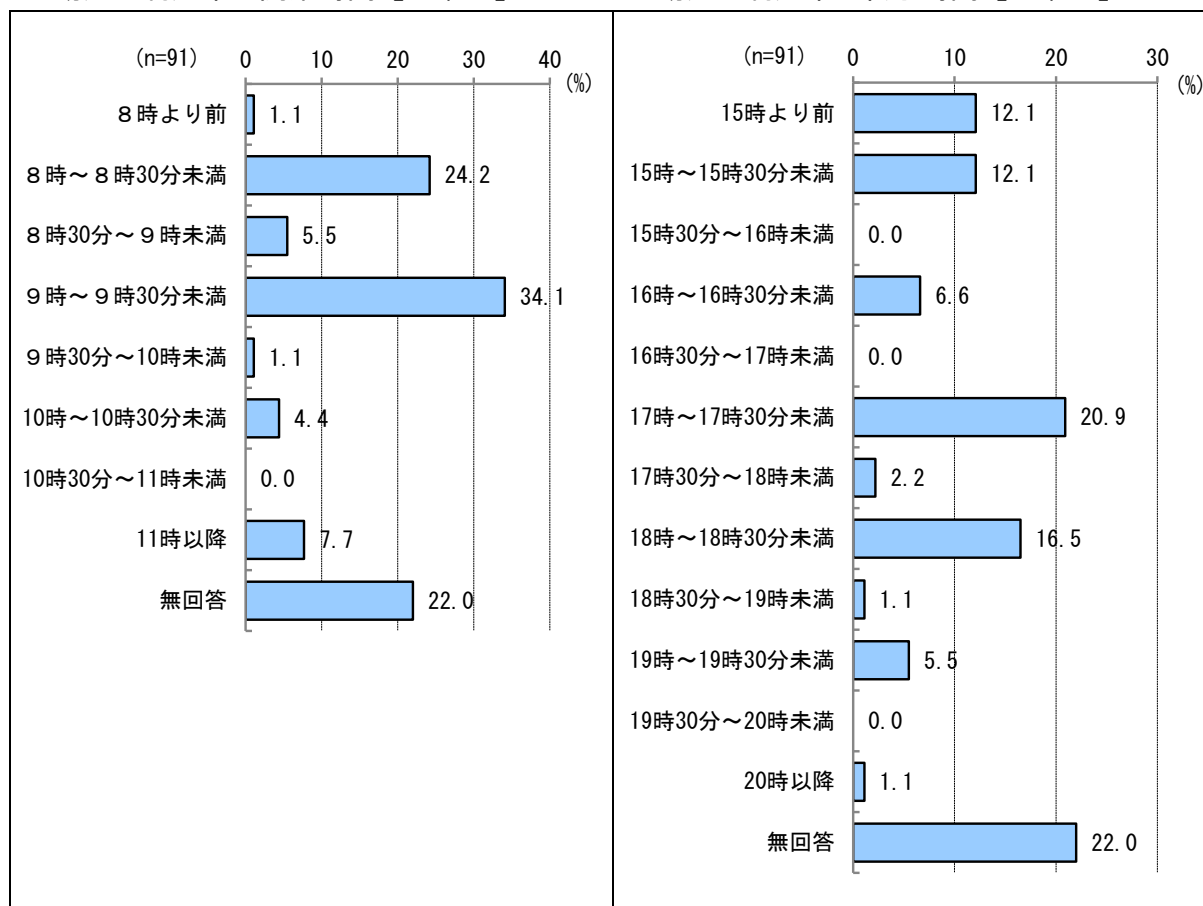


■土曜日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用希望時間については、利用開始は「9時～9時30分未満」が34.1%で最も多く、次いで「8時～8時30分未満」が24.2%となっている。

■利用終了は「17時～17時30分未満」が20.9%で最も多く、次いで「18時～18時30分未満」が16.5%となっている。

・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用希望開始時間【土曜日】

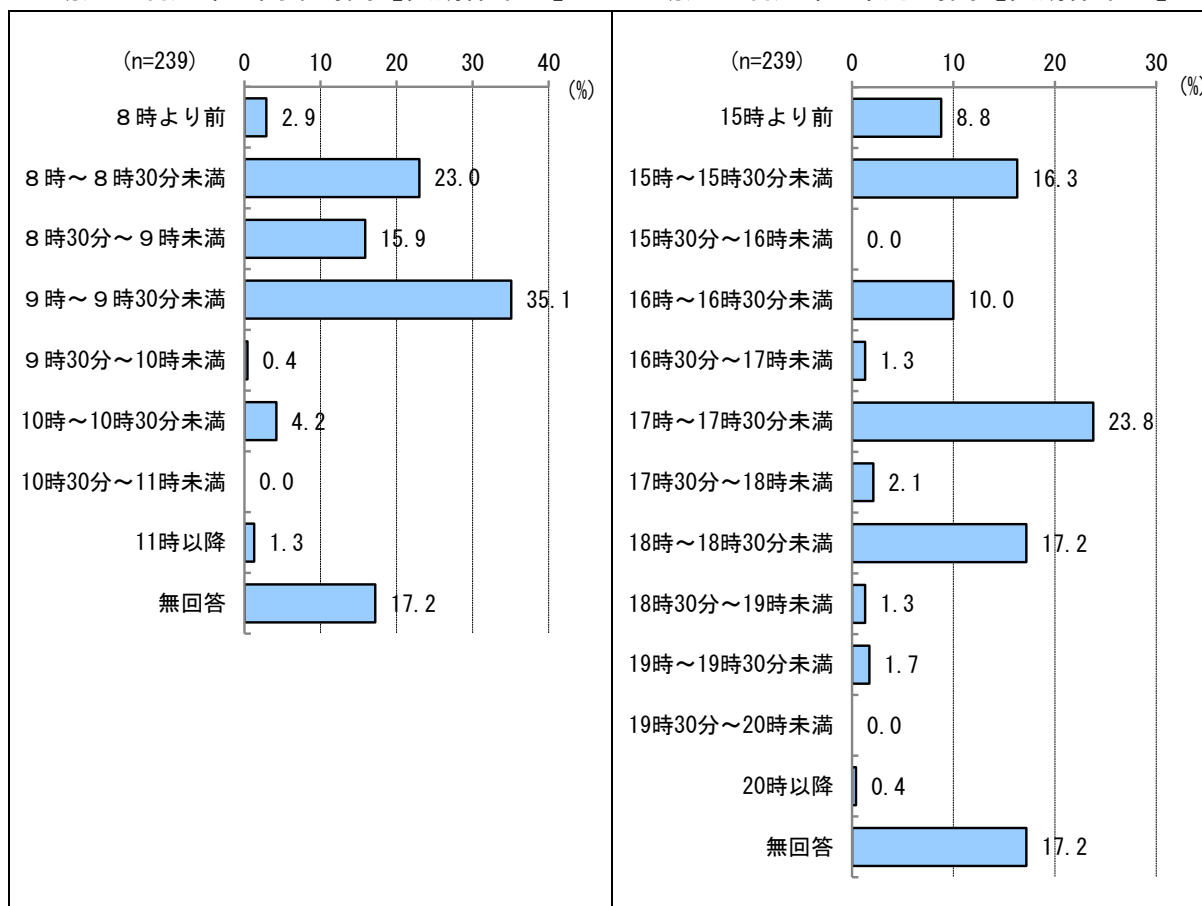
・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用希望終了時間【土曜日】



- 長期休業日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用希望時間については、利用開始は「9時～9時30分未満」が35.1%で最も多く、次いで「8時～8時30分未満」が23.0%、「8時30分～9時未満」が15.9%となっている。
- 利用終了は「17時～17時30分未満」が23.8%で最も多く、次いで「18時～18時30分未満」が17.2%、「15時～15時30分未満」が16.3%となっている。

・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用希望開始時間【長期休業日】

・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用希望終了時間【長期休業日】



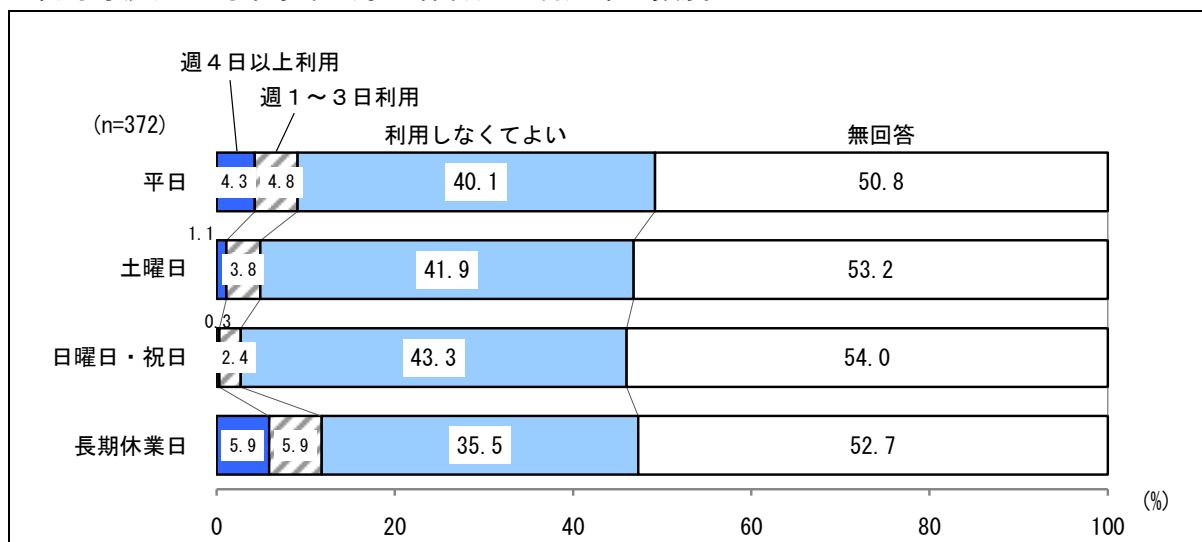
② 留守家庭児童対策事業（学童保育）

a. 利用希望頻度

■留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用を希望する頻度をたずねると、平日・休日を問わず「利用しなくてよい」が最も多く、40%前後を占めている。

平日は「週4日以上利用」と「週1～3日利用」をあわせた『利用したい』は9.1%、長期休業日は11.8%となっている。

・留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用希望頻度



b. 利用希望時間帯

■平日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用希望時間（34人）については、利用開始は「15時～15時30分未満」が29.4%（10人）で最も多く、次いで「14時より前」が17.6%（6人）となっている。

利用終了は「18時～18時30分未満」が23.5%（8人）で最も多く、次いで「17時～17時30分未満」が14.7%（5人）となっている。

■土曜日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用希望時間（18人）については、利用開始は「9時～9時30分未満」が22.2%（4人）で最も多く、次いで「8時～8時30分未満」と「11時以降」がともに16.7%（3人）となっている。

利用終了は「17時～17時30分未満」が22.2%（4人）で最も多く、次いで「18時～18時30分未満」と「19時～19時30分未満」がともに16.7%（3人）となっている。

■日曜日・祝日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用希望時間（10人）については、利用開始は「8時より前」、「8時～8時30分未満」、「8時30分～9時未満」、「9時～9時30分未満」、「11時以降」がそれぞれ10.0%（1人）となっている。

利用終了は「18時～18時30分未満」が20.0%（2人）で最も多くとなっている。

■長期休業日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用希望時間（44人）については、利用開始は「8時～8時30分未満」が34.1%（15人）で最も多く、次いで「9時～9時30分未満」が22.7%（10人）となっている。

利用終了は「18時～18時30分未満」が22.7%（10人）で最も多く、次いで「17時～17時30分未満」が15.9%（7人）となっている。

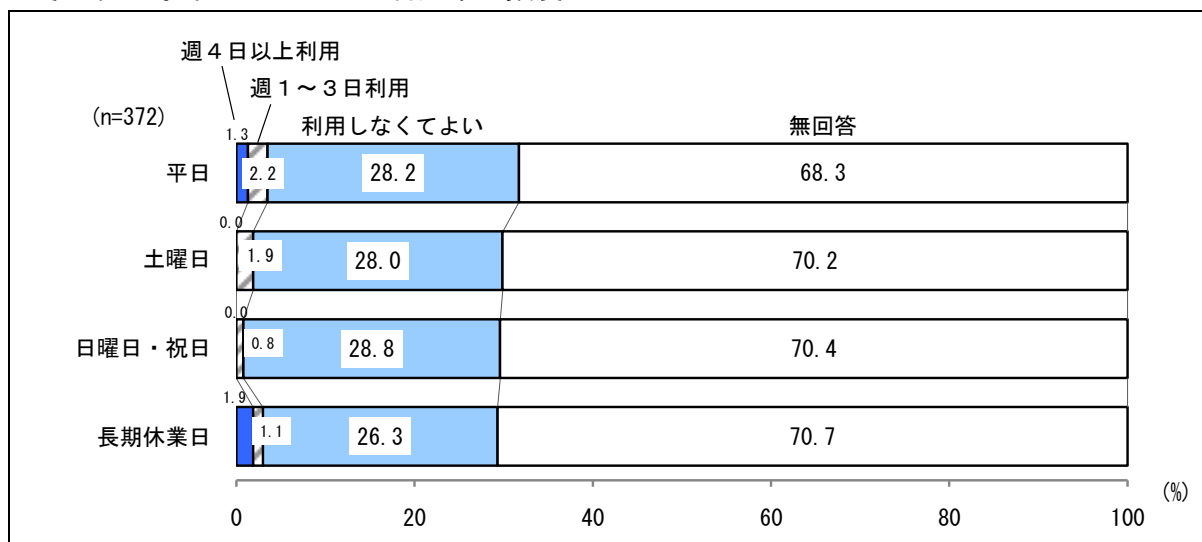
③ その他の事業・サービス

a. 利用希望頻度

■その他の事業・サービスの利用を希望する頻度をたずねると、平日・休日を問わず「利用しなくてよい」が最も多く、30%弱を占めている。

平日は「週4日以上利用」と「週1～3日利用」をあわせた『利用したい』は3.5%、長期休業日は3.0%となっている。

・その他の事業・サービスの利用希望頻度



b. 利用希望時間帯

■平日のその他の事業・サービスの利用希望時間（13人）については、利用開始は「15時～15時30分未満」が38.5%（5人）で最も多く、次いで「16時～16時30分未満」が15.4%（2人）となっている。

利用終了は「18時～18時30分未満」が23.1%（3人）で最も多く、次いで「17時～17時30分未満」と「19時～19時30分未満」がともに15.4%（2人）となっている。

■土曜日のその他の事業・サービスの利用希望時間（7人）については、利用開始は「9時～9時30分未満」、「10時～10時30分未満」がそれぞれ28.6%（2人）で最も多くなっている。

利用終了は「17時～17時30分未満」が28.6%（2人）で最も多くなっている。

■日曜日・祝日のその他の事業・サービスの利用希望時間（3人）については、利用開始は「9時～9時30分未満」が66.7%（2人）で最も多くなっている。

利用終了は「16時～16時30分未満」、「17時～17時30分未満」、「20時以降」がそれぞれ33.3%（1人）となっている。

■長期休業日のその他の事業・サービスの利用希望時間（11人）については、利用開始は「8時～8時30分未満」が36.4%（4人）で最も多く、次いで「9時～9時30分未満」が18.2%（2人）となっている。

利用終了は「17時～17時30分未満」が36.4%（4人）で最も多くなっている。

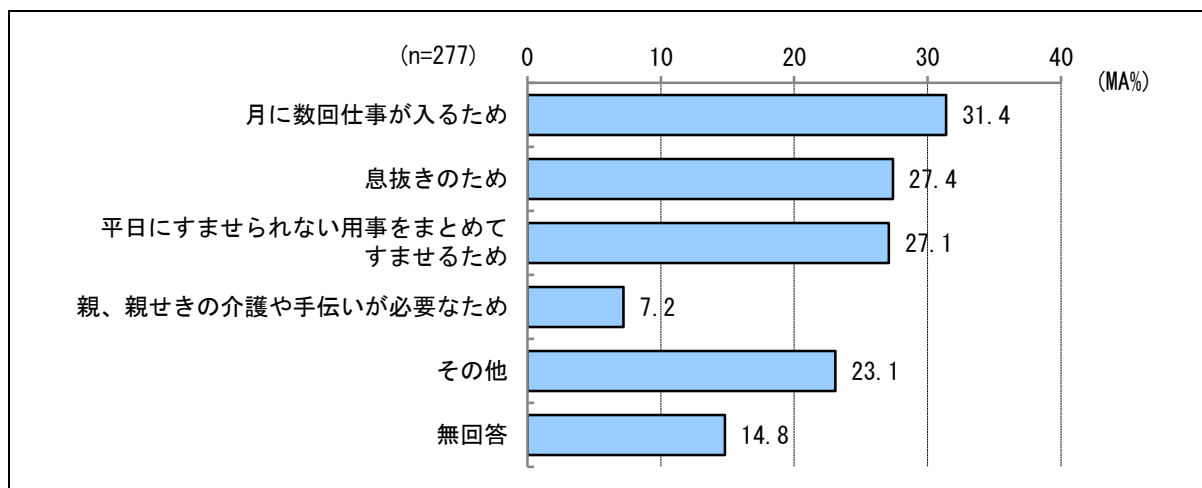
(9) たまに利用したい理由

問13-6の平日、長期休業日で「2 週 1～3日利用」および土曜日、日曜日・祝日で「2月に1～2日利用」を選んだ方におうかがいします。

問13-7 毎日および毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

■毎日・毎週ではなく、たまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が31.4%で最も多く、次いで「息抜きのため」が27.4%、「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」が27.1%となっている。

・たまに利用したい理由

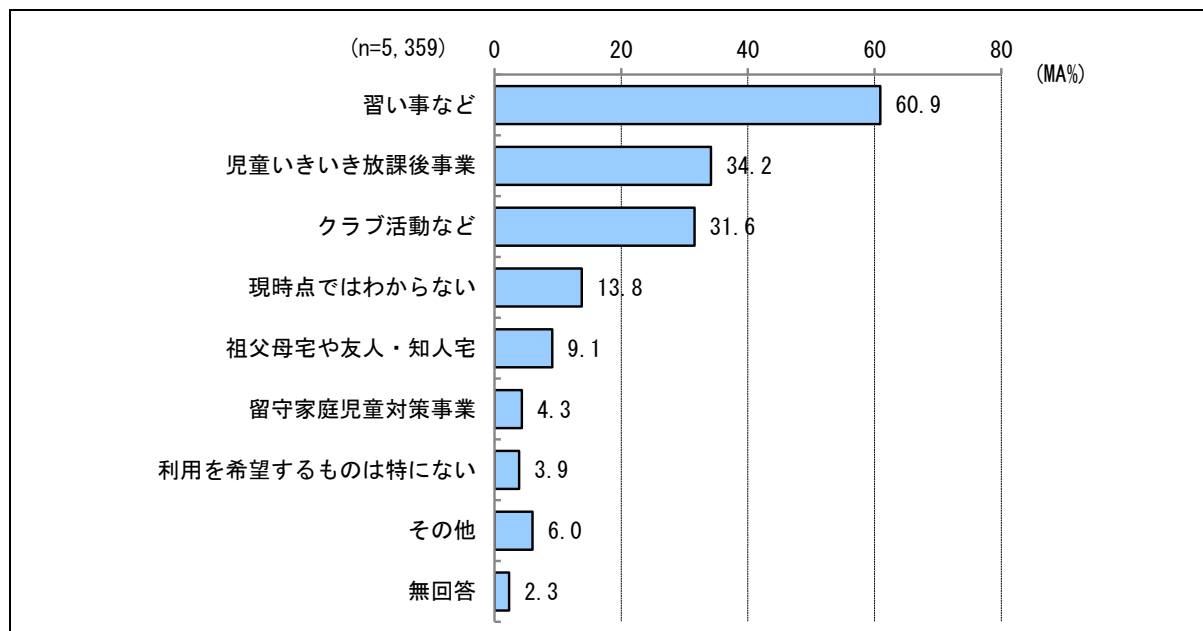


3 小学4年生以降の放課後の過ごし方

問14 あて名のお子さんの小学4年生以降の放課後の過ごし方に、どのようなことを望みますか。(〇はいくつでも)

■小学4年生以降の放課後の過ごし方は、「習い事など」が60.9%で最も多く、次いで「児童いきいき放課後事業」が34.2%、「クラブ活動など」が31.6%となっている。

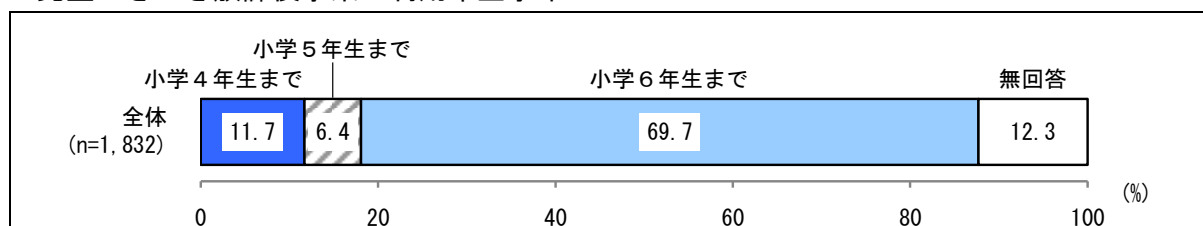
・小学4年生以降の放課後の過ごし方



◆児童いきいき放課後事業の利用希望学年

■児童いきいき放課後事業の利用希望学年については、「小学6年生まで」が69.7%で最も多く、次いで「小学4年生」が11.7%となっている。

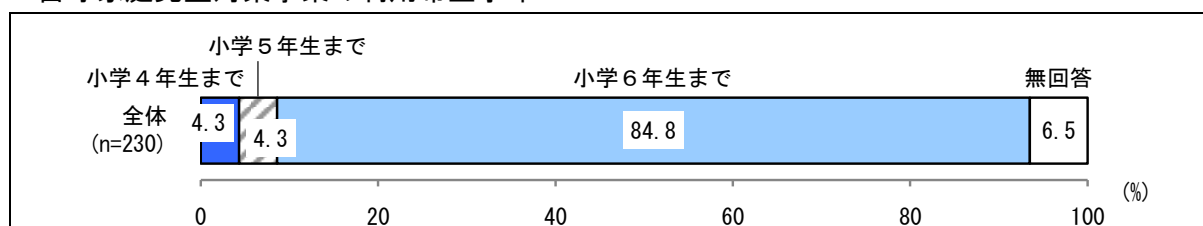
・児童いきいき放課後事業の利用希望学年



◆留守家庭児童対策事業の利用希望学年

■留守家庭児童対策事業の利用希望学年については、「小学6年生まで」が84.8%で最も多くなっている。

・留守家庭児童対策事業の利用希望学年



V. 病児・病後児の対応について

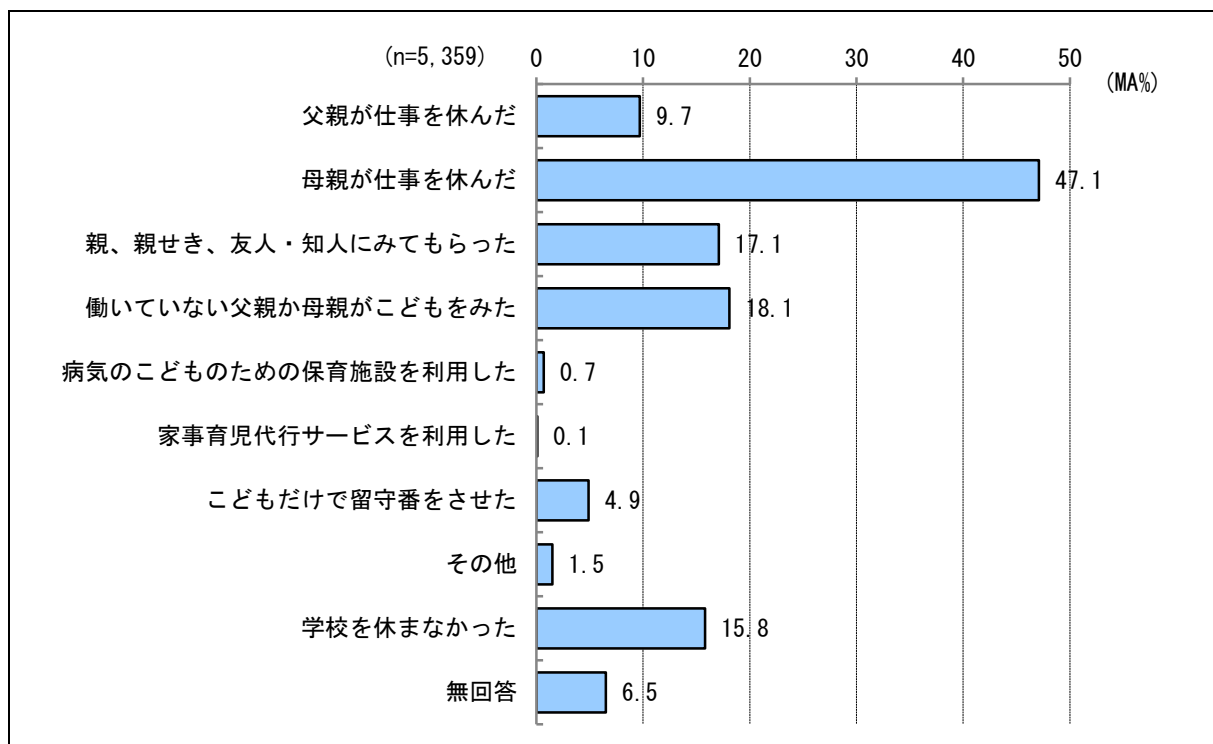
1 こどもが病気等で放課後の居場所を提供する事業に参加できなかった場合の対処方法

問15 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、「放課後の居場所を提供する事業」に参加できなかった場合の対処方法で、あてはまる番号に○をつけ、その日数を（ ）内に記入してください。

※半日程度についても1日としてカウントしてください。

■ こどもが病気等で放課後の居場所を提供する事業に参加できなかった場合の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が47.1%で最も多く、次いで「働いていない父親か母親がこどもをみた」が18.1%となっている。

・ こどもが病気等で放課後の居場所を提供する事業に参加できなかった場合の対処方法



◆対処方法の年間日数

■対処方法の年間日数は、“母親が仕事を休んだ”は「3～5日」が35.9%で最も多いが、それ以外の対処方法では「1～2日」が最も多くなっている。

・対処方法の年間日数

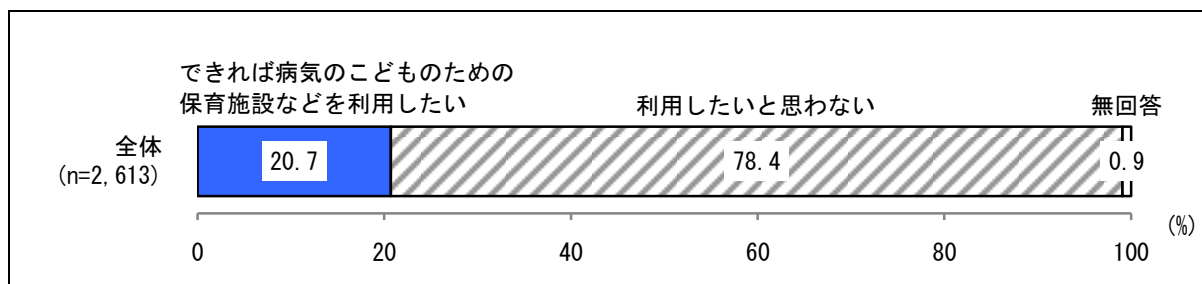
	(%)						
	1 ～ 2 日	3 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 2 0 日	2 1 ～ 3 0 日	3 1 日 以 上	無 回 答
父親が仕事を休んだ (n=521)	53.7	32.6	7.3	0.8	–	0.2	5.4
母親が仕事を休んだ (n=2,522)	32.4	35.9	15.7	3.3	0.2	0.7	12.0
自身や配偶者の親、親せき、 友人・知人にみてもらった	38.0	29.8	9.5	1.2	0.1	1.0	20.4
働いていない父親か母親がこ どもをみた(n=971)	23.9	25.7	14.5	2.8	0.1	1.3	31.6
病気のこどものための保育施 設を利用した(n=38)	44.7	26.3	13.2	2.6	–	2.6	10.5
家事育児代行サービスを利用 した(n=8)	87.5	12.5	–	–	–	–	–
こどもだけで留守番をさせた (n=264)	46.6	22.3	4.9	1.1	–	1.5	23.5
その他 (n=82)	22.0	18.3	9.8	2.4	1.2	1.2	45.1

2 病気のこどものための保育施設などの利用希望

問15で「1」「2」を選ばれた、こどもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。
 問15-1 そのときに「できれば病気のこどものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。（○は1つ）希望がある方は（ ）内に具体的な数字を入れてください。
 ※病気のこどものための保育施設などの利用には一定の利用料がかかり、また利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要な場合があります。

■病気のこどものための保育施設などの利用希望は、「できれば病気のこどものための保育施設などを利用したい」が20.7%、「利用したいと思わない」が78.4%となっている。

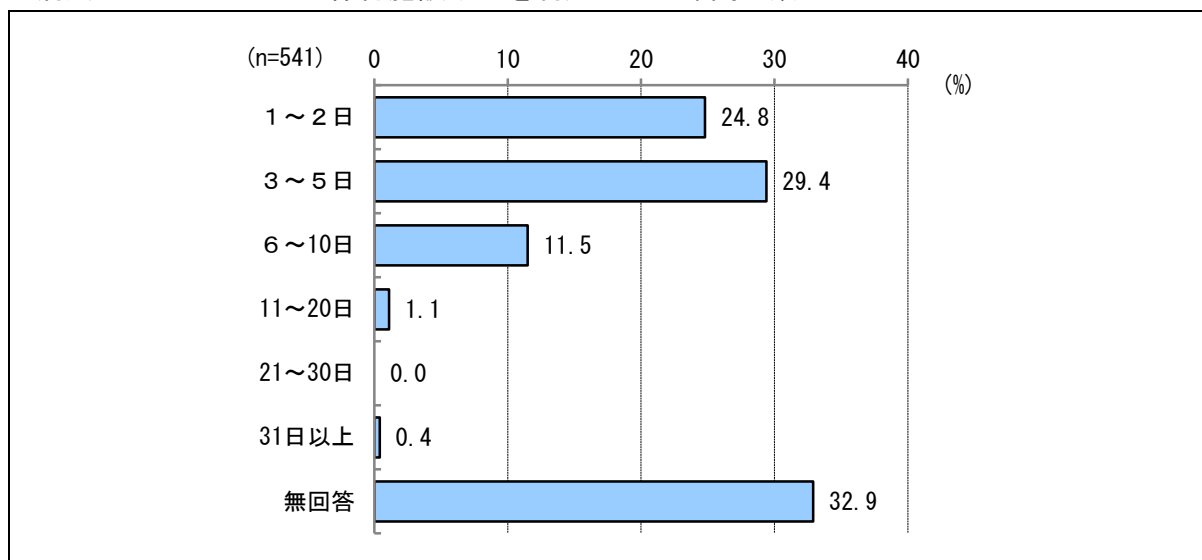
・病気のこどものための保育施設などの利用希望



◆病気のこどものための保育施設などを利用したい年間日数

■病気のこどものための保育施設などを利用したい年間日数は、「3～5日」が29.4%で最も多く、次いで「1～2日」が24.8%となっている。

・病気のこどものための保育施設などを利用したい年間日数



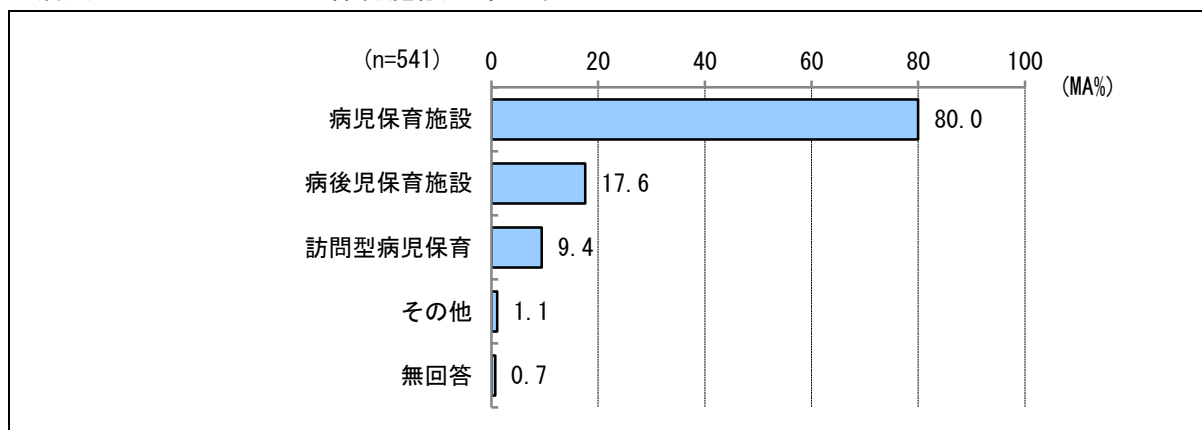
3 病気のこどものための保育施設で希望するサービス

問15-1で「1 できれば病気のこどものための保育施設などを利用したい」を選んだ方におうかがいします。

問15-2 利用する場合、下記のいずれの施設を利用したいと思われますか。(○は1つ)

■病気のこどものための保育施設で希望するサービスは、「病児保育施設」が80.0%で最も多く、次いで「病後児保育施設」が17.6%となっている。

・病気のこどものための保育施設で希望するサービス



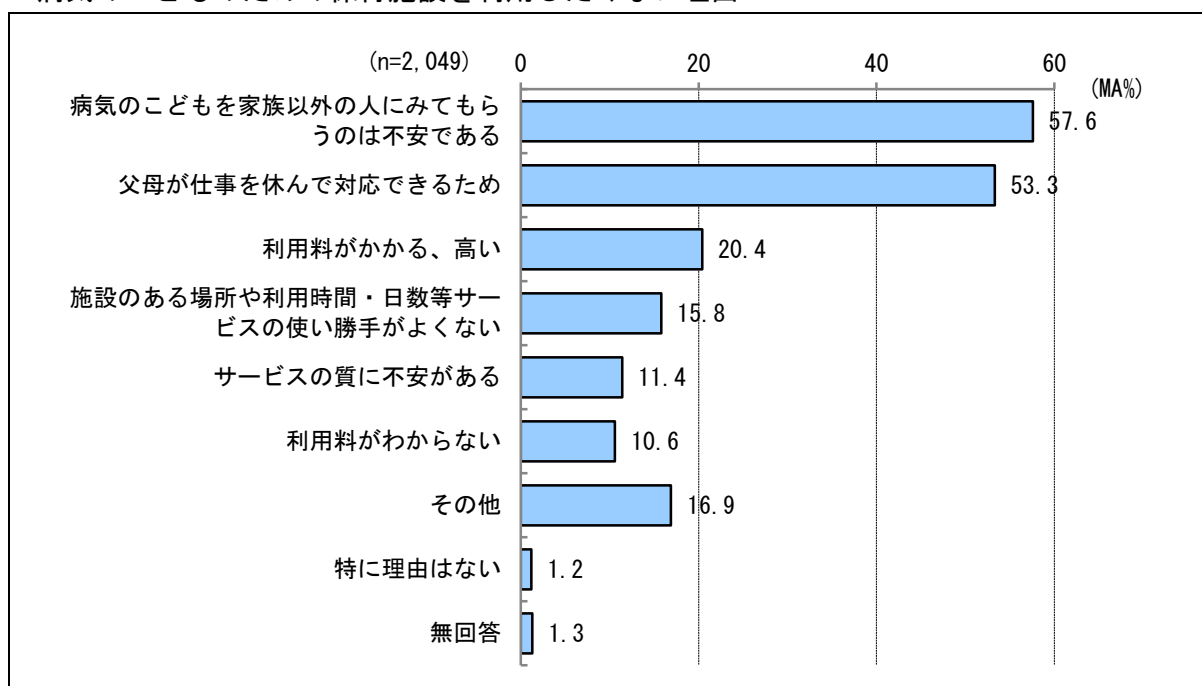
4 病気のこどものための保育施設を利用したくない理由

問15-1で「2 利用したいと思わない」を選んだ方におうかがいします。

問15-3 利用したいと思わない理由をお答えください。(○はいくつでも)

■病気のこどものための保育施設を利用したくない理由は、「病気のこどもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が57.6%で最も多く、次いで「父母が仕事を休んで対応できるため」が53.3%、「利用料がかかる、高い」が20.4%となっている。

・病気のこどものための保育施設を利用したくない理由



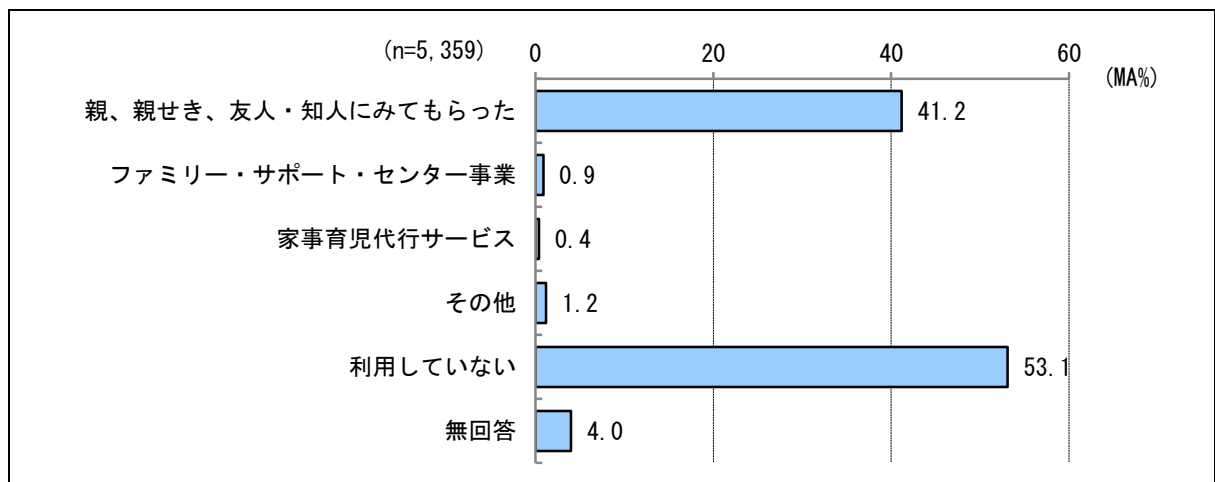
VI. 不定期な一時預かりについて

1 一時預かり等のサービスの利用状況

問16 この1年間に、私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由に、こどもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。あてはまる番号に○をつけ、1年間のおおよその利用日数を（ ）内に記入してください。
※こどもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。

■一時預かり等のサービスの利用状況については、「利用していない」が53.1%で最も多いが、預けた人では「親、親せき、友人・知人にみてもらった」が41.2%で最も多くなっている。

・一時預かり等のサービスの利用状況



◆利用したサービスの年間日数

■利用したサービスの年間日数は、“自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった”と“ファミリー・サポート・センター事業”は「3～5日」が最も多くなっている。

・利用したサービスの年間日数

	(%)						
	1～2日	3～5日	6～10日	11～20日	21～30日	31日以上	無回答
自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (n=2,207)	22.7	27.6	21.5	9.1	0.8	10.2	8.0
ファミリー・サポート・センター事業 (n=50)	20.0	28.0	20.0	12.0	—	8.0	12.0
家事育児代行サービス (n=23)	30.4	17.4	13.0	8.7	—	21.7	8.7
その他 (n=66)	25.8	25.8	10.6	3.0	1.5	15.2	18.2

2 こどもを泊りがけで預かるサービスの利用状況

(1) 泊りがけで家族以外にみてもらわないといけなかったことの有無

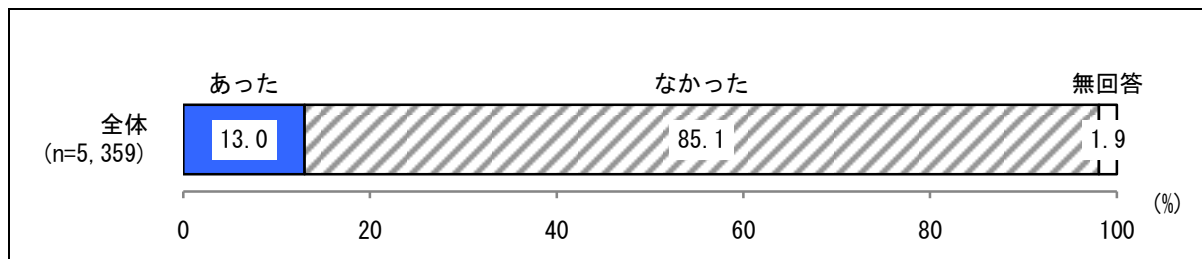
問17 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわないといけなかったことはありましたか。

「あった」「なかった」のどちらかに○をつけてください。あった場合、その対処方法ごとに()内に日数と、合計欄にその日数の計を記入してください。

※預け先が見つからなかった場合も含みます。

■泊りがけで家族以外にみてもらわないといけなかったことの有無については、「あった」が13.0%、「なかった」が85.1%となっている。

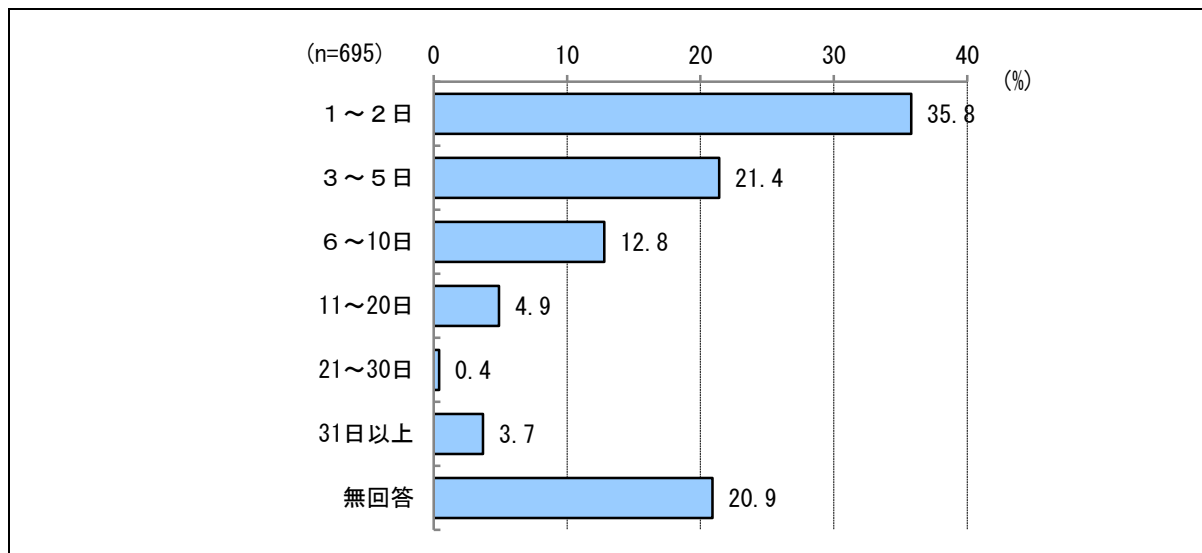
・泊りがけで家族以外にみてもらわないといけなかったことの有無



◆泊りがけでみてもらった年間泊数の合計

■泊りがけでみてもらった年間泊数の合計は、「1～2泊」が35.8%で最も多く、次いで「3～5泊」が21.4%となっている。

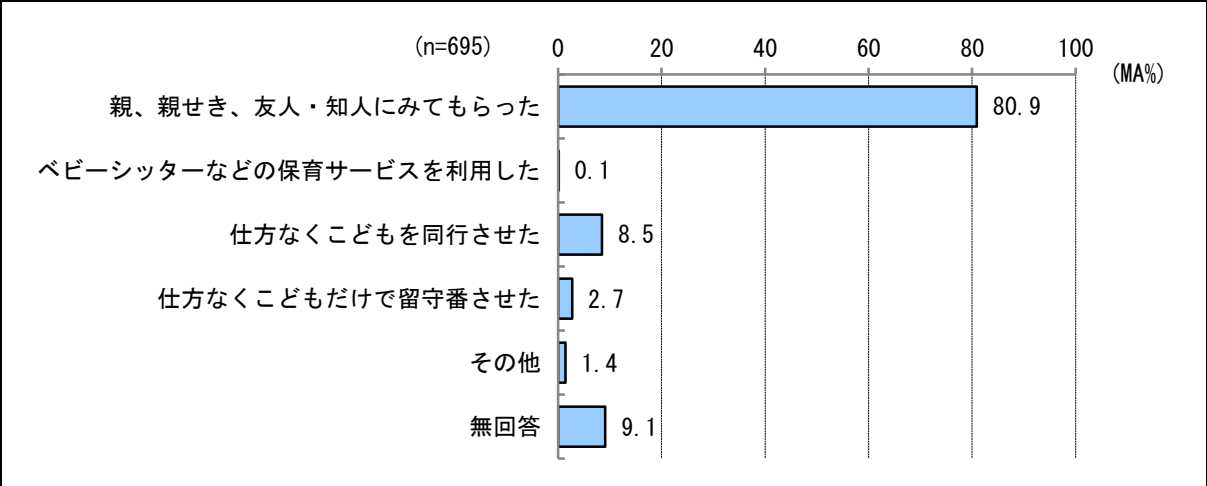
・泊りがけでみてもらった年間泊数



◆こどもを泊まりがけで家族以外にみてもらった場合の対処方法

■こどもを泊まりがけで家族以外にみてもらった場合の対処方法は、「親、親せき、友人・知人にみてもらった」が80.9%で最も多く、次いで「仕方なくこどもだけで留守番させた」が9.5%となっている。

・こどもを泊りがけで家族以外にみてもらった場合の対処方法



◆対処方法の年間泊数

■対処方法の年間泊数は、いずれも「1～2泊」が最も多くなっている。

・対処方法の年間泊数

	(%)						
	1～2泊	3～5泊	6～10泊	11～20泊	21～30泊	31泊以上	無回答
親、親せき、友人・知人にみてもらった (n=562)	40.0	24.7	14.2	5.7	0.5	4.3	10.5
ベビーシッターなどの保育サービスを利用した (n=1)	-	-	-	-	-	-	100.0
仕方なくこどもを同行させた (n=59)	47.5	11.9	10.2	-	-	-	30.5
仕方なくこどもだけで留守番をさせた (n=19)	36.8	15.8	-	-	-	5.3	42.1
その他 (n=10)	30.0	10.0	30.0	20.0	-	10.0	-

VII. こどもが心身ともに健やかに成長するための取組について

1 平日の放課後および休日のこどもの過ごし方

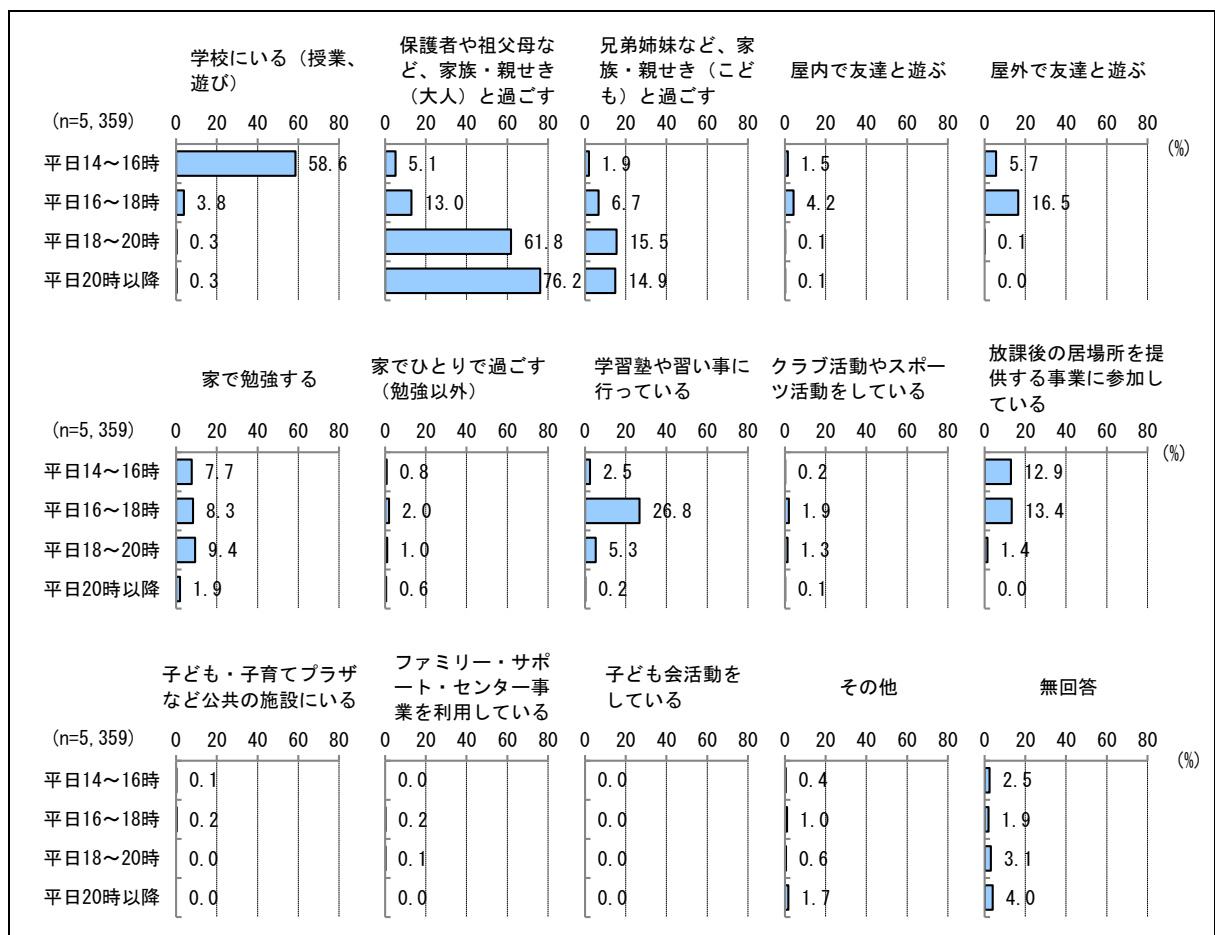
問18 平日の放課後および休日の日常的なお子さんの過ごし方で一番多いものをお答えください。

選択肢 1～14から、平日は時間帯ごとにあてはまる番号をそれぞれ1つずつ、休日は3つ選んで、次の表にご記入ください。

(1) 平日の放課後

■平日の放課後のこどもの過ごし方については、平日の14～16時は「学校にいる（授業、遊び）」が58.6%で最も多く、平日の16～18時は「学習塾や習い事に行っている」（26.8%）、平日の18～20時、平日の20時以降は「保護者や祖父母など、家族・親せき（大人）と過ごす」が過半数を占めている。

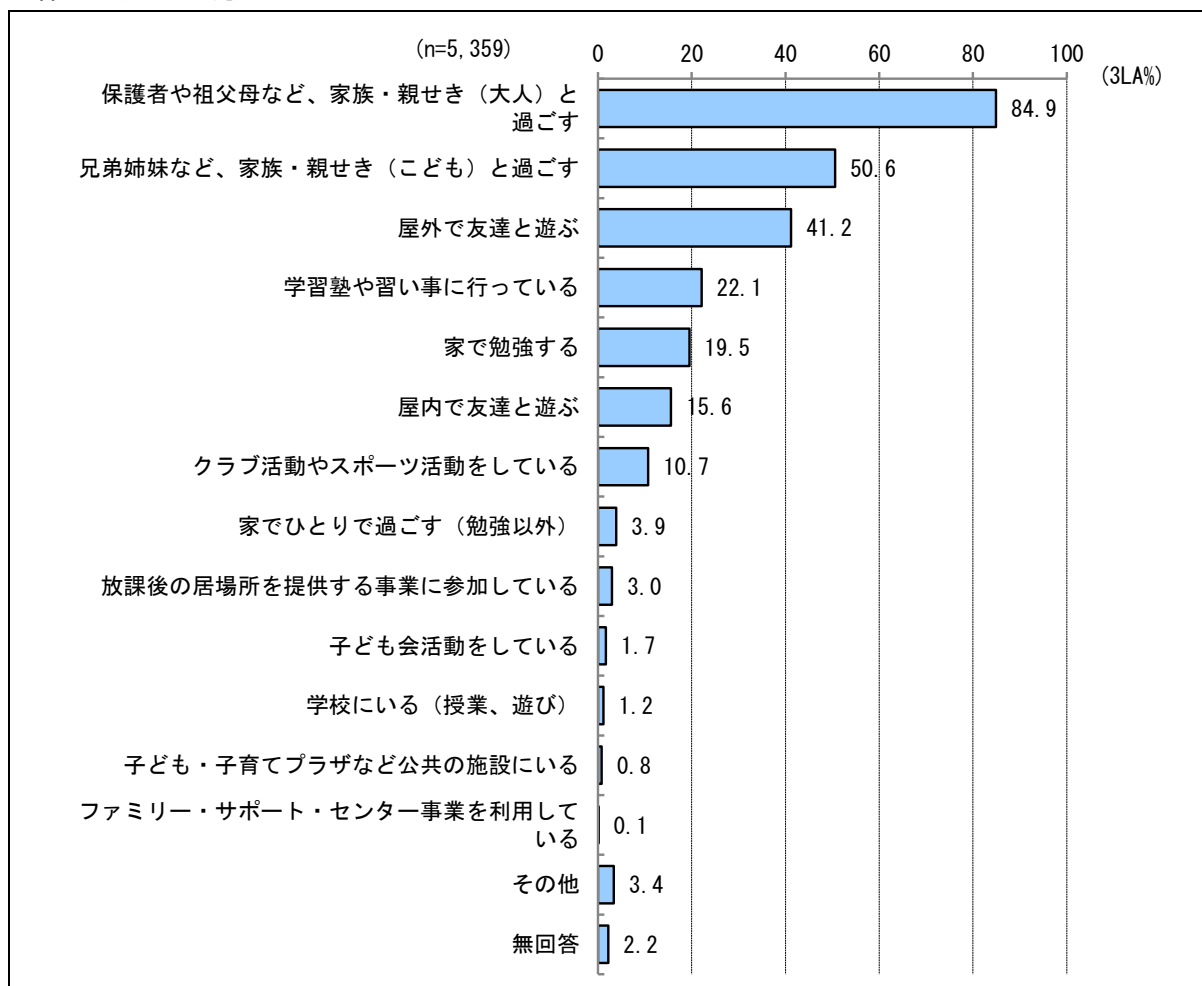
・ 平日の放課後の過ごし方



(2) 休日

■休日のこどもの過ごし方については、「保護者や祖父母など、家族・親せき（大人）と過ごす」が84.9%で最も多く、次いで「兄弟姉妹など、家族・親せき（こども）と過ごす」が50.6%、「屋外で友達と遊ぶ」が41.2%となっている。

・休日の過ごし方



2 地域のグループ活動やイベントの参加状況

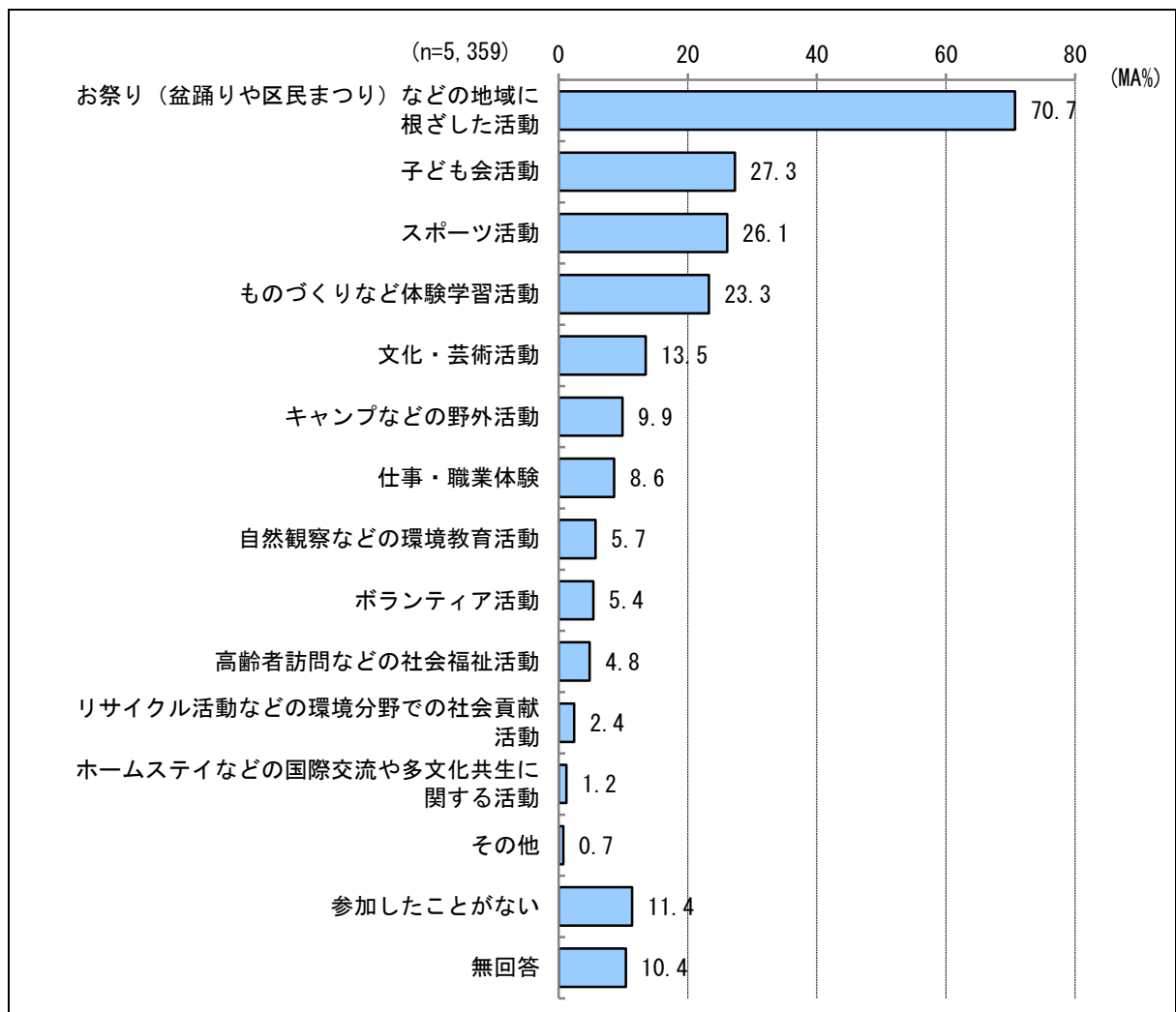
問19 あて名のお子さんは地域のグループ活動やイベントなどに参加されたことがありますか。

また、今後参加させたいと思っている地域のグループ活動やイベントの種類は何ですか。
(それぞれ〇はいくつでも)

(1) 参加したことがある活動

■参加したことがある活動については、「お祭り（盆踊りや区民まつり）などの地域に根ざした活動」が70.7%で最も多く、次いで「子ども会活動」が27.3%、「スポーツ活動」が26.1%となっている。

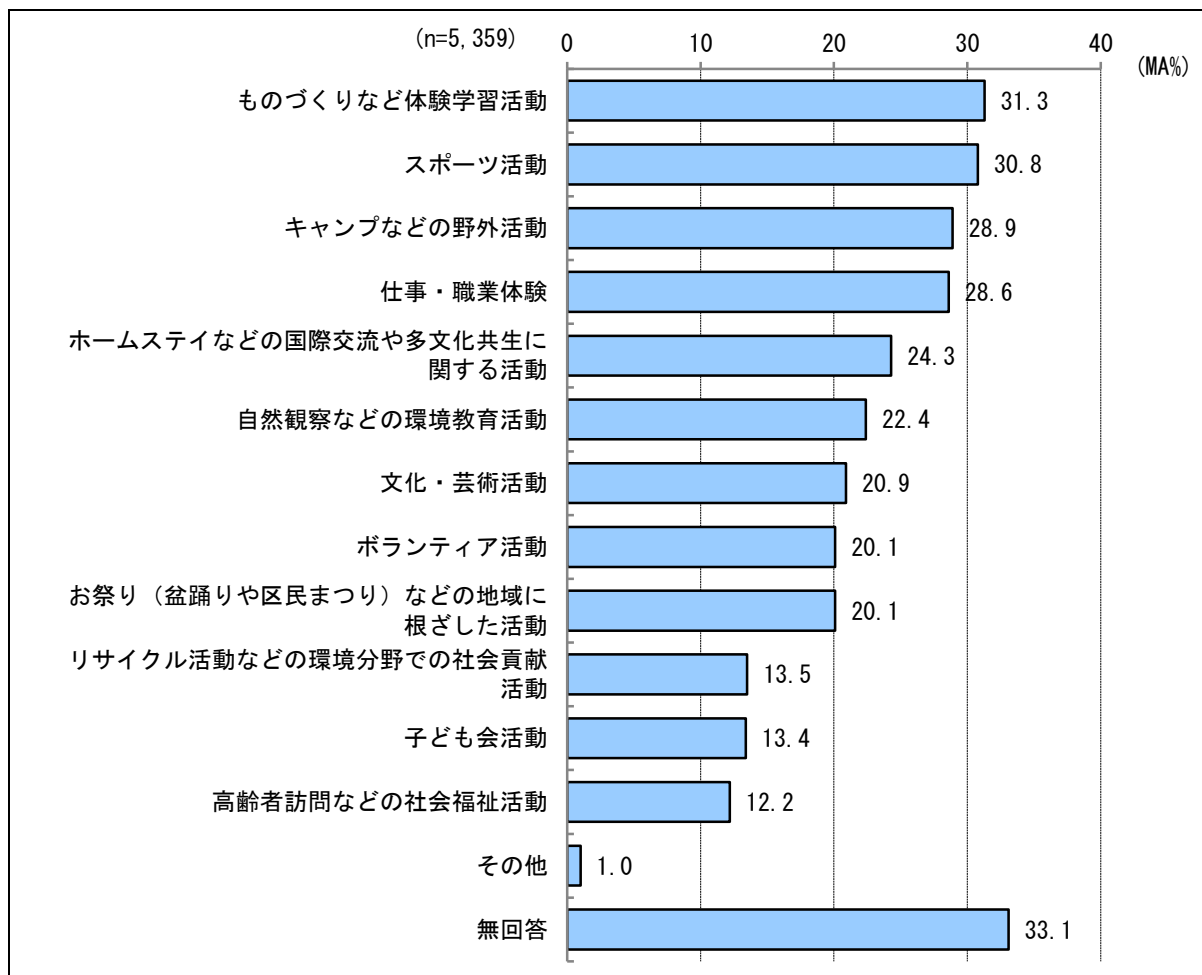
・参加したことがある活動



(2) 今後参加させたい活動

■ 今後参加させたい活動については、「ものづくりなど体験学習活動」が31.3%で最も多く、次いで「スポーツ活動」が30.8%、「キャンプなどの野外活動」が28.9%となっている。

・ 今後参加させたい活動



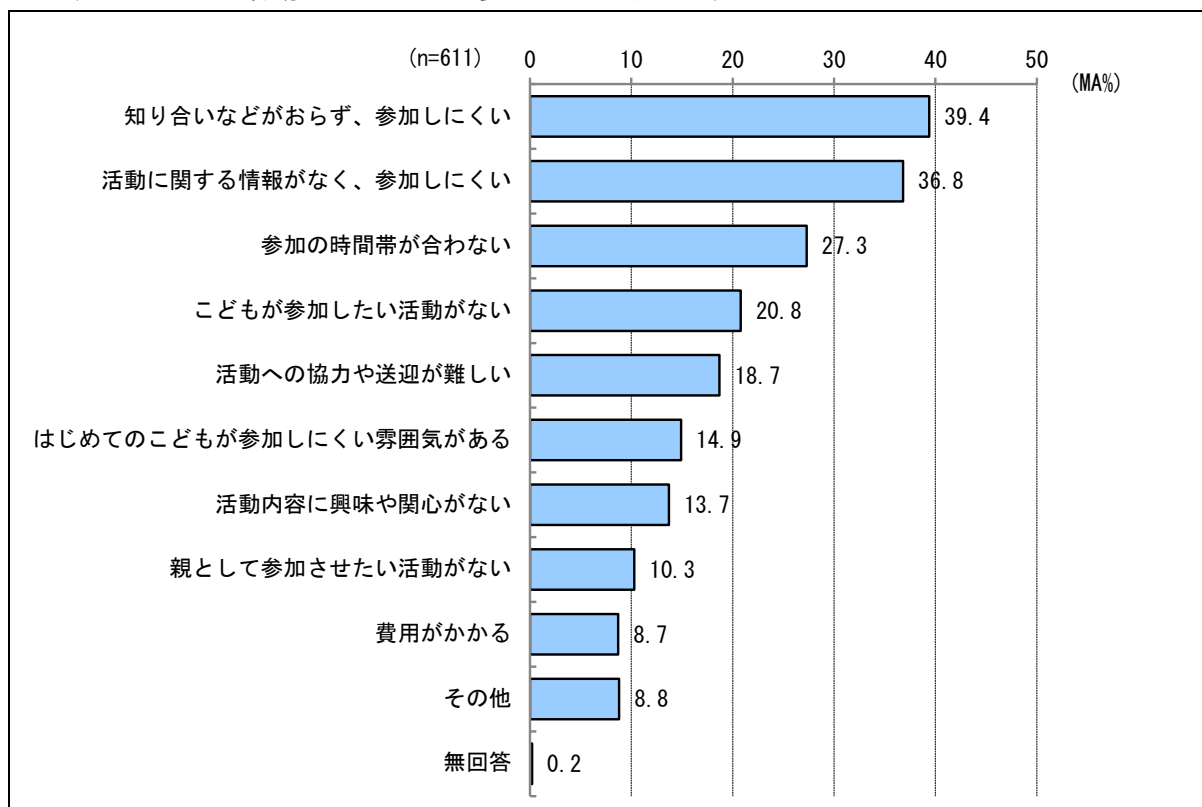
3 地域のグループ活動やイベントに参加していない理由

問19で「14 参加したことがない」を選んだ方におうかがいします。

問19-1 お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

■地域のグループ活動やイベントに参加していない理由については、「知り合いなどがおらず、参加しにくい」が39.4%で最も多く、次いで「活動に関する情報がなく、参加しにくい」が36.8%、「参加の時間帯が合わない」が27.3%となっている。

・地域のグループ活動やイベントに参加していない理由

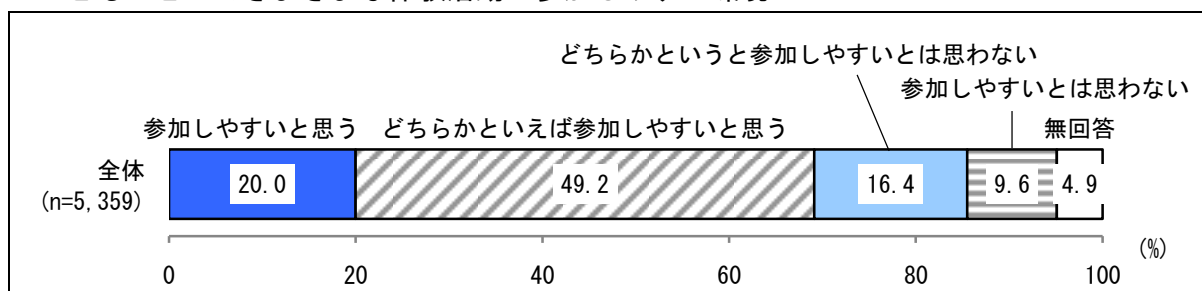


4 こどもにとってさまざまな体験活動に参加しやすい環境か

問20 お住まいの地域は、こどもにとってさまざまな体験活動に参加しやすい環境であると思いますか。(〇は1つ)

■こどもにとってさまざまな体験活動に参加しやすい環境かについては、「どちらかといえば参加しやすいと思う」が48.2%で最も多く、次いで「参加しやすいと思う」が20.0%で、両者をあわせた『参加しやすい』は69.2%となっている。

・こどもにとってさまざまな体験活動に参加しやすい環境か



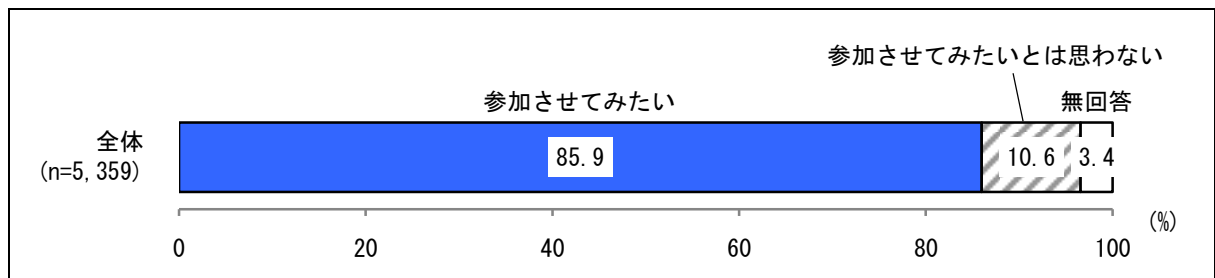
5 「こども 夢・創造プロジェクト」について

(1)「こども 夢・創造プロジェクト」の参加意向

問21 大阪市では、こどもたちのあこがれの人物や、作品などに接する機会、興味や関心のあることに触れる機会などを通じて、さまざまな分野で、こどもたちの個性や創造性をはぐくむ体験機会を提供する事業（こども 夢・創造プロジェクト）を実施しています。このような事業に、お子さんを参加させてみたいと思いますか。（○は1つ）

- 「こども 夢・創造プロジェクト」の参加意向については、「参加させてみたい」が85.9%、「参加させてみたいと思わない」が10.6%となっている。

・「こども 夢・創造プロジェクト」の参加意向



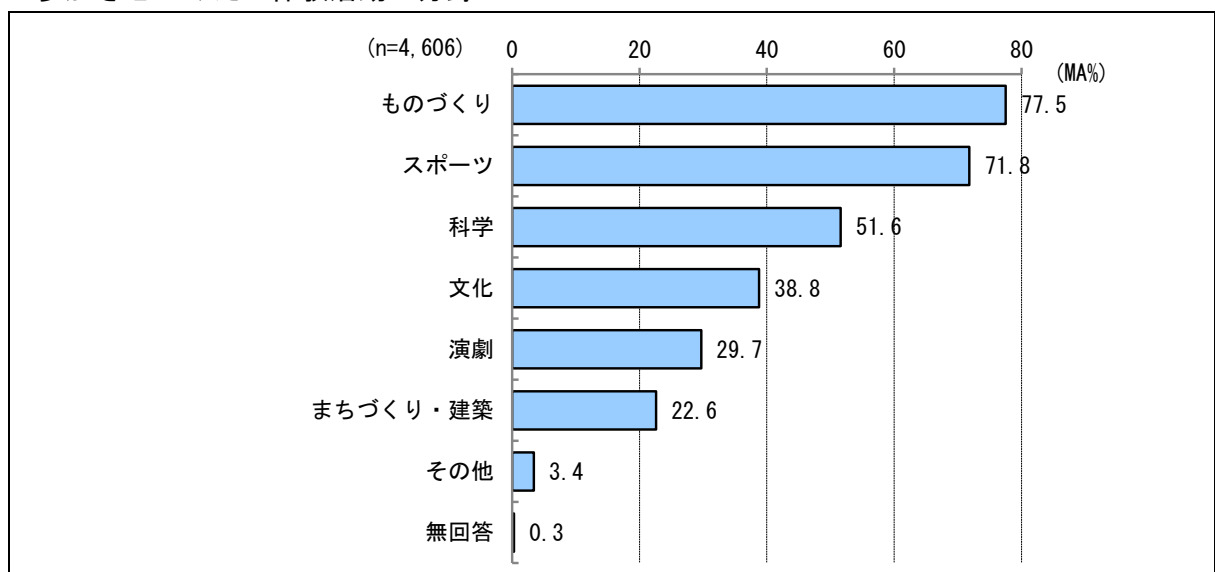
(2) 参加させてみたい体験活動の分野

問21で「1 参加させてみたい」を選んだ方におうかがいします。

問21-1 どのような分野の体験活動に参加させてみたいと思いますか。（○はいくつでも）

- 「こども 夢・創造プロジェクト」で参加させてみたい体験活動の分野については、「ものづくり」が77.5%で最も多く、次いで「スポーツ」が71.8%、「科学」が51.6%となっている。

・参加させてみたい体験活動の分野



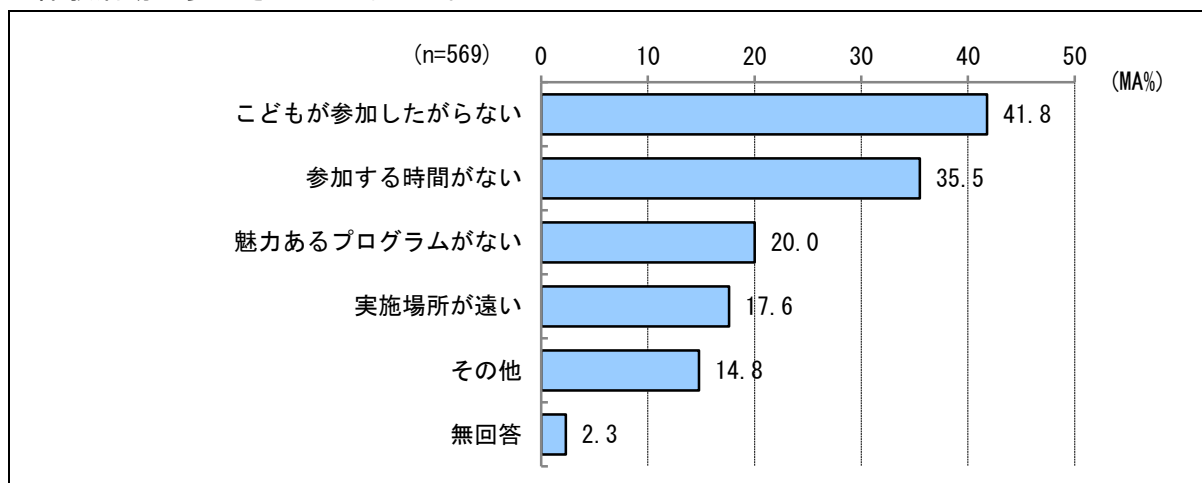
(3) 体験活動に参加させたくない理由

問21で「2 参加させてみたいとは思わない」を選んだ方におうかがいします。

問21-2 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

■体験活動に参加させたくない理由については、「こどもが参加したがない」が41.8%で最も多く、次いで「参加する時間がない」が35.5%、「魅力あるプログラムがない」が20.0%となっている。

・体験活動に参加させたくない理由

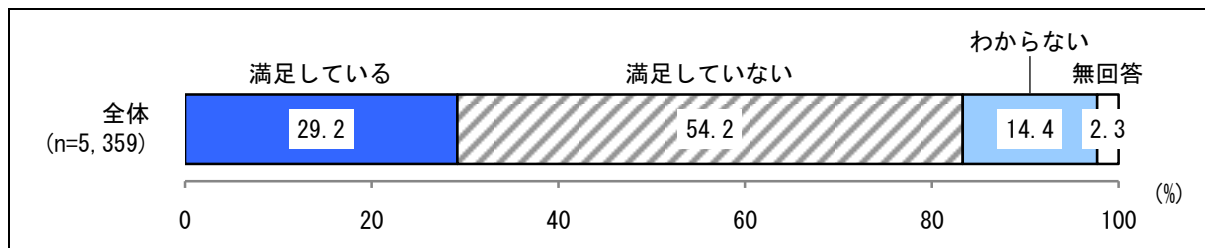


6 こどもの遊び場に関する満足度

問22 お住まいの地域におけるこどもの遊び場に関して満足していますか。(○は1つ)

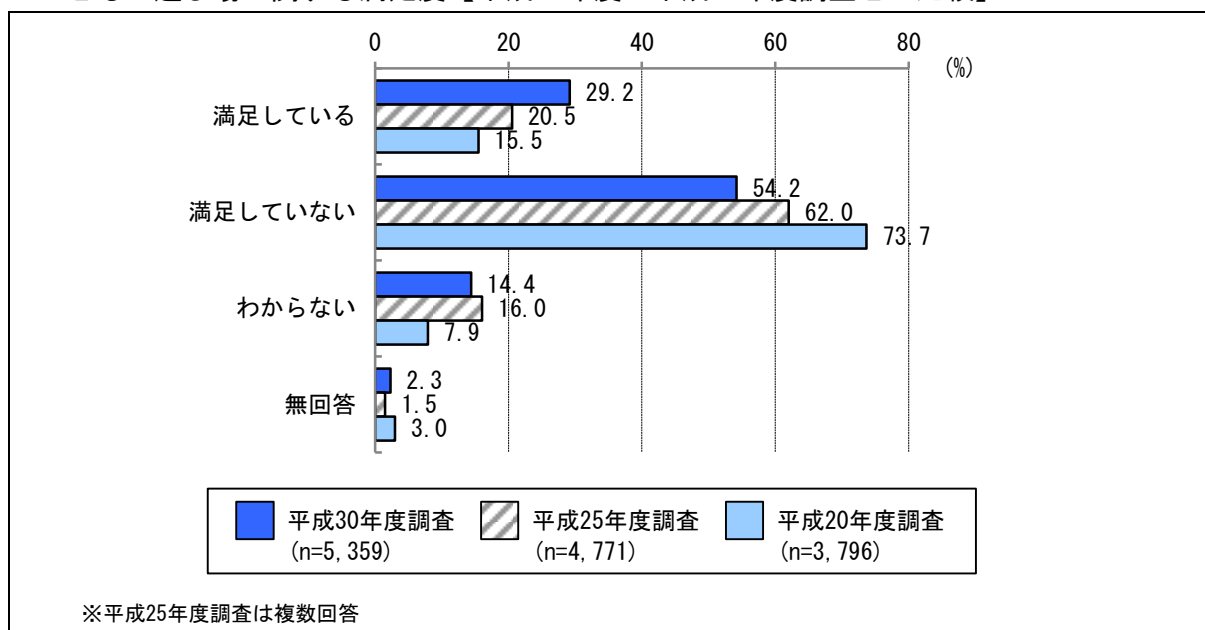
■ こどもの遊び場に関する満足度については、「満足している」が29.2%、「満足していない」が54.2%となっている。

・ こどもの遊び場に関する満足度



■ 平成25年度・平成20年度調査と比較すると、「満足している」は調査を重ねるごとに割合が高くなっている。

・ こどもの遊び場に関する満足度【平成25年度・平成20年度調査との比較】



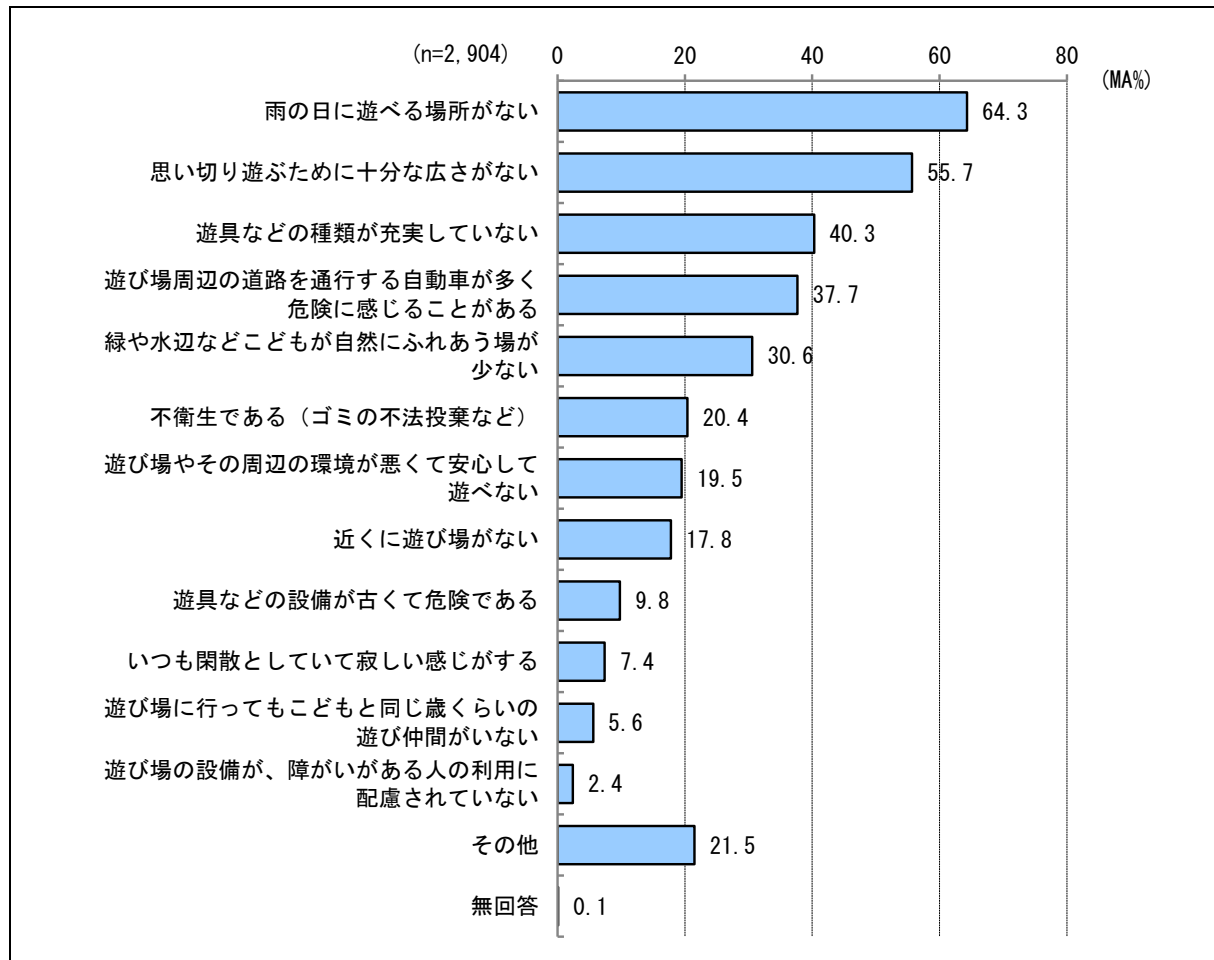
7 こどもの遊び場に日ごろ不満に感じること

問22で「2 満足していない」を選んだ方におうかがいします。

問22-1 お住まいの地域のこどもの遊び場について日ごろ不満に感じることは何ですか。(〇はいくつでも)

- こどもの遊び場に日ごろ不満に感じることは、「雨の日に遊べる場所がない」が64.3%で最も多く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が55.7%、「遊具などの種類が充実していない」が40.3%となっている。

・ こどもの遊び場に日ごろ不満に感じること



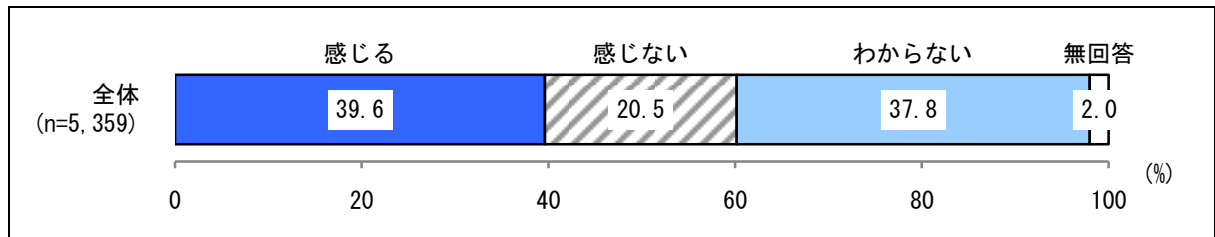
Ⅷ. 子育てに対する意識や仕事と子育ての両立について

1 こどもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるか

問23 お住まいの地域で、こどもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じますか。
(○は1つ)

■ こどもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるかについては、「感じる」が39.6%で最も多く、「感じない」が20.5%となっている。

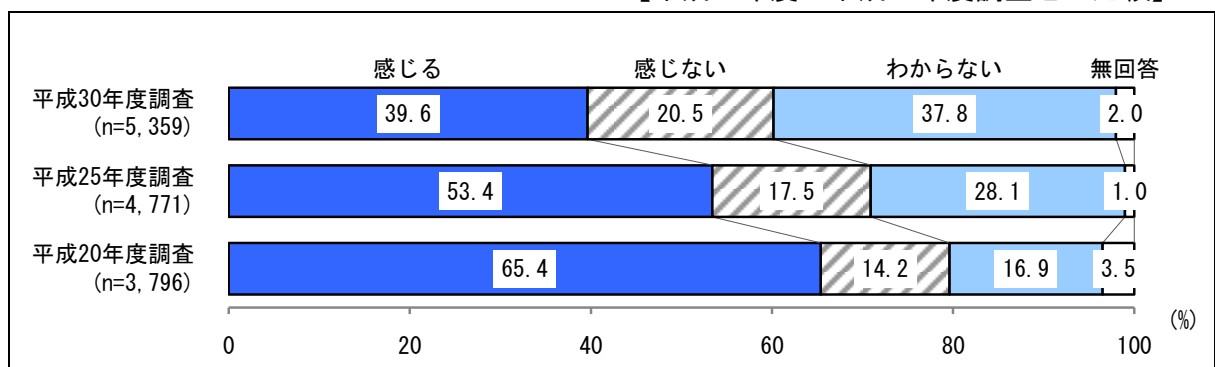
・ こどもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるか



■ 平成25年度・平成20年度調査と比較すると、「感じる」は調査を重ねるごとに割合が低くなっている。

・ こどもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるか

【平成25年度・平成20年度調査との比較】



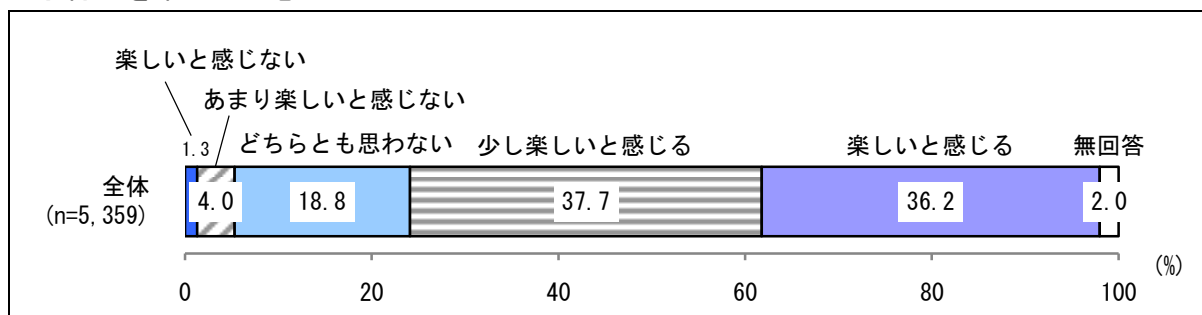
2 子育ての楽しさや負担感の程度

問24 子育てについてどのように感じていますか。それぞれあてはまる数字に1つだけ○をつけてください。

(1) 子育てを楽しんでいるか

- 子育てを楽しんでいるかについては、「少し楽しいと感じる」が37.7%で最も多く、次いで「楽しいと感じる」が36.2%で、両者をあわせた『楽しいと感じる』は73.9%となっている。
- 子育てをつらいと感じるか別でみると、“つらいと感じない”、“つらいと感じる”は「楽しいと感じる」が最も多い。「楽しいと感じない」と「あまり楽しいと感じない」は“つらいと感じる”で割合が最も高くなっている。

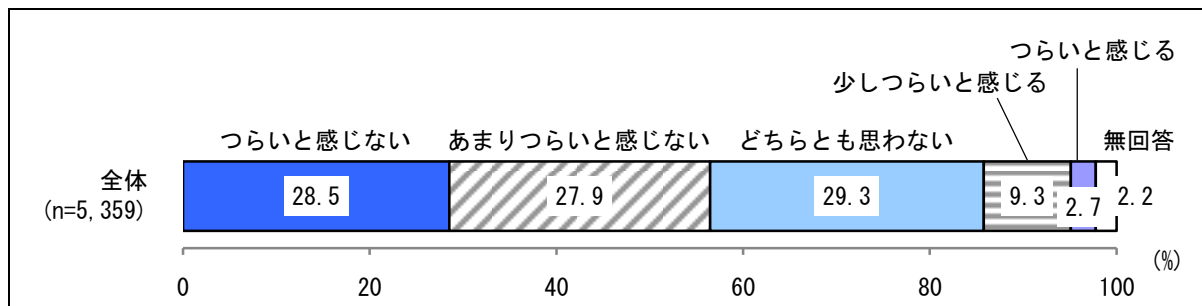
・子育てを楽しんでいるか

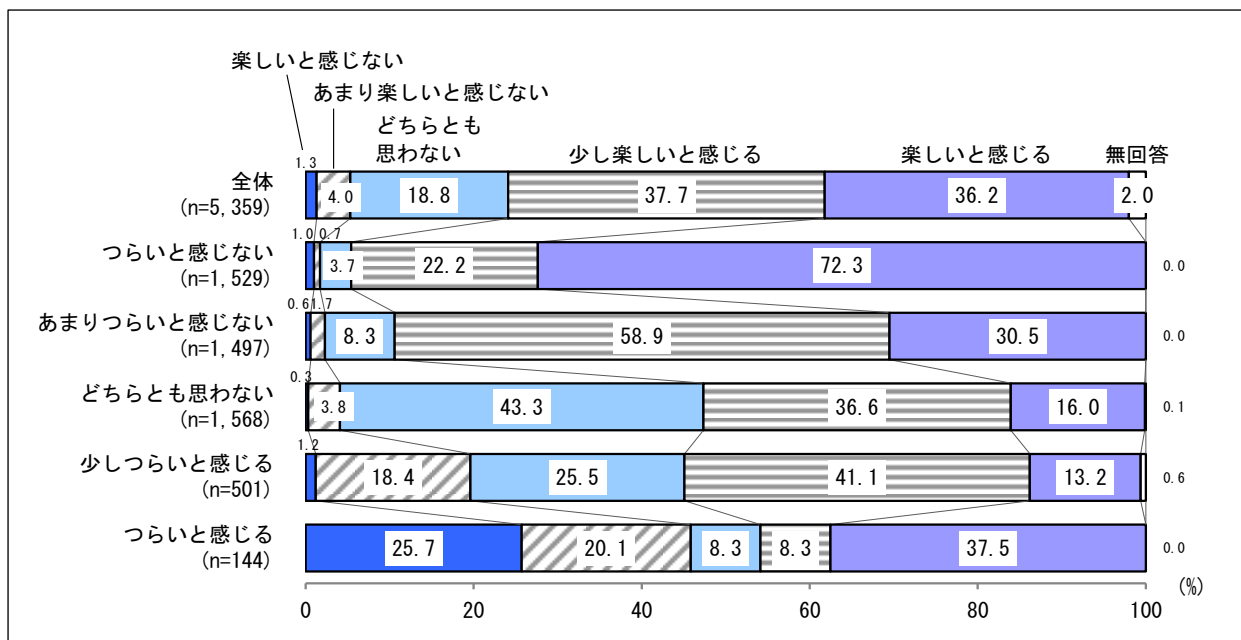


(2) 子育てをつらいと感じるか

- 子育てをつらいと感じるかについては、「どちらとも思わない」が29.3%で最も多く、次いで「つらいと感じない」が28.5%で、「あまりつらいと感じない」(27.9%)で、両者をあわせた『つらいと感じない』は56.4%となっている。

・子育てをつらいと感じるか





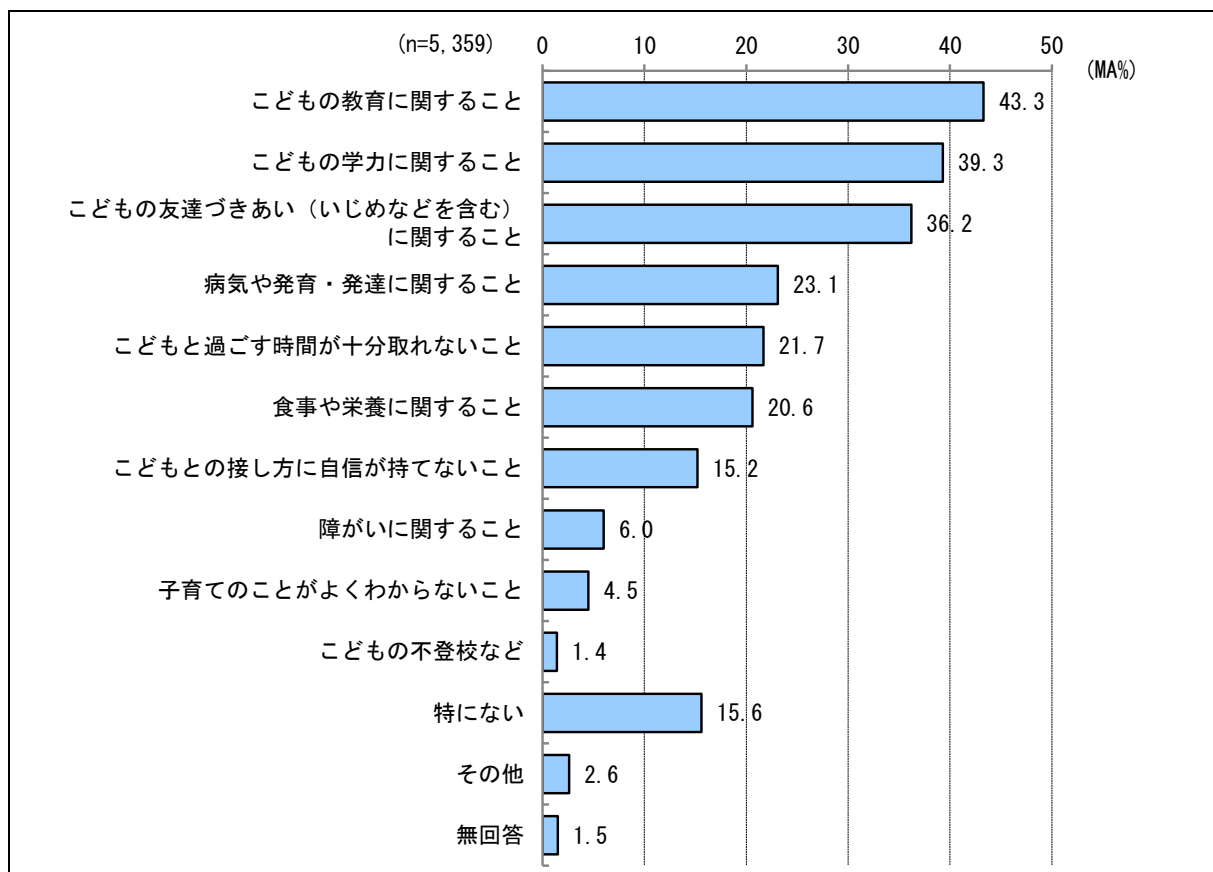
3 子育てに関する悩みや気になること

問25 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。

(1) 子育てに関する悩み (○はいくつでも)

■子育てに関する悩みについては、「こどもの教育に関すること」が43.3%で最も多く、次いで「こどもの学力に関すること」が39.3%、「こどもの友達づきあい (いじめなどを含む) に関すること」が36.2%となっている。

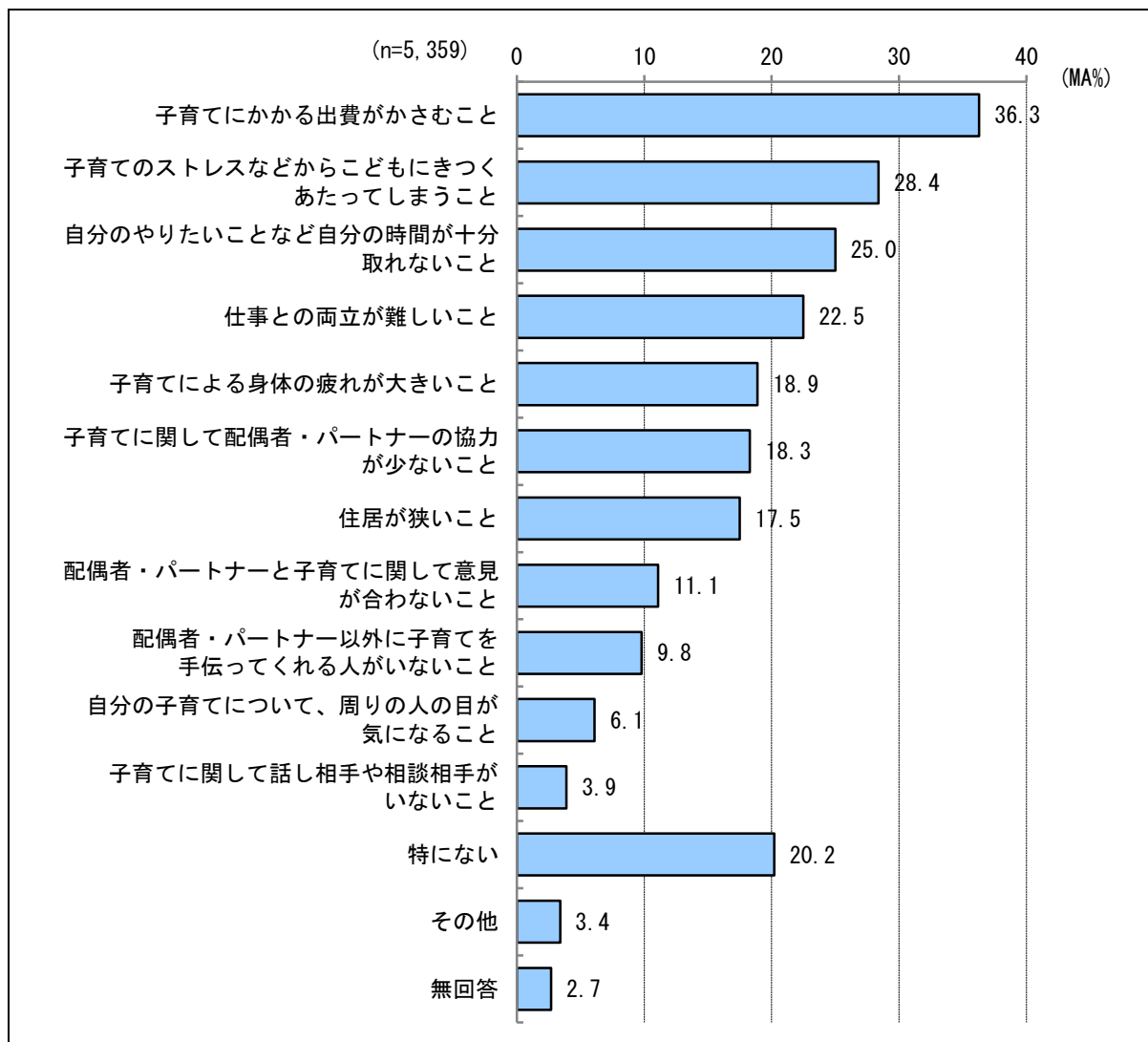
・子育てに関する悩み



(2) 保護者自身に関する悩み (〇はいくつでも)

■保護者自身に関する悩みについては、「子育てにかかる出費がかさむこと」が36.3%で最も多く、次いで「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が28.4%、「自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が25.0%となっている。

・保護者自身に関する悩み



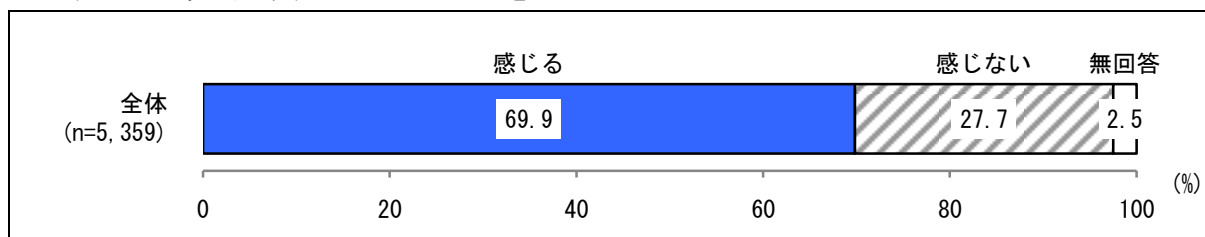
4 子育てに対する地域の人や社会からの支えへの評価

問26 ご自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。

(1) 支えられていると感じるか (○は1つ)

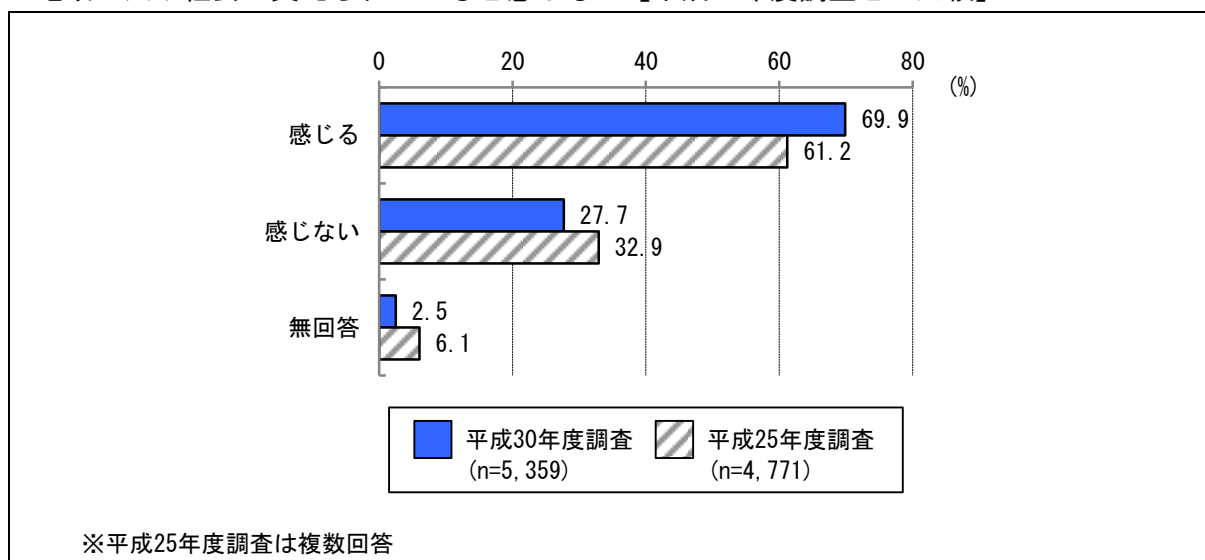
■子育てが地域の人や社会に支えられていると感じるかについては、「感じる」が69.9%、「感じない」が27.7%となっている。

・地域の人や社会に支えられていると感じるか



■平成25年度調査と比較すると、「感じる」は平成25年度調査（61.2%）より8.7ポイント高くなっている。

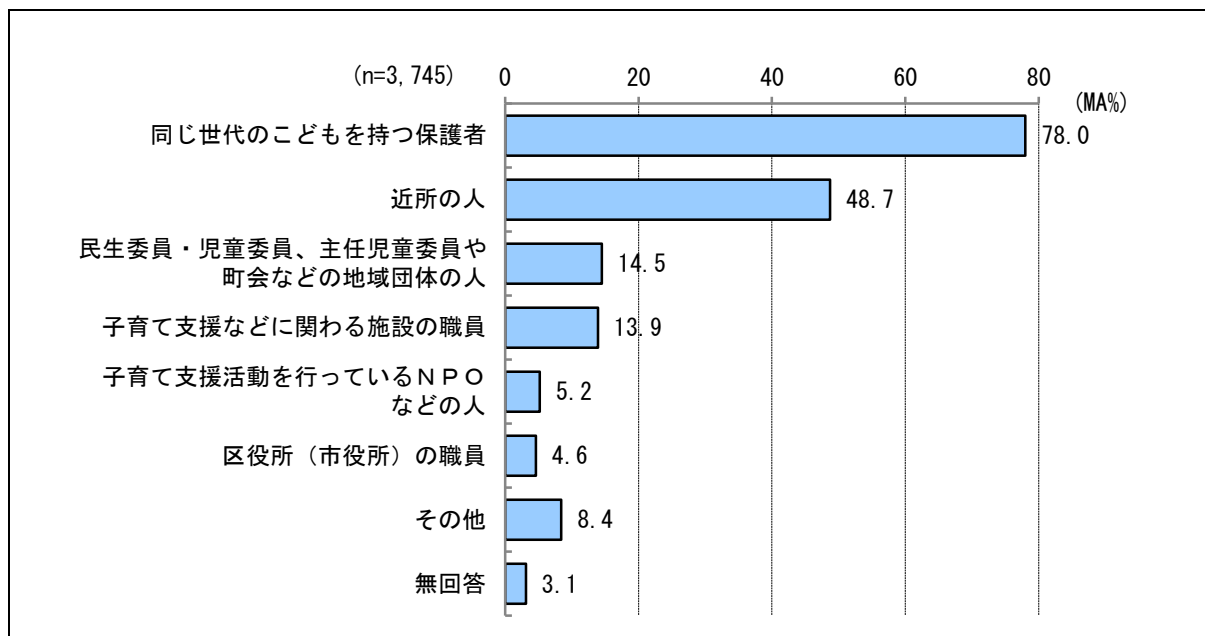
・地域の人や社会に支えられていると感じるか【平成25年度調査との比較】



(2) 誰に支えられていると感じるか (複数回答可)

■誰に支えられていると感じるかについては、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が78.0%で最も多く、次いで「近所の人」が48.7%、「民生委員・児童委員、主任児童委員や町会などの地域団体の人」が14.5%となっている。

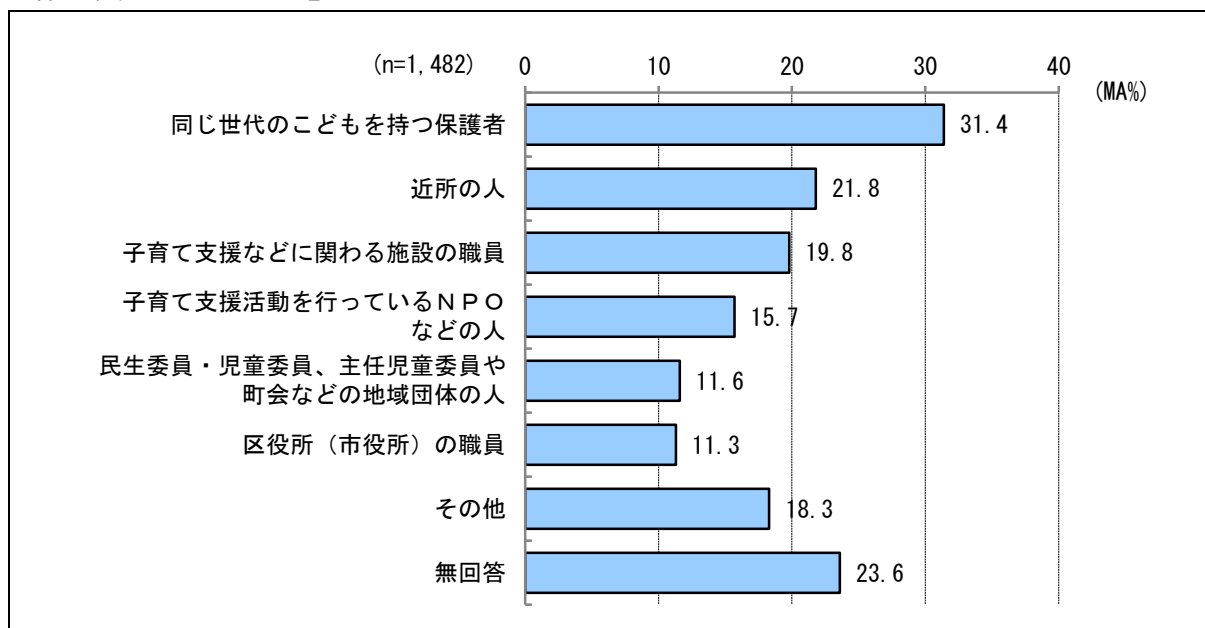
・誰に支えられていると感じるか



(3) 誰に支えられたいと感じますか。(複数回答可)

■誰に支えられたいと感じるかについては、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が31.4%で最も多く、次いで「近所の人」が21.8%、「子育て支援などに関わる施設の職員」が19.8%となっている。

・誰に支えられたいと感じるか



5 こどもと一緒に過ごす時間

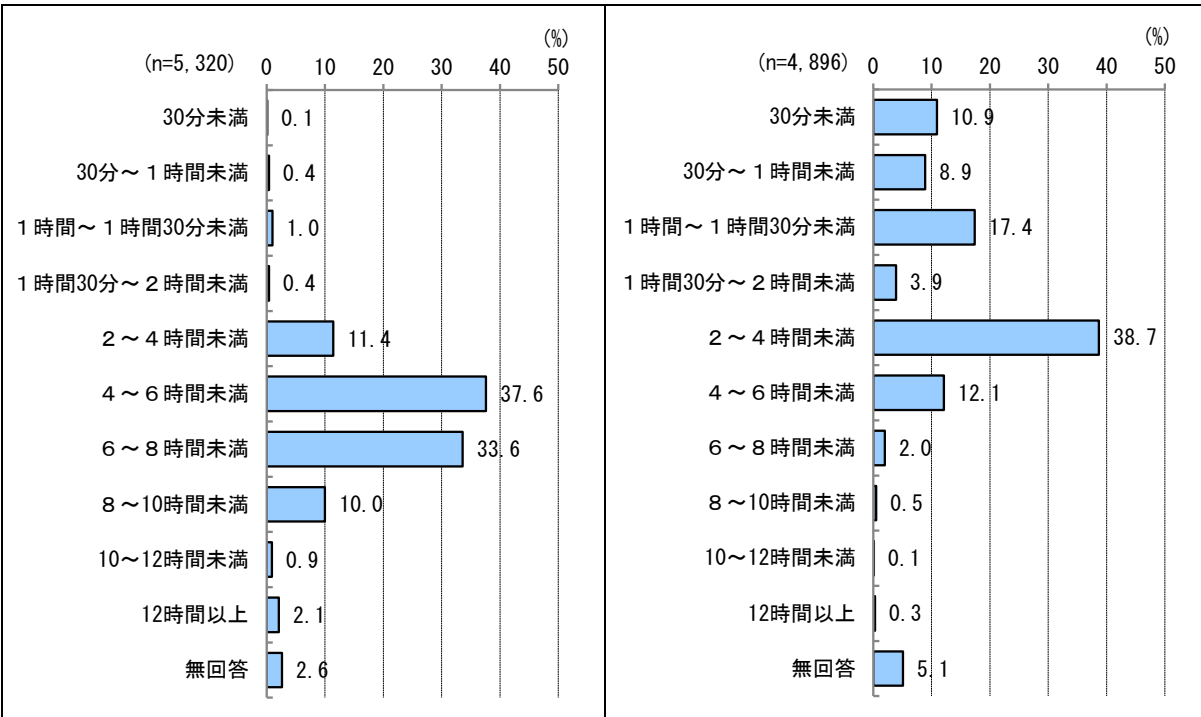
問27 平日、こどもが起きている間にこどもと一緒に過ごす時間は、1日当たりどれくらいですか。

■母親がこどもと一緒に過ごす時間は、「4～6時間未満」が37.6%で最も多く、次いで「6～8時間未満」が33.6%となっている。

■父親がこどもと過ごす時間は、「2～4時間未満」が38.7%で最も多く、次いで「1時間～1時間30分未満」が17.4%となっている。

・平日に母親がこどもと一緒に過ごす時間

・平日に父親がこどもと一緒に過ごす時間



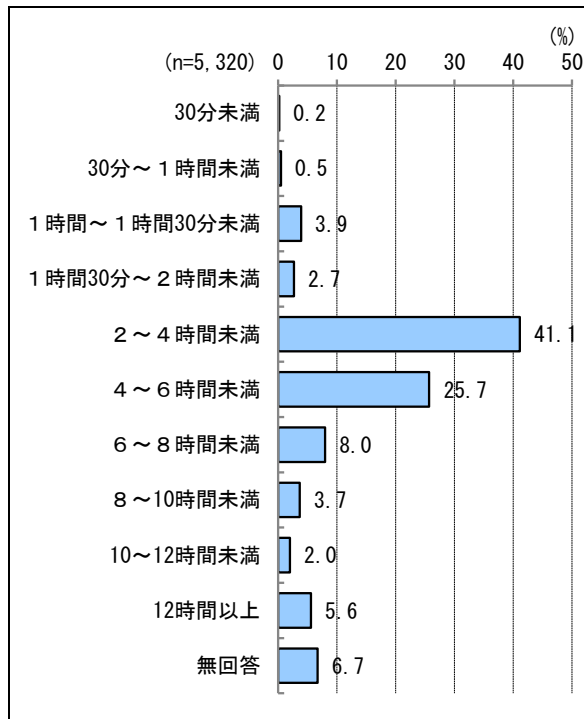
6 1日当たりの家事時間

問28 1日当たり、家事をどれくらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

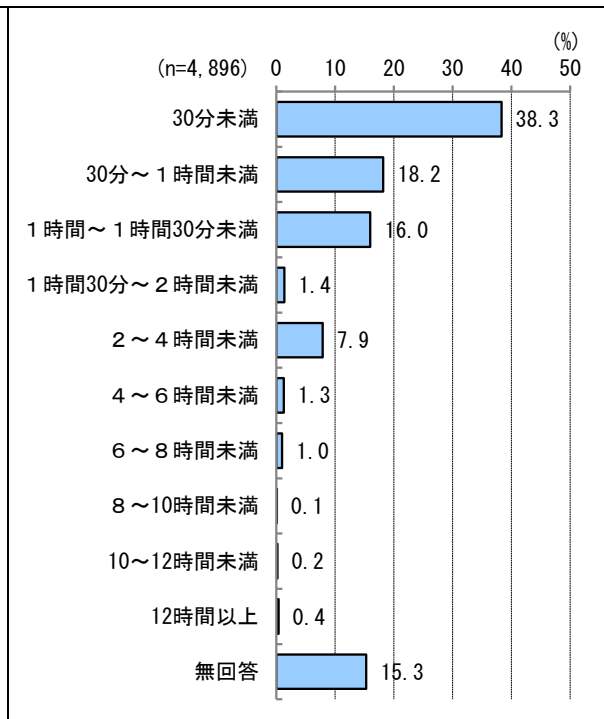
■母親の1日当たりの家事時間は、「2～4時間未満」が41.1%で最も多く、次いで「4～6時間未満」が25.7%となっている。

■父親の1日当たりの家事時間は、「30分未満」が38.3%で最も多く、次いで「30分～1時間未満」が18.2%となっている。

・母親の1日当たりの家事時間



・父親の1日当たりの家事時間

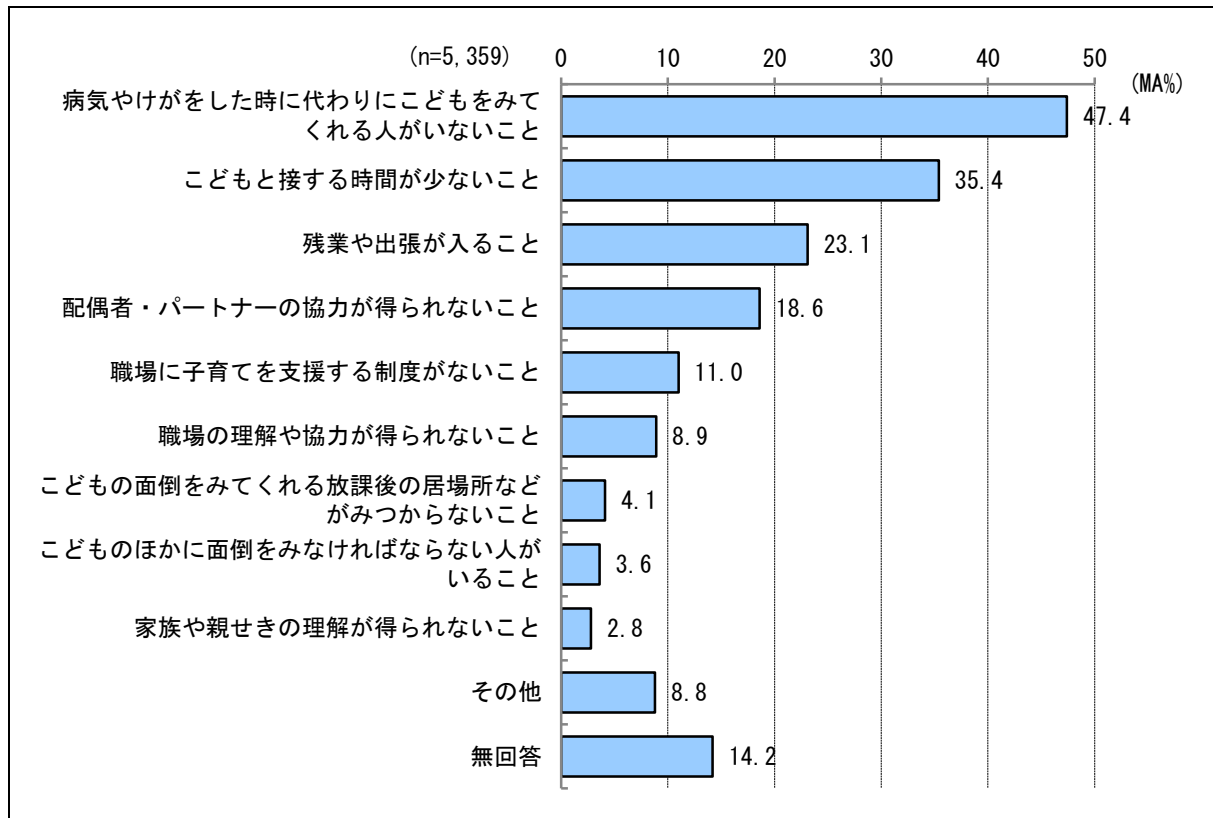


7 仕事と子育てを両立させる上で大変なこと

問29 仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じることは何ですか。(〇はいくつでも)

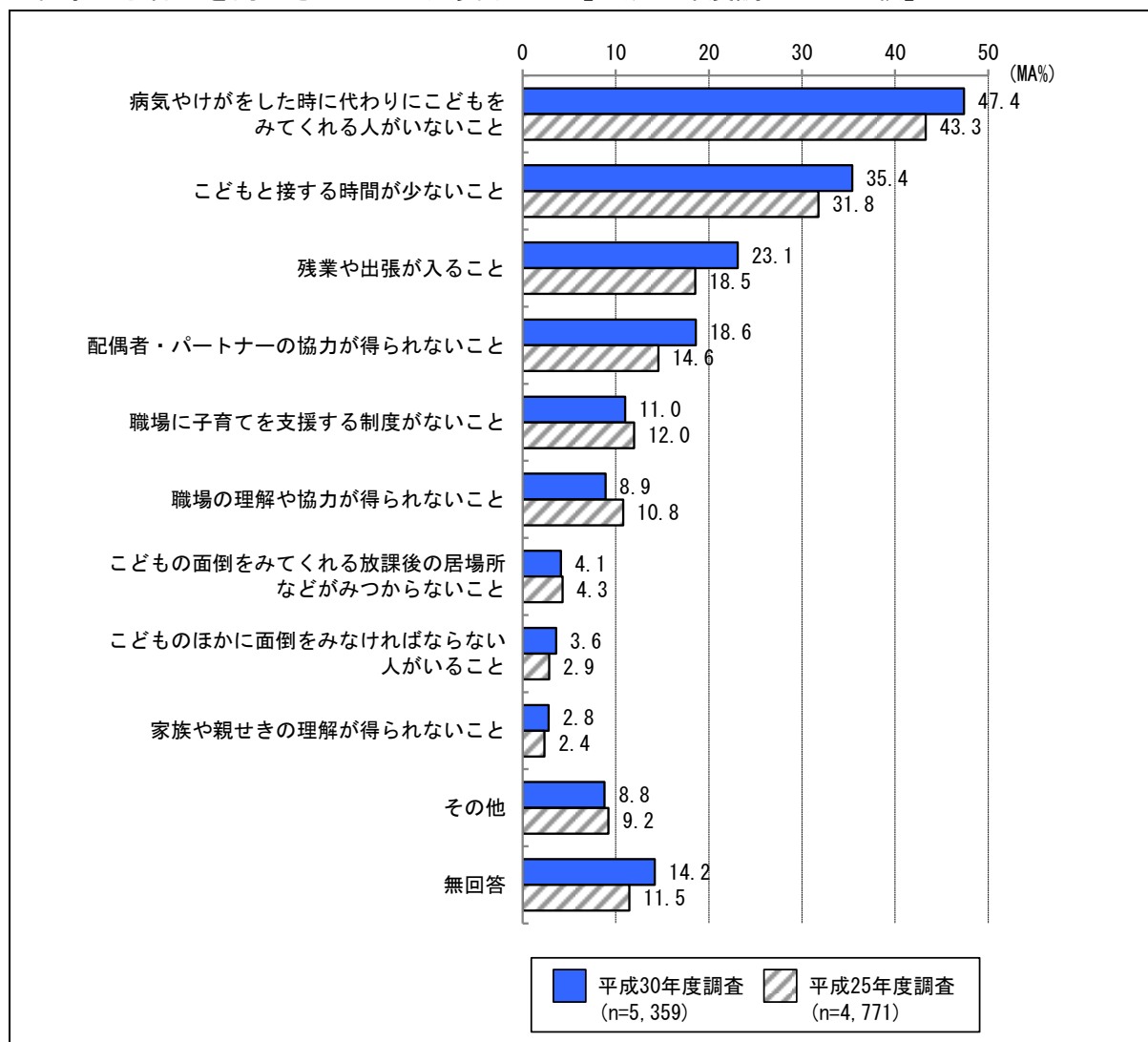
■仕事と子育てを両立させる上で大変なことは、「病気やけがをした時に代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が47.4%で最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」が35.4%、「残業や出張が入ること」が23.1%となっている。

・仕事と子育てを両立させる上で大変なこと



■平成25年度調査と比較すると、「病気やけがをした時に代わりにこどもをみてくれる人がいないこと」は4.1ポイント、「こどもと接する時間が少ないこと」が3.6ポイント、「残業や出張が入ること」は4.6ポイント、「配偶者・パートナーの協力が得られないこと」は4.0ポイント、それぞれ平成25年度調査より割合が高くなっている。

・仕事と子育てを両立させる上で大変なこと【平成25年度調査との比較】

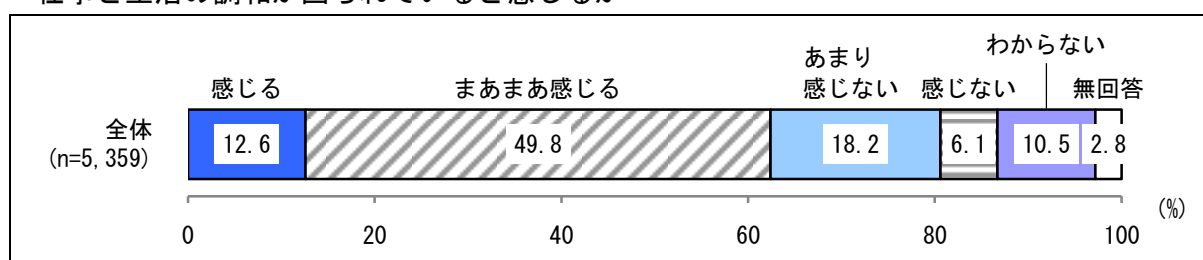


8 仕事と生活の調和が図られていると感じるか

問29 仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じることは何ですか。(〇はいくつでも)

■仕事と生活の調和が図られていると感じるかは、「まあまあ感じる」が49.8%で最も多く、「感じる」(12.6%)をあわせた『感じる』は62.4%となっている。

・仕事と生活の調和が図られていると感じるか

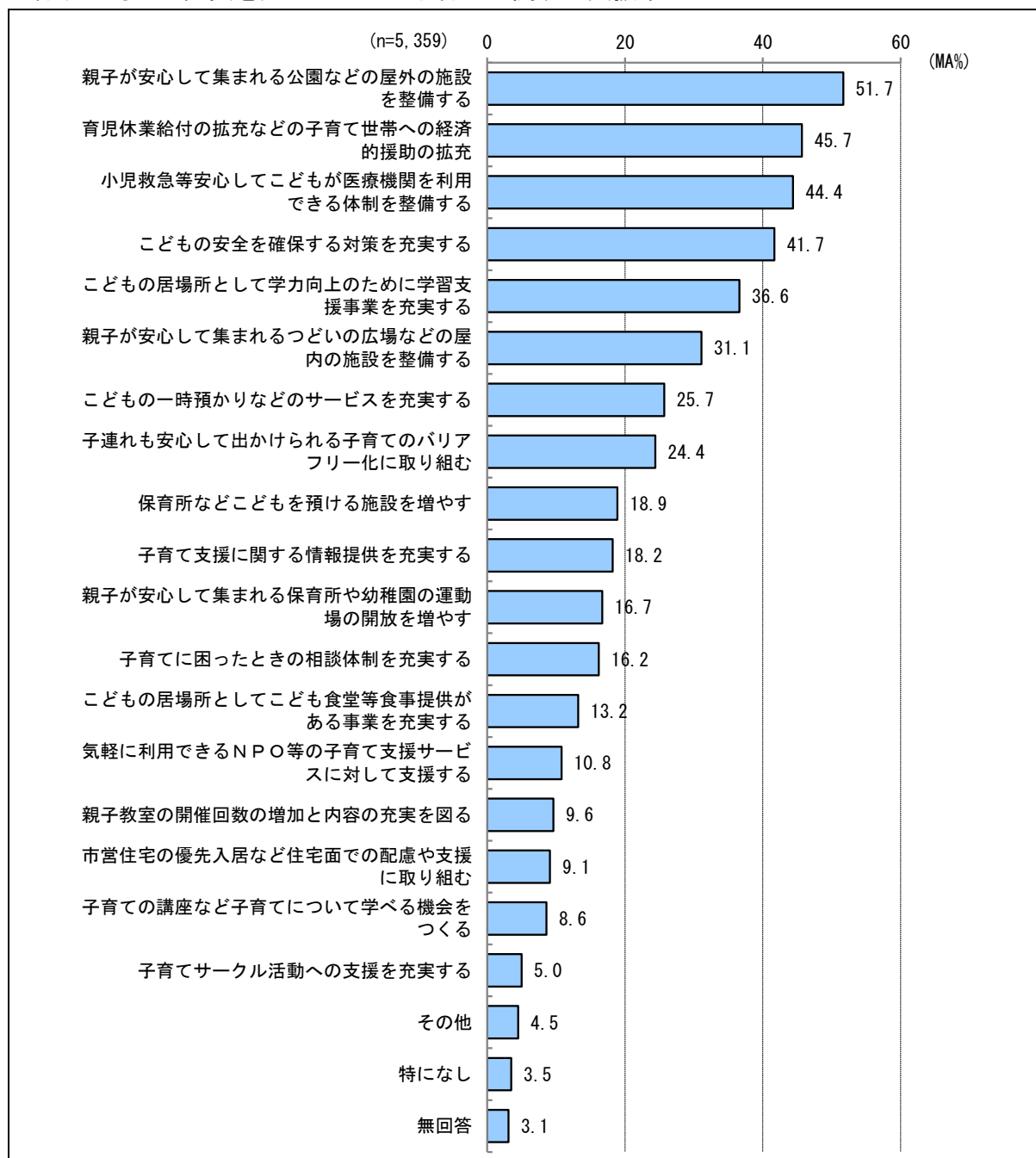


9 行政に対して充実を図ってほしい子育てに関する支援策

問31 行政（市、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。（〇はいくつでも）

■行政に対して充実を図ってほしい子育てに関する支援策は、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が51.7%で最も多く、次いで「育児休業給付の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が45.7%、「小児救急等安心してこどもが医療機関を利用できる体制を整備する」が44.4%となっている。

・行政に対して充実を図ってほしい子育てに関する支援策



■平成25年度調査・平成20年度調査と比較すると、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」と「親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす」、「子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる」は調査を重ねるごとに割合が高くなっている。

・行政に対して充実を図ってほしい子育てに関する支援策【平成25年度・平成20年度調査との比較】

